

令和6年度
行政評価結果報告書

令和6年9月

海 老 名 市

(外部評価委員会・行財政改革推進委員会)

<目 次>

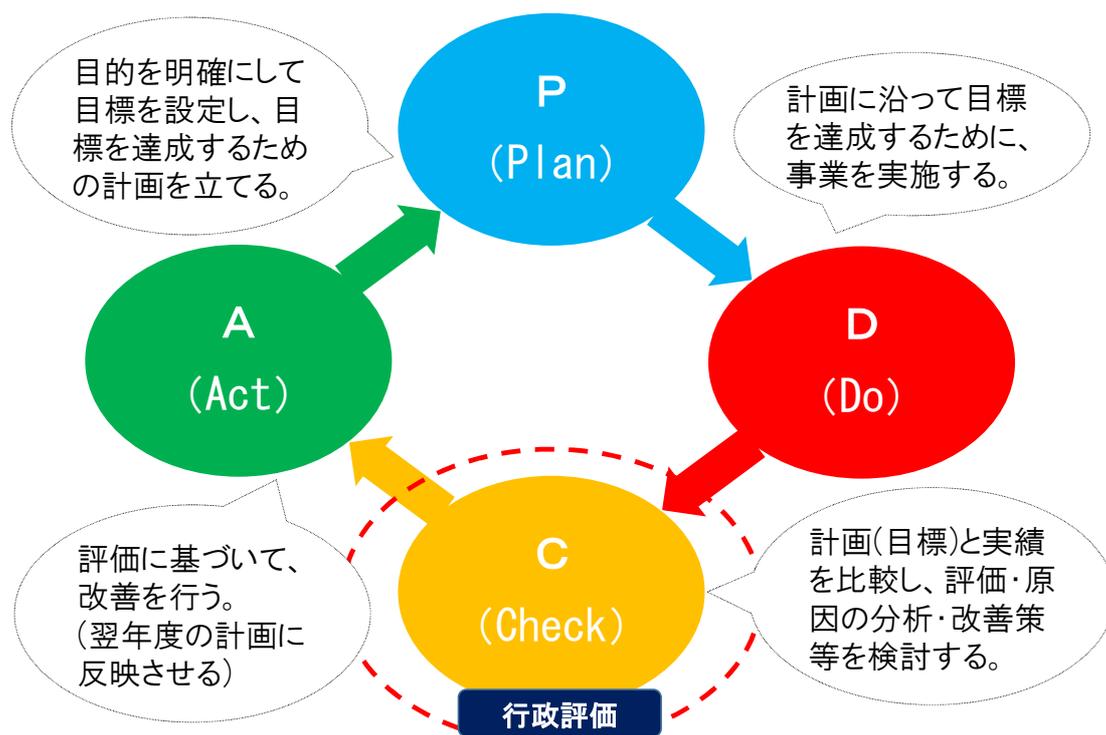
I	行政評価の概要	1
1	行政評価とは	1
2	えびな未来創造プラン 2020 に基づく行政活動体系	2
3	取組の経緯	2
4	行政評価の体制	6
5	評価方法	7
6	評価結果の活用	8
7	評価結果の公表	8
II	内部評価の結果	9
1	内部評価の実施概要	9
III	外部評価の結果	10
1	外部評価を終えた外部評価委員会からのあいさつ	10
2	外部評価の実施概要	10
3	外部評価結果	12
4	令和6年度外部評価を通じたの総括意見	12
IV	政策・事業評価結果	14

I 行政評価の概要

1 行政評価とは

行政評価とは、行政活動の目的を明確化して、活動の結果や成果について一定の基準・視点に沿って評価し、行政運営の改善につなげることを目的とした行政改革の取組です。

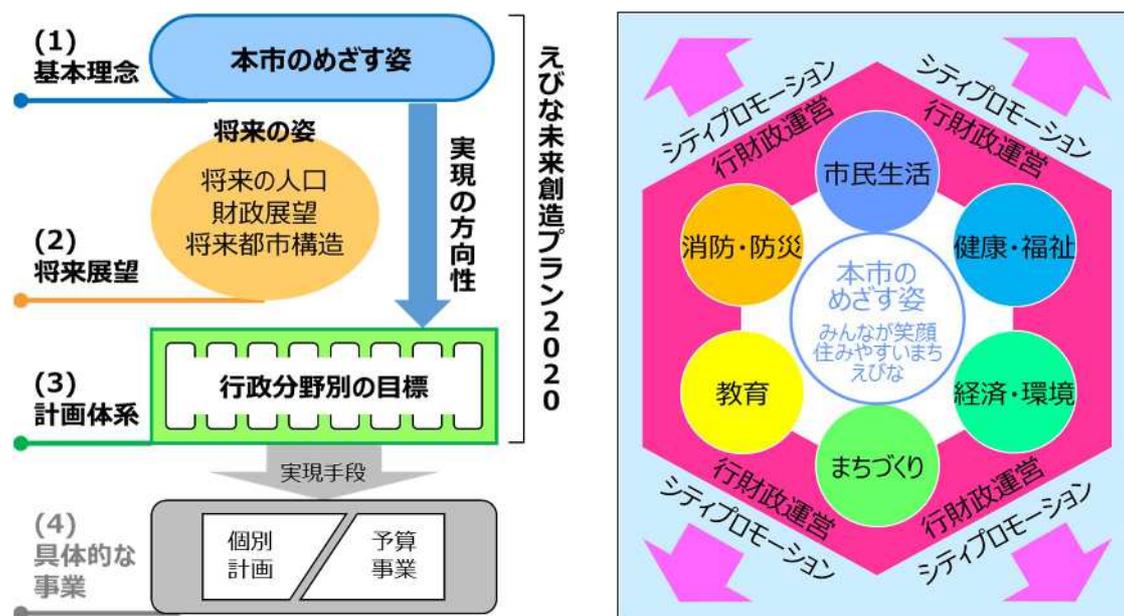
具体的には、下図に示したPDCAサイクルのC h e c k（チェック）の段階にあたる作業です。



2 えびな未来創造プラン 2020 に基づく行政活動体系

令和2年度に策定した総合計画「えびな未来創造プラン 2020」では、「基本理念」のめざすべき姿を実現するため、市民生活、健康・福祉、経済・環境、まちづくり、教育、消防・防災、行財政運営、シティプロモーションといった行政組織を踏まえて、行政分野別の目標を体系的に示しています。

また、10年間の計画として、関連する個別計画や毎年度の予算事業を進める上で参照すべき、政策の「めざす姿」、「今後の方針」も併せて設定しています。



3 取組の経緯

本市における行政評価制度は、平成12年度に行政評価システムの導入の検討を開始し、職員に対する行政評価研修を行い、平成14年度からは一部の事業において、事務事業評価を実施するところから始まりました。

その後、平成17年度からはIT（情報技術）を活用した行政評価システムを新たに導入し、平成18年度からこの行政評価システムを活用した事務事業評価を実施してきました。

平成20年度からは、行政評価と実施計画の進行管理及び予算編成との連携を強化し、PDCAサイクルによる事務執行の明確化を進めるため、新たな行財政マネジメントサイクルを確立しました。

また、外部評価については、行政評価の客観性向上や行政評価全体の充実を図ることを主な目的として、平成17年度に「海老名市外部評価委員会」を設置し、平成18年度からは実施計画事業を対象とする事務事業評価を開始しました。

そして、平成21年度は、実施計画事業がさらに効果的・効率的に機能するように、第四次総合計画の初年度である平成20年度の実施計画事業を束ねる全施策を対象として、新たに施策評価を実施しました。

しかし、施策評価の結果は、施策間のレベルや連携強化に向けての整理、施策

内における実施計画事業の組み替えといった総合計画そのものの体系的改善に反映していくものであることから、後期基本計画（25年度～29年度）に係る今後の策定状況等を勘案して、適宜実施していくのが効率的・効果的であると考えました。

そこで、平成22年度以降は、行政評価の取組において、実施計画の進捗管理に係る基盤的な役割を担うという観点に立ち、個々の実施計画事業の必要性・有効性・効率性などを検証するために事務事業評価を実施することとし、平成23年度からは、外部評価委員会より事業内容等に対して指摘のあった事業については、外部評価委員会に対してフィードバックをするために、担当部課による次年度の方向性や考え方について直接説明を行いました。

平成25年度以降は、“担当部課評価－内部評価－外部評価”と3段階での評価が行えるよう、内部評価と外部評価の対象事業を同一とし、さらに対象事業の選定を第四次総合計画後期基本計画で体系化されている“政策”を選定し、選定した政策に位置付けられている全実施計画事業を評価対象とすることで、“政策”“施策”にも視点を置きながら、各事業の評価を行いました。

なお、平成20年度から29年度までの10年間を計画期間とする第四次総合計画の総括を行う意味からも、平成26年度から28年度の3年間で全66施策及び全実施計画事業を評価することとし、この3年間の最終年度にあたる平成28年度をもって全施策及び全実施計画事業の評価を完了しました。

平成29年度からは、本市の長期的な課題である人口減少、少子高齢化の課題を解決し、今のかがやきを持続させることを目的として平成28年2月に策定した『海老名市かがやき持続総合戦略』に位置付けられている事業の評価することとし、平成30年度は全107事業のうち70事業を評価対象としました。そして、外部評価委員会による施策評価を実施するにあたっては平成28年度に引き続き、内部評価を実施した各部等の次長に対し、外部評価委員会としてヒアリングを実施しました。

令和元年度より、平成26年度から平成28年度までに評価を行った事業のうち、外部評価委員会において見直し拡大、見直し継続、見直し縮小の評価がされた事業及び新規事業に評価を行うこととし、令和元年度は、39事業について評価を実施しました。

令和2年度についても、令和元年度に引き続き同程度の事業評価を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、「平成31（令和元）年度予算書」における「主要事業の概要」の中から新規事業を10程度選定し、評価を実施しました。

令和3年度からは、これまでの体制を継続しながら、令和2年度にスタートした本市の総合計画『えびな未来創造プラン2020』（以下「20プラン」という。）と関連付けるため、「事務事業評価＝予算事業」と「施策評価＝政策評価」を評価することとしました。さらに、評価者の負担軽減や評価の精度を上げるため、評価重点度を評価段階で分け、内部評価では事務事業評価を、外部評価では施策評価

を重点的に行うこととしました。評価対象事業については、20プランの8つの行政分野ごとの評価実施年度を定め、その行政分野に位置づけられている「政策」に関する予算事業を、それぞれ3事業程度評価することとし、令和3年度は新たな手法での評価を試験的に行うため、3つの行政分野（「6 消防・防災」「7 行財政運営」「8 シティプロモーション」）を対象に5政策・13事業を評価しました。

令和4年度以降は、前年度の課題点を踏まえ、内部評価と外部評価の評価重点度を定めずに評価することとしました。令和4年度は「市民生活」を対象に5政策・36事業を、令和5年度は「健康・福祉」を対象に6政策・42事業を、令和6年度は「経済・環境」「まちづくり」を対象に7政策・60事業を評価しました。

なお、年度別の行政評価の取組経緯は、下の表のとおりです。

年 度	取組み内容
平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政評価システム導入の検討開始 ○ 「施策・事務事業評価構築チーム」設置
平成13年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「行政評価システム導入報告書」作成 ○ 行政評価の職員研修実施
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務事業評価の一部事業の抽出 ○ 行政評価の職員研修実施
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務事業評価の一部実施（52事業） ○ 事務事業評価結果のホームページによる公開
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務事業評価の一部実施（82事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務事業評価の実施（419事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施 ○ 外部評価の実施（48事業） ○ IT（パッケージソフト）を活用した行政評価システムの導入
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第三次総合計画実施計画（平成17～19年度）掲載の平成17年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（492事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施 ○ 外部評価の実施（担当部課・内部評価を経た117事業）
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第三次総合計画実施計画（平成17～19年度）掲載の平成18年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（445事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施 ○ 外部評価の実施（担当部課・内部評価を経た102事業）
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第三次総合計画実施計画（平成17～19年度）掲載の平成19年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（430事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た283事業） ○ 外部評価の実施（担当部課を経た94事業） ※ 内部評価並びに外部評価は同時並行で実施
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成20～24年度）掲載の平成20年度実施計画事業及び施策を対象 ○ 担当部課評価の実施（435事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た435事業） ○ 外部評価の実施（79施策）・・・施策評価の実施 ※ 内部評価並びに外部評価は同時並行で実施
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成20～24年度）掲載の平成21年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（450事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た101事業） ○ 外部評価の実施（担当部課・内部評価を経た53事業） ○ 評価用ITシステムに係る現行パッケージソフトから自己方式への切替え

年度	取組み内容
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成20～24年度）掲載の平成22年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（438事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た30事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価を経た33事業） ※ 内部評価並びに外部評価は同時並行で実施 ○ 評価結果を踏まえた担当部課による進捗評価を9月末時点で実施予定（438事業）
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成20～24年度）掲載の平成23年度実施計画事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（353事業）※各事業の統合や実施計画対象事業の見直しにより85事業減少 ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た47事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価を経た27事業） ※ 内部評価並びに外部評価は同時並行で実施
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成20～24年度）掲載の平成24年度実施計画事業及び第四次総合計画実施計画（平成25年度）掲載の平成24年度実施事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（268事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た74事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、内部評価を経た74事業）
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成25年度）事業及び実施計画（平成26年度）掲載の平成25年度実施事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（230事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た93事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、内部評価を経た93事業）
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成26年度）事業及び実施計画（平成27年度）掲載の平成26年度実施事業を対象 ○ 担当部課評価の実施（225事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た84事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、内部評価を経た84事業）
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 第四次総合計画実施計画（平成27年度）事業及び実施計画（平成28年度）掲載の平成27年度実施事業を対象 ◆ 平成28年2月に策定された「海老名市かがやき持続総合戦略」に位置付けられる事業（かがやき持続総合戦略事業）のうち、国からの交付金（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金）事業として平成27年度に実施した5事業についても対象 ○ 担当部課評価の実施（実施計画掲載の有無を問わず全事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た56事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、内部評価を経た56事業）
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海老名市かがやき持続総合戦略事業 ○ 担当部課評価の実施（市で行っている全事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経たものうち35事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た35事業） ◆ 補助金の見直し（平成27年度以降に初めて支出をした補助を除く） ○ 担当部課評価の実施（105事業） ○ 企画財政課評価の実施（担当部課評価を経た105事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価、企画財政課評価を経た105事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、企画財政課評価、内部評価を経た105事業）
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海老名市かがやき持続総合戦略事業 ○ 担当部課評価の実施（市で行っている全事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経たものうち70事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た70事業）
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成26年度から平成28年度に評価を行った事業のうち「見直し」評価がされた事業及び新規事業 ○ 担当部課評価の実施（市で行っている全事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経たものうち39事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た39事業）
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成31（令和元）年度予算書における「主要事業の概要」の中から新規事業を中心に対象事業選定 ○ 担当部課評価の実施（市で行っている全事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（主要事業の概要から11事業を選定） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た11事業）

年 度	取組み内容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ えびな未来創造プラン2020の行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業を、それぞれ3事業程度選定 <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当部課評価の実施（13事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た13事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た13事業）
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ えびな未来創造プラン2020の行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業から選定 <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当部課評価の実施（36事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た36事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た36事業）
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ えびな未来創造プラン2020の行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業から選定 <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当部課評価の実施（42事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た42事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た42事業） ◆ 補助金の見直し（令和3年度以降に創設した補助を除く） <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当部課評価の実施（118事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た118事業） ○ 外部評価の実施（担当部課評価、内部評価を経た118事業）
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ◆ えびな未来創造プラン2020の行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業から選定 <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当部課評価の実施（60事業） ○ 行財政改革推進委員会による内部評価の実施（担当部課評価を経た60事業） ○ 外部評価の実施（内部評価を経た60事業）

4 行政評価の体制

(1) 担当部課評価

事業を所管する各課等が行う評価です。

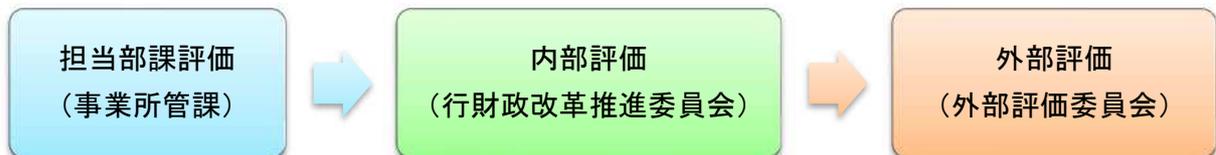
(2) 内部評価

行政評価を統括している財務部の長及び各部等の次長で組織される行財政改革推進委員会が行う評価です。

(3) 外部評価

海老名市外部評価委員会条例により設置された学識経験者及び公募市民の12名で組織される海老名市外部評価委員会が行う評価です。

【評価の経過（3段階評価）】



5 評価方法

(1) 政策評価シート

評価対象事業が該当する「えびな未来創造プラン2020」の政策を「政策の推進に係る事業の適正配置」、「政策の進捗・達成評価」、「必要性」及び「優先度」から評価しました。

(2) 事業評価シート

行政評価概要調書に基づき、前年度に実施した事業内容を評価しました。

各項目を評価基準に基づき採点し、合計点数を算出しました。その点数により、前年度の実績に対し、今年度以降、どのように取り組むかを総合的に「判断」し、その判断に至った理由等を「判断理由内容」や「事業に対するコメント」に記載しました。なお、「判断」は以下の視点で選択しています。

【評価基準】

項目	5点	4点	3点	2点	1点
妥当性	極めて妥当である	十分妥当である	妥当である	あまり妥当でない	妥当でない
有効性	極めて有効性がある	十分有効性がある	有効性がある	あまり有効性がない	有効性がない
効率性	極めて効率的である	十分効率的である	効率的である	あまり効率的でない	効率的でない
公平性	極めて公平性がある	十分公平性がある	公平性がある	あまり公平性がない	公平性がない
持続可能性	極めて持続可能性がある	十分持続可能性がある	持続可能性がある	あまり持続可能性がない	持続可能性がない

【判断項目】

判断項目	視点
現状継続	事業を特段変更なく行う場合
見直し拡大	事業方針や方策を見直し、事業を拡大して行う場合
見直し継続	事業方針や方策を見直し、事業を継続して行う場合
見直し縮小	事業方針や方策を見直し、事業を縮小して行う場合
事業統合	別の事業と統合する場合
事業完了	事業を完了する（した）場合
事業休止	事業を休止する（した）場合
事業廃止	事業を廃止する（した）場合

6 評価結果の活用

評価結果は、市職員が市政運営の現状に対し、全庁的な共通認識を形成するためのツールとして活用していきます。

また、有効なマネジメントツールとして、進捗評価、事業の次年度に向けた見直し・改善、予算編成及び各部局等の事業展開などに、評価の結果を広く活用していきます。

7 評価結果の公表

行政活動の透明性を向上させていくとともに、市民の行政への理解や参画意識を促進させるには、評価の内容や結果等がしっかり理解されるような情報を市民に提供することが重要であり、市民への説明責任を遂行する意味でも、行政評価の公表の仕方を工夫する必要があります。

そこで、公表にあたっては、行政評価の結果を市ホームページに掲載していくことに加えて、市内図書館での閲覧も可能にするなど、市民にとって少しでもわかりやすい公表となるよう努めていきます。

II 内部評価の結果

1 内部評価の実施概要

(1) 内部評価の実施方法

下表に示すとおり、行財政改革推進委員会の委員長を除く、14名の各部等の次長を3つのグループに分けて内部評価の作業を行いました。

【行財政改革推進委員会委員名簿（委員長を除く）】

グループ	所属	氏名
Aグループ	市民協働部	曾田 努
	保健福祉部（福祉担当）	山田 志保
	まちづくり部	高橋 学
	会計管理者	鶴間 由美子
	議会事務局	中島 真二
Bグループ	市長室	高田 俊一
	財務部	清田 聡
	保健福祉部（健康・保険担当）	金指 芳子
	まちづくり部	佐藤 秀之
	消防本部	河井 務
Cグループ	保健福祉部（子育て担当）	奥田 ともみ
	経済環境部	吉沢 正樹
	消防本部	佐藤 幸博
	教育部	吉川 浩

(2) 内部評価対象事業

行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業を評価することとし、令和6年度は8つの行政分野から「経済・環境」「まちづくり」を対象に7政策・60事業を評価しました。

(3) 内部評価結果

評価結果は、担当部課評価及び外部評価結果と合わせて掲載しています。

Ⅲ 外部評価の結果

1 外部評価を終えた外部評価委員会からのあいさつ

海老名市外部評価委員会は、市が実施する行政評価を市民目線で再評価することにより、評価の客観性及び信頼性を確保することを目的に設置された第三者委員会です。学識経験者や公募市民の12名から構成されます。本委員会は、平成17年10月に制定された海老名市外部評価委員会条例を受けて、平成18年度から本格的に活動を開始しました。

今年度は、令和2年に策定された総合計画である「えびな未来創造プラン2020」（以下、「20プラン」という。）に位置付けられた8つの行政分野のうち、「経済・環境」「まちづくり」を対象に7政策・60事業を評価しました。

評価作業の中では、事業課へのヒアリングを行い、各事業への理解を深めた後、それぞれの委員が意見を出し合い、活発に意見交換を行うことで、多角的な評価を行いました。

社会経済情勢に応じて、人々の価値観や生活様式は変化し、市民が行政に求めるものは複雑・多様化しています。外部評価委員による市民目線の評価は、市民ニーズや時代の流れを的確に把握し、事業の改善を推進するために重要なものと認識しています。本報告書は、外部評価委員の一人ひとりが一般市民の代表として、自覚と責任を持って事業の理解に努め、意見を出し合った結果を示しています。

今年度の評価をもって、令和3年度から行っている「20プラン」の行政分野に紐づける評価が一巡しました。評価を行った政策の中には、厳しい評価を行い、改善を求めたものもあります。行政評価の目的は「行政運営の改善につなげること」であるため、評価を行えばよいというものではなく、改善につなげる行動が必要です。

行政におかれましては、本委員会からの意見を真摯に受け止め、事業の改善に向けて行動することを強く望みます。また、市民のための施策、市民のための事業であることを意識し、行財政改革や事業推進の効率化に努めるとともに、市民への説明責任をこれまで以上に果たされることを期待します。

最後になりましたが、今回の評価作業において、事業所管課の皆様をはじめとした多くの方にご協力いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

2 外部評価の実施概要

(1) 外部評価委員会の審議経過

12名の外部評価委員を3つのグループに分け、各グループが分担して対象事業を評価しました。事業所管課へのヒアリングを踏まえて評価結果及び附帯意見を取りまとめ、外部評価委員の合議の上、本報告書をまとめました。

(2) 海老名市外部評価委員会委員名簿

職	氏名	選出区分	グループ
委員長	たにむら たかし 谷村 隆	公募市民	B(グループリーダー)
副委員長	あべ ゆりこ 阿部 百合子	公募市民	A(グループリーダー)
副委員長	いちのさわ くにつぐ 市野澤 国冠	公募市民	C(グループリーダー)
委員	たなか たけお 田中 健生	公募市民	A
委員	いしい ゆきお 石井 由紀夫	公募市民	C
委員	かねおか しょうどう 金岡 承道	公募市民	A
委員	ながの ひさみ 永野 久美	公募市民	C
委員	ひよし ひろこ 日吉 弘子	学識経験者	B
委員	さかい みちこ 酒井 道子	学識経験者	C
委員	あおき たかあき 青木 敬明	公募市民	A
委員	しおわき あきまさ 塩脇 章正	公募市民	B
委員	せと しげみ 瀬戸 茂美	公募市民	B

(3) 外部評価対象事業

内部評価と同様に、行政分野ごとに評価実施年度を定め、その行政分野に位置付けられている「政策」に関する予算事業を評価することとし、令和6年度は8つの行政分野から「経済・環境」「まちづくり」を対象に7政策・60事業を評価しました。

(4) 外部評価の視点

評価の客観性及び透明性を高めるため、次の①から③に掲げる項目を外部評価の主な視点とし、「市民の目線・生活者の視点」で検証を行いました。

①事業等の必要性

市民ニーズや社会経済情勢等の変化により、当該事業等の必要性が薄れていないか等进行评估しました。

②事業等の有効性・効率性

当該事業等の実現手段として、将来の財政事情や社会経済情勢等の変化を見通した事業設計になっているのか、事業費の削減余地や類似する事業等と連携した効率的な執行ができないか等の観点で评估しました。

③調書・評価シート全般

個々の事業が一体何をしているのかが市民に伝わるよう、事業内容を的確に整理しているか、適切な指標を設定し、コスト削減といった市の努力等がわかりやすく記載されているか等进行评估しました。

3 外部評価結果

評価結果は、担当部課評価及び内部評価結果と合わせて掲載しています。

4 令和6年度外部評価を通じての総括意見

海老名市は、まちづくりの羅針盤として令和2年度に「えびな未来創造プラン2020」（以下「20プラン」という。）を策定しました。「20プラン」では、10年後のめざす姿として「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」を掲げ、この実現に向けて今必要となる分野の目標を体系的に示し、政策ごとに「めざす姿」と「今後の方針」を設定しています。社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、具体的な内容や目標数値等は、毎年度スクラップアンドビルドが可能な予算事業計画や個別計画で管理する手法が採られています。

今年度は、「20プラン」で定められた8つの行政分野のうち「経済・環境」「まちづくり」を対象に7政策・60事業进行评估しました。今回評価した分野は市の政策的判断で行われるものが多く、評価する事業が多岐にわたり、評価に時間がかかりました。

「経済・環境」の分野は補助金を主とした政策が展開されていました。昨年度の補助金の見直しで指摘した点について、改善内容が明確にみられない事業も見られます。次年度の予算編成においては、今年度の行政評価及び昨年度の補助金の見直しで指摘をした点をもとに見直しができることを期待します。

「まちづくり」の分野では住みよいまちとなるような政策が展開されていることが理解できました。概ね必要な政策が適切に展開されているといえますが、改善の余地もあるため、次年度の予算編成にあたり、本委員会からの意見を前向きにとらえ、事業の改善について十分に検討することを望みます。

本報告書を通じて、海老名市全職員が改善の意識をもって次年度以降の事業に取り組まれることを期待します。

IV 政策・事業評価結果

【評価対象事業一覧】

行政分野3 経済・環境 ～にぎわいがあり自然に優しいまち～

No.	政策	事業名	所属	グループ
1	3-1 商工業の振興	ふるさと納税関係事業費	商工課	Aグループ
2		労働対策推進助成事業費	商工課	
3		勤労者対策推進事業費	商工課	
4		勤労者資金融資事業費	商工課	
5		商工業振興対策事業費	商工課	
6		工業振興対策事業費	商工課	
7		魅力ある店舗づくり事業費	商工課	
8		中小企業経営安定対策事業費	商工課	
9		にぎわい振興事業費	商工課	
10	3-2 農業の振興	農業振興対策管理事業費	農政課	Bグループ
11		農業拠点づくり推進事業費	農政課	
12		市民農園整備事業費	農政課	
13		都市農業推進事業費	農政課	
14		農業活性化事業費	農政課	
15		農業法人活動支援事業費	農政課	
16		農業振興助成事業費	農政課	
17		畜産振興対策事業費	農政課	
18		農業基盤整備事業費	農政課	
19	3-3 環境保全及びまちの美化推進	環境基本計画推進事業費	環境政策課	Bグループ
20		環境保全対策支援事業費	環境政策課	
21		公害対策事業費	環境政策課	
22		環境マネジメントシステム運用事業費	環境政策課	
23		犬猫等管理事業費	環境政策課	
24		害虫等対策事業費	環境政策課	
25		環境美化推進事業費	環境政策課	
26		有料化・戸別収集事業費	環境政策課	
27		廃棄物減量化事業費	環境政策課	
28		塵芥処理事業費	資源対策課	
29		し尿収集事業費	資源対策課	
30		資源物処理事業費	資源対策課	

行政分野4 まちづくり ～便利で快適に暮らせるまち～

No.	政策	事業名	所属	グループ
31	4-1 社会基盤の保全・整備	道路維持管理経費	道路管理課	Aグループ
32		橋りょう長寿命化対策事業費	道路管理課	
33		街路維持管理経費	道路管理課	
34		幹線・準幹線道路新設改良事業費	道路整備課	
35		歩道整備事業費	道路整備課	
36		一般生活道路整備事業費	道路整備課	
37		道路用地購入事業費	用地課	
38		狭あい道路用地等購入事業費	用地課	
39		道路用地管理事業費	用地課	
40		合併処理浄化槽整備助成事業費	下水道課	
41		都市排水路維持管理経費	下水道課	
42	4-2 住みよいまちづくりの推進	コミュニティバス運行事業費	都市計画課	Cグループ
43		公共交通対策推進事業費	都市計画課	
44		駅前施設整備調査等事業費	市街地整備課	
45		海老名駅東口周辺整備事業費	市街地整備課	
46		中新田丸田地区土地区画整理事業推進費	市街地整備課	
47		放置自転車対策事業費	都市施設公園課	
48		美化推進・放置自転車等防止巡回推進事業費	都市施設公園課	
49		地下駐車場改修事業費	都市施設公園課	
50		空き家等対策事業費	住宅まちづくり課	
51		4-3 住宅政策・緑化政策の推進	街区公園等維持管理経費	
52	街区公園等整備事業費		都市施設公園課	
53	緑地維持管理経費		都市施設公園課	
54	保全区域等指定事業費		都市施設公園課	
55	緑化推進事業費		都市施設公園課	
56	まちづくり支援事業費		住宅まちづくり課	
57	住宅政策事業費		住宅まちづくり課	
58	市営住宅維持管理経費		住宅まちづくり課	
59	4-4 まちの拠点整備	海老名駅自由通路関連施設改修事業費	都市施設公園課	
60		西口地区道路整備事業費	道路整備課	

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	3	経済・環境						
	政策	3-1	商工業の振興						
	方向性	まちににぎわいが生まれて、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① まちがにぎわい、市民の地元に対する意識が醸成され、全ての市民が「海老名市民」であることに誇りを持っています。</p> <p>② 大型商業施設と商店街が共存共栄し、地域経済が活性化され、にぎわいを創出しています。</p> <p>③ 優良な企業の新規立地と市内企業の再投資が活発に行われることで、雇用を創出し、地域経済が活性化され、持続的に発展しています。</p> <p>④ 勤労者福祉の向上が推進され、雇用が安定しています。</p> <p>⑤ 各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	ふるさと納税関係事業費	内部	見直し拡大	4	4	4	3	3
			外部	見直し拡大	5	4	4	3	3
	2	労働対策推進助成事業費	内部	見直し拡大	3	4	3	3	3
			外部	見直し拡大	3	3	3	2	3
	3	勤労者対策推進事業費	内部	見直し縮小	4	3	3	3	4
			外部	見直し縮小	3	3	3	3	3
	4	勤労者資金融資事業費	内部	見直し縮小	2	3	3	3	3
			外部	事業廃止	2	2	2	2	3
	5	商工業振興対策事業費	内部	見直し継続	3	4	4	3	4
			外部	見直し拡大	4	4	3	4	4
	6	工業振興対策事業費	内部	現状継続	4	3	4	3	4
			外部	現状継続	4	4	3	3	4
	7	魅力ある店舗づくり事業費	内部	事業完了	3	4	3	3	4
			外部	事業完了	3	3	3	3	4
	8	中小企業経営安定対策事業費	内部	現状継続	4	4	3	4	3
			外部	現状継続	4	4	3	3	4
	9	にぎわい振興事業費	内部	見直し拡大	4	3	4	4	3
外部			見直し拡大	3	3	3	3	4	

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価 A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価 B
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
	内部評価コメント	事業配置は適正と判断しますが、社会経済状況によりきめ細やかに見直し拡大する事業、見直し縮小する事業等を精査していくことが必要であるとともに、事業の評価指標をできるだけ設定し、効果を測定する必要があると考えます。
外部評価コメント	政策の推進に必要な事業は概ね適正に配置されていると判断します。事業の内容が重複していたり、社会情勢の変化によって優先度が変化している事業もあることから、各事業の再編と事業内容の見直しが必要であると考えます。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価 B
	A 順調である	外部評価 B
	B やや遅延している	
	C 著しく遅延している	
	内部評価コメント	事業実施による政策実施について、遅滞することなく取り組んでいるため、順調であると考えます。しかしながら、数値による評価指標が行われていないため、効果が具体的に把握できていない点について、検討を要するものと考えます。
外部評価コメント	各事業は概ね順調に進捗していると考えます。商工業の振興については予算の範囲での進捗度は達成を評価できますが、そもそも事業の計画が達成可能な範囲のレベルを超えていないので、本格的にめざす姿を実現するために必要な事業を計画する必要があると考えます。政策の進捗評価をする基準をできる限り数値化・可視化できるようにすることが望ましいと考えます。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価 A
	A 必要性が高い	外部評価 A
	B どちらとも言えない	
	C 必要性が低い	
	内部評価コメント	ふるさと納税(寄付)や商工業事業者への支援、商店街の活性化など、大多数の市民ニーズには直結しない事業もありますが、間接的に市民生活の豊かさに結びつくものと期待しております。
外部評価コメント	直接大多数の市民ニーズに直結しない事業は、社会情勢の変化に合わせて適宜縮小するなど、メリハリのある推進を望みます。商工業の振興などは市民ニーズに間接的な影響を与えるだけでなく、商店街の整備などは直接市民生活に影響します。新しい市民のニーズだけでなく旧来の市民や各地域の市民ニーズも公平に実現するような事業運営を期待します。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価 B
	A 最優先に実施すべきである	外部評価 B
	B 優先的に実施した方が望ましい	
	C 優先的に実施する必要は低い	
	内部評価コメント	政策の優先度は高いものと考えます。ただし、有効性や効率性を判断した優先順位の検討は必要であると考えます。
外部評価コメント	優先度は総じて高いと考えます。配置された事業には、最優先で実施すべき事業と優先的に実施は必要のないものがあると考えます。コストも時間もかかる事業に取り組むべく、各事業の優先度の検討が必要であると考えます。	

政策評価

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 企画費	細目	2 企画管理経費
事業名 (細々目)	ふるさと納税関係事業費							
事業概要	対象	市外居住者						
	目的	市外の方からの寄附の受入れを推進し、歳入の確保に努めるとともに、地域経済の活性化に寄与します。						
	手段	市外からのふるさと納税寄附者に対し、市内産品等の返礼品事業を実施します。						
	その他	市内事業者に声掛けをし、新規返礼品の獲得、返礼品の拡充を目指します。						
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-1 商工業の振興		
	めざす姿	各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。						
根拠法令等								
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要 市外からのふるさと納税寄附者に対し、市内産品等の返礼品事業を実施し、寄附の増額を図りました。また、市内事業者と連携し、新規返礼品の開拓を実施しました。</p>							
	<p>2 実施内容(外部委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品企画、事業者への説明実施 返礼品出荷手配 寄附金額証明書の発行 寄附者からの問い合わせ対応 インターネット上でのクレジット決済、入金管理 							
	<p>3 予算 350,469千円(委託料等) ※内訳:旅費20千円、役務費1,009千円、委託費349,440千円</p>							
	<p>4 その他 海老名市ふるさと納税返礼品の露出効果を高めるPRを行い、寄附につなげました。具体的には、ポータルサイト内での広告や、JR駅構内でのPRブースに出品を行いました。</p>							
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費(千円)		460,005		461,399		530,019		△ 68,620
財源内訳	特定財源	国庫支出金						0
		県支出金						0
		市債						0
		その他	201,324	315,020	357,237	△ 42,217		
	一般財源	258,681	146,379	172,782	△ 26,403			
部・課等名	経済環境部		商工課		にぎわい振興係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		460,004,007		461,398,561		530,019,000			
	人件費計 B		33,160,496		34,270,940		39,844,148			
	内訳	正職員	人数	4		4		4		
			人件費	33,160,496		34,270,940		39,844,148		
	会計年度	人数	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		493,164,503		495,669,501		569,863,148				
市民1人コスト C/人口		3574		3547		4056				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	寄附金額		千円	700000	996611					
	指標化できない成果		①新たな返礼品事業者を5事業者開拓しました。 ②新規返礼品を154品追加しました。							
担当部課評価	妥当性		評価		有効性		評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		2		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		4			
	効率性		評価		公平性		評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		4			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		4			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		5		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		3			
持続可能性		評価		平均		合計				
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		2		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.75	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		3		3.5	3.5	4	3.5	3.25		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		4								
「めざす姿」に対する現在の状況		返礼品事業により、市内業者の活性化が一定程度図られました。								
判断	現状継続	判断理由内容		ふるさと納税事業を開始した平成28年度当初より、寄附額についても順調に推移しているため、令和6年度以降も引き続き事業を継続していきます。						
課題問題点	海老名市の返礼品は家電製品が多いため、リピーターを増やしていくところが課題と捉えています。今後も、更に魅力的な返礼品の確保が求められると考えています。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		4		4		3		3	18
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価を修正します。 地方交付税不交付団体である当市は、他市への市税流出は即歳入不足に直結するため、ふるさと納税(寄付)の増額は必須課題であると考えます。そのような中、担当部署では、今年度庁内の横断組織である「ふるさと納税アタックプロジェクトチーム」を立上げ、寄付の増額に向け、新規返礼品の開拓、PR手法等様々な方策を検討していくことから、「見直し拡大」とし、その成果を測る数値的指標を検討してください。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	5		4		4		3		3	19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		内部評価を支持します。 地方交付税不交付団体である当市は、ふるさと納税による市税の流出を最小にするため、魅力的な返礼品の充実による寄附の増加と受入額の50%にも及ぶ経費の削減が必要です。 今後の「ふるさと納税アタックプロジェクト」での活動と成果に期待します。					
事業に対するコメント	ふるさと納税の寄付の増加には、企業誘致や企業立地の支援を含めた市の商工業の活性化が必要です。短期的な対応だけでなく中長期的な商工業の発展に必要な施策の立案及び実施をお願いします。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	5 労働費	項	1 労働諸費	目	1 労働諸費	細目	3 労働対策推進助成事業費
事業名 (細々目)		労働対策推進助成事業費						
事業概要	対 象	市内勤労者や市内事業所						
	目 的	地域労働者の労働条件と福祉の向上及び良好な労使関係を推進します。また、労働災害に対する意識付け・安全意識の高揚を図ります。また、駐留軍関係離職者の福祉向上を図ります。さらに、優秀な建築技能士を育成します。そして、人材不足を解消するための職業紹介を事業を推進します。						
	手 段	(財)神奈川県駐労福祉センター、地域メーデー参加団体、湘北建築共同高等職業訓練校、無料紹介事業等への事業費の一部を補助します。						
	そ の 他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境		政策名		3-1 商工業の振興	
	めざす姿	勤労者福祉の向上が推進され、雇用が安定しています。各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。						
根拠法令等	海老名市駐留軍離職者雇用促進補助金交付要綱、海老名市労働団体育成補助金交付要綱							
事業の 詳細説明	1 事業の概要							
	<p>【駐留軍離職者雇用促進補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐留軍関係離職者の再就職や年金・保険のほか、自立自営の生活相談等を巡回で行います。(原則として奇数月第4金曜日開催) ・補助実績:(財)県駐労福祉センター運営費補助 100,000円 <p>【労働団体育成補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域労働者の労働条件の改善と生活の安定を図ることを目的とし、労働団体が行う事業に要する経費に対し、補助金を交付します。 ・補助実績:県中央地域連合 500,000円 厚木地区労働組合協議会 120,000円 <p>【技能者育成補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の建築産業に従事する技能労働者の技能向上と生活の安定を図ることを目的とする事業の実施に要する経費に対し、補助金を交付します。 ・補助実績:湘北建築高等職業訓練校 85,000円 							
区 分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事 業 費 (千円)		735		805		805		0
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他					0	
	一般財源	735		805		805		0
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		735,000		805,000		805,000			
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074			
	内訳	正職員	人数	2		2		2		
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		17,315,248		17,940,470		20,727,074				
市民1人コスト C/人口		125		128		148				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
指標化できない成果		4つの労働団体等への事業に対し補助金を交付しました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			2		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	3.25	3.5	3	2.5	3.25	
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3						
	<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3						
「めざす姿」に対する現在の状況		新型コロナウイルス感染症の影響で事業の縮小が見られましたが、各種団体へ補助金を交付し、地域労働者や市内技能後継者の支援をしています。								
判断	見直し拡大	判断理由内容	労働団体補助金に関して、特定の団体への支援とならないよう支援の在り方を検討します。							
課題 問題点	特定の団体への支援に見えることから、補助基準を再検討し、勤労者福祉の向上のため労働団体等の支援を行います。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	4	3	3	3	16				
	判断	見直し拡大	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 国際情勢により不安定になりがちな駐留軍関係者や労働者の処遇改善、建築産業技能者の育成などを支援する団体への補助金であり、有効な施策と考えます。 労働団体への補助については制度改正を行い、門戸を広げるような対策を検討していくことから担当部課評価と同様「見直し拡大」としますが、その成果を測る数値的指標を検討してください。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	3	3	2	3	14				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を修正します。 補助金の交付という間接的な事業であり、担当部課も内部評価も見直しを検討していますが、具体的な方向性が見えていないと判断されるため、現状では見直し継続とします。						
事業に対する コメント	労働団体への補助金の支給は、補助対象団体への補助の妥当性を現在の時点で検証する必要があると考えます。 また、補助金の支給事務に過大な人員の配置がされていると見受けられるため再考を求めます。 職業訓練校などの補助は形だけのものではなく、より前向きに積極的に関与することを提案いたします。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	5 労働費	項	1 労働諸費	目	1 労働諸費	細目	3 労働対策推進助成事業費
事業名 (細々目)	勤労者対策推進事業費							
事業概要	対象	市内勤労者・市内事業所						
	目的	市内に事業所を有する中小企業の振興並びに従業員の福利向上及び雇用の安定を図ります。さらに、障がい者の雇用促進を図ります。						
	手段	①中小企業者が負担する退職金共済掛金の一部を補助します。 ②中央労働金庫から住宅資金の融資を受けた時に、その住宅資金融資にかかる利子の一部を補助します。 ③障がい者を新規及び既存に雇用している事業所に補助金を交付します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境		政策名		3-1 商工業の振興	
	めざす姿	勤労者福祉の向上が推進され、雇用が安定しています。						
根拠法令等	海老名市中小企業退職金共済制度奨励補助金に関する要綱、海老名市勤労者住宅資金利子補給補助金交付要綱、海老名市障がい者雇用促進奨励補助金交付要綱							
事業の詳細説明	<p>【中小企業退職金共済制度奨励事業】(要綱)</p> <p>○事業の概要 事業主が負担する退職金共済掛金の一部を補助することにより、市内に事業所を有する中小企業の振興及び従業員の福祉向上を図ります。</p> <p>○補助額 共済制度に加入している事業者に対して、被共済者1人当たり掛金の10%以内(限度額は年額7,200円)で奨励金を交付します。(加入から5年間)</p> <p>○事業費:2,536,000円</p> <p>【障がい者雇用促進奨励事業】(要綱)</p> <p>○事業の概要 障がい者の労働の機会を確保し、雇用促進を図るため事業主に対して奨励金を交付します。</p> <p>○補助額 障がい者を雇用している中小企業へ以下の基準で補助金を交付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の障がい者を雇用している場合:一人につき年額 50,000円 ・市外在住の障がい者を雇用している場合:一人につき年額 40,000円 ・新規に障がい者を雇用している場合:一人につき年額 100,000円 <p>○事業費:3,300,000円</p> <p>【勤労者住宅資金利子補給事業】(要綱)</p> <p>○事業の概要 勤労者の住宅確保を促進するため、中央労働金庫神奈川県内支店から融資を受けた住宅資金の利子の一部を補助します。</p> <p>○補助額 借入金50万円～500万円を対象に年利3%以内の利子額又は、前年中に支払った額を2分の1とした額のいずれか少ない額を補助します。(60ヶ月)</p> <p>○事業費:3,139,000円</p>							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	8,034		7,644		8,975		△ 1,331	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	551				0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他					0	
	一般財源	7,483		7,644		8,975		△ 1,331
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		8,033,900		7,643,100		8,975,000			
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074			
	内訳	正職員	人数	2		2		2		
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		24,614,148		24,778,570		28,897,074				
市民1人コスト C/人口		178		177		206				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
指標化できない成果		中小企業退職金共済制度奨励事業:62事業所へ補助金を交付しました。 障がい者雇用促進奨励事業:17事業所へ補助金を交付しました。 勤労者住宅資金利子補給事業:166名へ補助金を交付しました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.5
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3							
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4							
「めざす姿」に対する現在の状況		事業所や勤労者に対して補助金を交付し、勤労者福祉の向上を支援しています。								
判断	見直し縮小	判断理由内容	勤労者住宅資金利子補給事業は、他市で廃止している状況があるため見直しを検討します。また、中小企業退職金共済制度奨励事業及び障がい者雇用促進奨励事業は引き続き行います。							
課題 問題点	勤労者住宅資金利子補給事業は、他市での事業廃止の状況があるため、当該事業の段階的な廃止を検討します。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	3	4	17				
	判断	見直し縮小	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 中小企業の安定化、障がい者雇用の促進、勤労者の住宅取得等への補助金制度であり、いずれも勤労者支援として有効な施策と考えます。 しかしながら「勤労者住宅資金利子補給事業」は、社会経済情勢の変化に伴いその役割を終え、段階的な廃止を検討していくことから「見直し縮小」とします。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	3	3	3	3	15				
	判断	見直し縮小	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 いずれの事業も実績があり、勤労者支援として有効であると評価します。中小企業退職金共済制度奨励事業及び障がい者雇用促進奨励事業は、より充実するように検討を求めます。 住宅資金利子補給事業は、当市での必要性を慎重に判断したうえで、段階的な廃止をご検討ください。						
事業に対するコメント	社会情勢に応じた勤労者支援の事業であると考えます。見直しの中でより時代のニーズに適合した工夫をお願いします。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	5 労働費	項	1 労働諸費	目	1 労働諸費	細目	4 勤労者資金融資事業費									
事業名 (細々目)	勤労者資金融資事業費																
事業概要	対象	市内勤労者															
	目的	市内勤労者の福祉の増進と生活の安定を図ります。															
	手段	中央労働金庫へ運用資金の貸付を行い、融資の原資とし勤労者の資金需要に応えます。															
	その他	中央労働金庫が勤労者へ一般資金(生活、医療、教育、冠婚葬祭費等)や生活資金(自動車、耐久消費財、教育、住宅費等)の融資を行います。															
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-1 商工業の振興										
	めざす姿	勤労者福祉の向上が推進され、雇用が安定しています。															
根拠法令等	中央労働金庫総合融資預託要綱、海老名市勤労者生活資金融資制度要綱																
事業の 詳細 説明	1 事業の概要 【勤労者資金融資事業】 ○勤労者一般資金預託金 (75,000,000 円) ・中央労働金庫の独自商品である自動車購入、教育資金、生活資金等各種ローンの運用資金として普通預金で貸付します。 ○勤労者生活資金預託金 (60,000,000 円) ・勤労者の資金需要に応えるため、勤労者のための金融機関である中央労働金庫に運用資金を預託し、低利で運用しやすい融資を行い、勤労者の生活安定と充実を図ります。 内容 限度額 - 200万円 融資期間 - 5年以内 返済方法 - 元利金等割賦返済 融資利率 - 教育費 1.70% 自動車購入 2.00% 賃金遅欠配 1.10% 育児・介護休業費 1.00% リフォーム費用 1.40% その他生活資金一般 2.00%																
	2 事業実績 ・新規融資実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>融資実績</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>									令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	融資実績	1 件	1 件	0 件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度													
融資実績	1 件	1 件	0 件	0 件													
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)										
事業費 (千円)	135,000		135,000		135,000		0										
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0										
		県支出金					0										
		市債					0										
		その他	135,000	135,000	135,000	0											
	一般財源	0	0	0	0												
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係												

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興						
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)					
	事業費計 A		135,000,000		135,000,000		135,000,000					
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074					
	内訳	正職員	人数	2		2		2				
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074				
		会計年度	人数	0		0		0				
			人件費	0		0		0				
総コスト C=A+B		151,580,248		152,135,470		154,922,074						
市民1人コスト C/人口		1099		1089		1103						
指標設定	活動指標				成果指標							
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績				
	—	—	—	—	—	—	—	—				
	—	—	—	—	—	—	—	—				
指標化できない成果		勤労者の資金需要に応えるため、また、勤労者の生活資金の利便を図るため、低利で利用しやすい融資を行い、勤労者の生活の安定と充実を図りました。										
担当部課評価	妥当性		評価		有効性			評価				
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		2					
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		3					
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		2		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		2					
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		2		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		3					
	効率性		評価		公平性			評価				
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		3					
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		3					
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		3					
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		2		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		3					
持続可能性		評価		平均				合計				
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	13.75			
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		3										
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		3										
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		3										
「めざす姿」に対する現在の状況		中央労働金庫と契約を締結し、低利で利用しやすい融資を行うことで、勤労者の生活の安定と充実を図っています。										
判断	見直し縮小	判断理由内容		勤労者生活資金融資において、近年の融資実績や市民からの問い合わせが著しく減少しているため、令和6年3月31日をもって新規受付を廃止しました。								
課題 問題点	勤労者生活資金融資は、融資実績と市民からの問い合わせの減少が見られることから、預託額を令和6年4月1日時点の融資残高のみ(200,000円)を預託することに変更いたします。											
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計	
	2		3		3		3		3		14	
	判断	見直し縮小	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 金融機関と契約し、勤労者への低利融資を行うための原資として市費を預託する事業であり、必要とされる勤労者への支援としては有効な施策と考えます。 しかしながら「勤労者生活資金融資」については、近年の融資実績などから鑑み役目を終了したと判断、今年度から新規受付を停止したことから担当部課評価と同様「見直し縮小」とします。							
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計	
	2		2		2		2		3		11	
	判断	事業廃止	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 勤労者生活資金融資は2年間申し込みが無いことで、担当部課が令和6年3月31日でも新規申し込みを廃止いたしました。事業開始時点では必要な事業でしたが、社会情勢の変化により明らかに市民のニーズがない事業になったと判断したため、事業廃止とします。 なお、勤労者対策関連事業及び労働対策推進事業に配置される人員の適正配置をご確認ください。							
事業に対する コメント	必要でなくなった事業は適宜廃止し、現在の社会情勢において必要とされる経済的援助の形を模索すべきと考えます。 また、援助の原資の確保は直接市が行うようにしてコストを減らし、迅速な対応がとれる仕組みがあれば良いと考えます。											
評価結果を踏まえた次年度の対応												

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	細目	2 商工業振興対策事業費	
事業名 (細々目)	商工業振興対策事業費								
事業概要	対象	事業者・商店街団体及び海老名商工会議所							
	目的	中小企業の経営改善や地域商工業の総合的な振興を担う商工会議所に対して、指導体制と事業の充実を図るための事業活動への財政支援を行います。また、市内消費需要の喚起、購買力の市外流出防止及び商店街の集客力を高めるため、商業の活性化を図ります。							
	手段	商工会議所支援や販売促進事業、商店街共同施設維持管理等の事業へ補助金を交付します。							
	その他								
20 プラン	行政分野	3	経済・環境		政策名		3-1 商工業の振興		
	めざす姿	まちがにぎわい、市民の地元に対する意識が醸成され、全ての市民が「海老名市民」であることに誇りを持っています。大型商業施設と商店街が共存共栄し、地域経済が活性化され、にぎわいを創出しています。各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。							
根拠法令等	海老名市商店街共同施設維持管理費補助金交付要綱、海老名市商店街共同施設設置等補助金交付要綱、海老名商工会議所地域振興事業費補助金交付要綱、海老名市がんばる商店街応援事業補助金交付要綱、海老名市移動販売等車両燃料補助金交付要綱								
事業の 詳細説明	<p>【商店街共同施設維持管理費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 市内商店街に設置している街路灯181基の電気料、維持管理費、保険料及び補修費を各商店会に助成することにより、商店街の活性化を図ります。 事業費:2,342,620円 <p>【商店街共同施設設置等補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 市内商店街に設置している街路灯の修繕費を助成することにより、商店街の活性化を図ります。 事業費:0円 <p>【商工会議所地域振興事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 商工会議所法に基づき、地域商工業の総合的な改善並びに社会一般の福祉増進を図り、地域経済の発展に寄与する会議所の基盤強化を図るため財政支援を行います。 事業費:27,100,000円 <p>【がんばる商店街応援事業補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 商店街団体が行う事業を支援することにより、商店街及び地域商業の活性化を図ります。 事業費:3,400,000円 								
	区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
	事業費(千円)		26,697		30,268		34,843		△ 4,575
	財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
			県支出金					0	
市債							0		
その他							0		
一般財源		26,697		30,268		34,843		△ 4,575	
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策	商工業の振興						
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		26,697,000		30,267,149		34,843,000				
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074				
	内訳	正職員	人数	2		2		2			
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074			
	会計年度	人数	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		43,277,248		47,402,619		54,765,074					
市民1人コスト C/人口		314		339		390					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	-		-	-	-	-		-	-	-	
	-		-	-	-	-		-	-	-	
	-		-	-	-	-		-	-	-	
指標化できない成果		商店街共同施設維持管理費補助金:市内の9商店会へ街路灯維持の補助金を交付しました。 商工会議所地域振興事業費補助金:海老名商工会議所へ補助金を交付し、販路拡大支援事業や市内商工業者のPR等を行い、市内経済の活性化に寄与しています。 がんばる商店街応援事業補助金:7商店会が行った9つの事業へ補助金を交付しました。									
担当部課評価	妥当性		評価		有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		3				
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		4				
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		3				
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		4				
	効率性		評価		公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		3				
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		3				
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		4				
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		4				
持続可能性		評価		平均					合計		
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.5		
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		3		3.5	3.5	3.5	3.5	3.5			
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		4									
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		4									
「めざす姿」に対する現在の状況		海老名商工会議所や市内商店会へ補助金を交付し、市内商業地域の販路拡大や集客力向上、地域コミュニティの活性化に寄与しています。									
判断	見直し継続	判断理由内容		他の補助制度と類似している部分があるため、より効果的な事業の実施を意識しながら取り組んでまいります。							
課題 問題点	補助内容の見直し等を検討しますが、消費者が楽しく安全に商店街を利用するためのハード面の支援や市内商工業者のPR・販路拡大支援は必要不可欠なため、引き続き海老名商工会議所と連携を取りながらより効果的な事業を実施します。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		4		4		3		4		18
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 地域住民の暮らしの拠点としての商店街の活力と明るさを守る取組みは、商店街のみならず、住民にとっても意義のある事業であると評価します。 類似事業であるにぎわい振興事業費とがんばる商店街応援事業補助金との具体的な整理について検討してください。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		4		4		19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 現在の各事業が順調に進捗していることは評価いたします。しかしながら、市民が日常生活で感じる商店街の活性化やまちの明るさ、利便性の向上、コミュニティの活性化に対しては、現状の事業では明らかに不足していると考えます。 市民にとってまちづくりは生活の根幹であることから、ハードウェアの整備も含め、事業に対して積極的に関与することを期待します。						
事業に対するコメント		商店街の整備は重要です。地域コミュニティの中心となるような大型店と商店街が各地域に公平に整備されることを期待します。 商工業の活動を担う商工会議所の活動に限界があれば、必要な強化を図るべきだと考えます。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	細目	2 商工業対策事業費
事業名 (細々目)	工業振興対策事業費							
事業概要	対象	市内企業、市外企業及び市民(市内在住の小学生とその保護者)						
	目的	市内産業の振興と持続的な発展を目的としています。						
	手段	企業立地促進事業、オフィスビル等入居奨励事業、海老名産業懇話会、中小企業振興支援事業、ものづくり探訪隊						
	その他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-1 商工業の振興	
	めざす姿	優良な企業の新規立地と市内企業の再投資が活発に行われることで、雇用を創出し、地域経済が活性化され、持続的に発展しています。 各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。						
根拠法令等	海老名市企業立地促進条例(同施行規則)等、海老名産業懇話会規約、海老名市中小企業振興支援事業補助金交付要綱							
事業の 詳細説明	<p>1 事業概要</p> <p>(1) 企業立地促進事業、オフィスビル等入居奨励事業 市外優良企業の市内誘導及び市内企業の再投資により、市内地域経済の活性化と雇用の拡大及び税源涵養を図るため、企業立地促進事業の認定企業に対して、立地、雇用、環境施設の設置等の補助、固定資産税等の減免・法人市民税法人税制の軽減の支援を行いました。また、市内オフィスビル等へ入居する企業に対して、賃料の補助を行いました。</p> <p>(2) 海老名産業懇話会 海老名市の主要企業と相互に情報交換を行い、市との交流の窓口を構築することで、企業市民として地域に対する社会的責任を全うし、地域における経営環境の向上に寄与するため、企業間及び企業と市の情報交換の場として、定期的に懇話会を開催しました。</p> <p>(3) 中小企業振興支援事業 市内中小企業・個人事業の技術及び経営管理機能を向上させることにより、市内商工業等の持続的な発展を図るため、新製品・新技術の開発、各種展示会等への出展、人材募集、ホームページの制作・リニューアル、生産性の向上を目的とした設備投資等を行う中小企業者等に対して、予算の範囲内で補助金を交付しました。</p> <p>(4) ものづくり探訪隊 市内在住の小学生とその保護者に市内企業への理解を深め、「ものづくりの心」を育むため、貸切バスにより、市内のものづくり企業や関連施設を訪問し、見学や体験を実施しました。</p>							
	<p>2 事業実績</p> <p>(1) 企業立地促進事業: 令和4年度に事業計画を認定した企業へ奨励金を交付【奨励金: 3,000万円】 令和5年度に申請があった3社の事業計画を認定 オフィスビル等入居奨励事業: 令和4年度に交付決定した2社に補助金を交付【交付額: 5,674,000円】</p> <p>(2) 海老名産業懇話会: 5月及び11月に産業懇話会を開催し、企業間及び企業と市の間で近況の報告や情報交換を行いました。</p> <p>(3) 中小企業振興支援事業: 交付件数65件【交付金額: 7,805,000円】 環境施設設置事業(LED): 4件【800,000円】、求人広告掲載事業: 27件【2,084,000円】、 生産性向上等の設備導入事業: 1件【500,000円】、ホームページ制作・リニューアル事業: 18件【2,509,000円】、 展示会等出展事業: 14件【1,864,000円】</p> <p>(4) ものづくり探訪隊 1回目: 令和5年8月1日(火) 海老名工業団地、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 10組20名(市内小学校1~4年生とその保護者) 2回目: 令和5年8月3日(木) 日本郵便株式会社 神奈川西郵便局、株式会社パプコ 23名(市内小学校5、6年生)</p>							
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費(千円)		9,505		11,954		51,558		△ 39,604
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他	172		11,512		15,000	
一般財源		9,333		442		36,558		△ 36,116
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係			

【ものづくり探訪隊の様子】



令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		9,504,303		11,953,383		51,558,000				
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037				
	内訳	正職員	人数	1		1		1			
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037			
	会計年度		人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		17,794,427		20,521,118		61,519,037					
市民1人コスト C/人口		129		147		438					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績			
	—	—	—	—	—	—	—	—			
	—	—	—	—	—	—	—	—			
指標化できない成果		①事業計画を認定した企業に対して企業立地奨励金を交付しました。 ②交付決定した中小企業等に補助金を交付しました。									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4			
持続可能性			評価	平均			合計				
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性		
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	3.75	3.25	3.5		3.5	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の企業活動が停滞する中、設備等の再投資を行う企業に対して奨励金の交付や事業計画の認定を行い企業の持続的な発展を支援しました。									
判断	現状継続	判断理由内容 中小企業振興支援事業及び企業立地促進事業は併せて実施することで、市内商工業の持続的な発展に寄与することから、事業内容の見直しは適宜行っていく必要があると考えておりますが、企業立地促進事業が存続する限り、中小企業振興支援事業の存否に係る見直しは不要(不可)と考えます。									
課題 問題点	補助実績がない補助メニューや申請が少ない補助メニューについては、補助実績及び社会経済情勢に応じて補助メニューを拡充するだけでなく、廃止等を含めて要件や補助内容を見直す必要があります。しかし、事業の廃止を実施すると、新たに立地する企業の動機消失や中小企業向けの支援縮小につながります。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		4		3		4		18
	判断	現状継続	判断理由内容 担当部課評価を支持します。 優良企業の誘致や中小企業の安定的な経営を支援することは、持続的な税収と雇用の創出につながることから、有効な制度であると評価します。 なお、中小企業振興支援事業については、多様な補助メニューがあり事業の整理などの見直しが課題とされていますが、補助実績の多寡など、事業評価のための指標設定は可能と考えます。								
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		4		18
	判断	現状継続	判断理由内容 担当部課評価及び内部評価を支持します。 企業立地の促進、中小企業の振興のために様々な事業を展開し、実績をあげていることを評価します。 補助事業のメニューは、社会情勢の変化による対象者のニーズの変化を常に参照しながら、必要な拡大縮小、新設廃止をお願いします。								
事業に対するコメント	商工業の振興はまちづくりの根幹です。あるべき姿に向けて、長期的あるいは短期的な施策を十分に見直ししながら、事業を拡大強化することを期待します。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	細目	2 商工業振興対策事業費											
事業名 (細々目)	魅力ある店舗づくり事業費																		
事業概要	対象	市内に店舗等を所有又は借用し、自ら営業している者又は営業を開始しようとしている者																	
	目的	店舗を改修して事業を営む者や空き店舗等を活用して新たに出店しようとする者を支援することにより、地域商業の活性化を図り、にぎわいを創出します。																	
	手段	既存店舗や空き店舗等を改修する者に対して、その改修費等の補助を行います。本事業は海老名商工会議所を通じて実施します。																	
	その他																		
20 プラン	行政分野	3	経済・環境		政策名		3-1 商工業の振興												
	めざす姿	まちがにぎわい、市民の地元に対する意識が醸成され、全ての市民が「海老名市民」であることに誇りを持っています。大型商業施設と商店街が共存共栄し、地域経済が活性化され、にぎわいを創出しています。																	
根拠法令等	海老名市魅力ある店舗づくり支援事業補助金交付要綱																		
事業の 詳細説明	1 事業の概要 地域商業の活性化を図り、にぎわいを創出することを目的に、既存店舗又は空き店舗等の魅力向上を図るための改修等に要する費用について、予算の範囲内で補助金を交付します。																		
	2 事業実施方法 市が海老名商工会議所に補助金を交付し、海老名商工会議所が本助成金交付実施要領に基づき、助成金交付事務を行います。																		
	3 実施要領の内容 (1)対象者 市内に店舗等を所有又は借用し、自ら営業している者又は営業を開始しようとしている者 (2)対象業種 小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業のほか、にぎわいを創出するものとして会頭が認めたもの (3)対象経費																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>対象経費</th> <th>助成率</th> <th>上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改装・改修事業</td> <td>屋根、内装、外装の改修工事費、看板、日よけの修復及び設置工事費、厨房の改修工事費、給排水設備工事費、衛生設備に関する工事費、給湯に関する工事費、電気、ガスに関する工事費、エアコンの設置工事費、客用トイレの改修や水回りに関する工事費</td> <td>1/3</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td>家賃補助事業</td> <td>賃借料 (敷金、礼金、駐車場、仲介手数料等賃貸借契約に関する諸費用を除く。)</td> <td>1/2</td> <td>月額5万 (最長6ヶ月)</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	対象経費	助成率	上限額	改装・改修事業	屋根、内装、外装の改修工事費、看板、日よけの修復及び設置工事費、厨房の改修工事費、給排水設備工事費、衛生設備に関する工事費、給湯に関する工事費、電気、ガスに関する工事費、エアコンの設置工事費、客用トイレの改修や水回りに関する工事費	1/3	50万円	家賃補助事業	賃借料 (敷金、礼金、駐車場、仲介手数料等賃貸借契約に関する諸費用を除く。)	1/2
事業名	対象経費	助成率	上限額																
改装・改修事業	屋根、内装、外装の改修工事費、看板、日よけの修復及び設置工事費、厨房の改修工事費、給排水設備工事費、衛生設備に関する工事費、給湯に関する工事費、電気、ガスに関する工事費、エアコンの設置工事費、客用トイレの改修や水回りに関する工事費	1/3	50万円																
家賃補助事業	賃借料 (敷金、礼金、駐車場、仲介手数料等賃貸借契約に関する諸費用を除く。)	1/2	月額5万 (最長6ヶ月)																
4 事業実績(R5) 商工会議所 5,000,000円(7件 事務運営費1,322,000円含む)																			
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)											
事業費(千円)		9,226		5,000		5,000		0											
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0												
		県支出金					0												
		市債					0												
		その他	9,226	5,000	5,000	0													
	一般財源	0	0	0	0														
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係														

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策	商工業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)		
	事業費計 A		9,226,000		5,000,000		5,000,000		
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074		
	内訳	正職員	人数	2		2		2	
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074	
	会計年度		人数	0		0		0	
			人件費	0		0		0	
総コスト C=A+B		25,806,248		22,135,470		24,922,074			
市民1人コスト C/人口		187		158		177			
指標設定	活動指標				成果指標				
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績	
	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	
指標化できない成果		過去3年間で12回の審査会を開催し、30事業所を支援しました。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3	
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4	
	効率性			評価	公平性			評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3	
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3	
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4	
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4	
	持続可能性			評価	平均			合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3.5	3.75	3.25	3.5	3.5
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4						
「めざす姿」に対する現在の状況		店舗を改修して事業を営む者や空き店舗等を活用して新たに出店しようとする者を支援することにより、地域商業の活性化及びにぎわいの創出に寄与しています。							
判断	事業完了	判断理由内容		当該事業は平成28年度より実施しており事業目的は一定程度達成されたことと海老名商工会議所も認識していることから、令和6年度末をもって事業廃止とします。					
課題 問題点	事業目的が一定程度達成されたことから、令和7年度からこれに代わる新たな事業について、海老名商工会議所と検討していきます。								
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計			
	3	4	3	3	4	17			
	判断	事業完了	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 活力ある店舗づくりという事業目的からは逸脱してはいませんが、支援の対象が、主に既存の飲食店の改修に偏ってきた傾向がみられることから、当該事業の効果は十分得られたとして、いったん事業をリセットし、幅広い業種の持続的な経営への支援事業を創出するため、担当部課の評価を支持し、事業完了を支持します。				
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計			
	3	3	3	3	4	16			
	判断	事業完了	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 実績もある中で、支援の対象に広がりが少ないことから、一度事業をリセットして、より有効な支援事業を検討するという判断に同意します。				
事業に対するコメント	魅力ある店舗づくりの推進は必要な事業であると考えます。「5 商工業振興対策事業費」の大きな枠の中でも、商工会議所と連携して充実した事業の見直しが行なわれることを期待します。								
評価結果を踏まえた次年度の対応									

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	細目	3 中小企業振興対策事業費
事業名 (細々目)	中小企業経営安定対策事業費							
事業概要	対象	中小企業者及び取扱金融機関						
	目的	市中小企業事業資金融資の契約金融機関及びマル経融資を受けた中小企業者に対し利子額の一部を補助します。さらに、市融資を受ける際に県信用保証協会の保証を受けた中小企業者に対して信用保証料の補助を行い、商工業者の施設の近代化や経営安定を図ります。						
	手段	①市中小企業事業資金融資及びマル経融資を受けた者に、利子の一部を補助します。 ②県信用保証協会へ支払った保証料の全額(上限10万円)を補助します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-1 商工業の振興	
	めざす姿	各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。						
根拠法令等	中小企業信用保険法、海老名市中小企業信用保証料補助要綱、海老名市中小企業事業資金等利子補給金交付要綱							
事業の 詳細説明	1 事業の概要							
	<p>○中小企業信用保証料補助 中小企業事業資金融資を受ける際に、神奈川県信用保証協会に払い込んだ保証料の全額(限度額10万円)を助成します。</p> <p>○中小企業事業資金利子補給 中小企業の資金重要に応え、経営安定を支援するため融資経費負担の軽減を図ります。</p> <p>(1)海老名市中小企業資金融資制度利用者への利子補給 市と金融機関との契約金利と、貸出実効金利との利子差額分を金融機関へ利子補給します。 ※令和5年度の契約利率は1.8%、利子補給の利率は0.9%です。</p> <p>(2)小規模事業者経営改善資金利用者(マル経融資)への利子補給 日本政策金融公庫が実施している、マル経融資の利用者へ、当該公庫に支払った利子額の50%以内を利子補給します。 ※利子補給対象借入金は2000万円以下、利子補給期間は36か月以内です。</p>							
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費 (千円)		34,891		36,353		57,736		△ 21,383
財源内訳	特定財源	国庫支出金	9,817				0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他					0	
	一般財源	25,074		36,353		57,736		△ 21,383
部・課等名	経済環境部		商工課		商工政策係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		34,890,955		36,352,923		57,736,000				
	人件費計 B		10,016,310		10,348,682		14,941,556				
	内訳	正職員	人数	1		1		1.5			
			人件費	8,290,124		8,567,735		14,941,556			
		会計年度	人数	1		1		0			
			人件費	1,726,186		1,780,947		0			
総コスト C=A+B		44,907,265		46,701,605		72,677,556					
市民1人コスト C/人口		325		334		517					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		金融機関及び事業者に利子の補給を行いました。(金融機関 19機関29,164,300円、事業者 8件209,000円) 事業者に信用保証料の補助を行いました。(136企業 12,138,251円)									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4			
	持続可能性			評価	平均					合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			2	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性		
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3								
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		金融機関との連携が不可欠であるため、市内商工業の発展のために、現在よりも密接に連携していく必要があると考えます。									
判断	現状継続	判断理由内容		市が金利の一部を負担することで、市内事業者が低金利で資金を調達できているため、市内商工業の発展に寄与できていると考えるためです。							
課題問題点	金融機関や利用者の意見を聞きながら、社会情勢を鑑みて、利率、融資限度額、信用保証料補助額等を柔軟に変更していく必要があると考えます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		4		3		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。中小企業の借り入れは、事業の運転資金調達や設備の改修が主な目的である実態を踏まえ、市内事業者の安定的な事業運営や発展を支える目的に対し、高い効果を発揮していると評価します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		4		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。中小企業の運転資金・設備投資金の借り入れを支援することは、市内業者の経営基盤の安定化に効果のある事業であると判断します。						
事業に対するコメント	事業内容は、社会情勢の変化に適時対応することが必要です。不公平感を生じさせないように、中小企業経営安定化に資する事業を整理し、対象者に周知してください。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費	細目	2 にぎわい振興事業費	
事業名 (細々目)	にぎわい振興事業費								
事業概要	対象	商店街団体、地域団体、商工業者等、市民及び来街者							
	目的	海老名市のにぎわいをより一層創出し、市内全体の経済活性化を図ります。							
	手段	市全域を参加対象者にしたにぎわいを創出するイベントに対し、補助を行います。 また、本市に多くの人が繰り返し訪れるよう、ショッピング、グルメ、イルミネーション、散策等の事業を展開します。							
	その他								
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-1 商工業の振興		
	めざす姿	まちがにぎわい、市民の地元に対する意識が醸成され、全ての市民が「海老名市民」であることに誇りを持っています。各種団体等と連携し、市内商工業の活性化が図られています。							
根拠法令等	海老名市にぎわい振興事業補助金交付要綱								
事業の 詳細説明	<p>○海老名市にぎわい振興事業補助金</p> <p>1 事業の概要 海老名市のにぎわいをより一層創出するため、住民や商店街団体等が郷土愛醸成及び地域コミュニティの活性化を図ることを目的とし、市全域を参加対象者にしたイベントに対して補助金を交付しました。</p>								
	<p>2 事業の実績 補助対象事業数:12事業 補助額:3,368,000円 イベント参加人数:84,450名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">にぎわい振興事業補助金認定事業(令和5年度)</p>								
事業の 詳細説明	<p>○イルミネーション事業 本市の冬の風物詩となるような海老名駅周辺が一体となったイルミネーションと、その時期に合わせたイベントを同時開催し、まちのにぎわいを創出しました。</p>								
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">     </div> <p style="text-align: center;">イルミネーション事業及び関連事業(令和5年度)</p>								
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)		2,365		27,552		28,184		△ 632	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0		
		県支出金			13,718		9,259		4,459
		市債							0
		その他			11,067		7,164		3,903
	一般財源	2,365		2,767		11,761		△ 8,994	
部・課等名	経済環境部		商工課		にぎわい振興係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		商工業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		2,364,749		27,551,976		28,184,000			
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074			
	内訳	正職員	人数	2		2		2		
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		18,944,997		44,687,446		48,106,074				
市民1人コスト C/人口		137		320		342				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
指標化できない成果		①海老名市にぎわい振興事業補助金交付事業数:12事業 ②イルミネーション事業関連イベントの実施数:42事業								
担当部課評価	妥当性		評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		4			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		3		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		4			
	効率性		評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		4			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		4			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		4			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		3			
	持続可能性		評価		平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		2		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.5
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		3		3.5	3.75	3.5	3.75	3		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		3								
「めざす姿」に対する現在の状況		本事業に関するイベントが数多く開催され、まちのにぎわいが創出されました。								
判断	見直し拡大	判断理由内容		にぎわい振興補助金については、令和6年度から単独補助となるため、1事業に対する補助額を増額報告で見直します。イルミネーション事業については、新たに海老名駅東口にシンボルツリーの設置を検討します。						
課題 問題点	市民に向けた事業やイベントの告知・周知方法が課題となっています。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		3		4		4		3	18
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 また、イルミネーションについては、これまでは市の予算のみで実施していたところ、令和6年度は事業所等への協賛依頼を行っているとのことでした。これは事業の継続性及び発展的な拡大のために、大変有効な取り組みと思います。 なお、事業の評価における指標設定については、少なくとも活動項目についての指標設定は可能と考えます。適切に設定し、事業の達成度等把握するようにしてください。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	3		3		3		3		4	16
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 住民や商店街、各府団体等が地域コミュニティの活性化のために実施するイベントを支援する事業は必要と考えます。 また、各種事業に対して事業者からの協賛を依頼することは、事業規模の拡大や継続性の観点から有効であり、事業への積極的な姿勢が評価できます。 様々な工夫でまちのにぎわいが、より豊かで充実したものになることを期待します。					
事業に対する コメント	市内の各地域に合わせたイベントの実施が必要です。各地域住民の公平感が保てるように、本事業を周知あるいは企画立案して事業運営をしてください。 (北部地区において拡大していることは良しとしますが、新たに南部地区への拡大が必要かと考えます。)									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	3	経済・環境						
	政策	3-2	農業の振興						
	方向性	地域の特性を活かした都市農業により、地産地消が推進され、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① 農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を生かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。</p> <p>② 収益性の高い農業により農業経営が安定し、優良農地が維持・保全され、農業の持続的発展が図られています。</p> <p>③ 農地の集約化や農業基盤整備の推進により、作業の効率化や省力化につながる農業環境等が維持されています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	農業振興対策管理事業費	内部	現状継続	3	3	3	3	3
			外部	現状継続	3	3	3	3	3
	2	農業拠点づくり推進事業費	内部	現状継続	3	3	3	3	3
			外部	現状継続	3	3	3	3	3
	3	市民農園整備事業費	内部	現状継続	4	3	3	3	3
			外部	現状継続	3	4	3	3	3
	4	都市農業推進事業費	内部	現状継続	3	3	3	3	3
			外部	現状継続	4	3	3	3	4
	5	農業活性化事業費	内部	見直し縮小	3	2	3	3	2
			外部	事業廃止	1	2	2	1	2
	7	農業法人活動支援事業費	内部	現状継続	4	3	3	3	3
			外部	現状継続	3	3	2	3	2
	8	農業振興助成事業費	内部	現状継続	4	3	3	3	4
			外部	見直し継続	4	3	3	2	2
	9	畜産振興対策事業費	内部	現状継続	3	4	3	3	3
			外部	見直し継続	3	4	2	2	2
	10	農業基盤整備事業費	内部	現状継続	4	4	3	4	4
			外部	現状継続	4	4	3	4	4

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価
	A	A
	B	外部評価
	C	C
	内部評価コメント	新規営農者支援や後継者対策事業から、農業基盤整備など、政策を推進する事務事業が多岐にわたり適正に配置されています。しかしながら、農業従事者の高齢化、減少が進んでいる現状を踏まえ、社会情勢やニーズを把握し、地域特性を活かし、効果的な事業展開に期待します。
外部評価コメント	多様な方面で政策を展開し、農地の有効活用や、市民への農業に対する理解を深めるための周知を行う事業も必要と判断します。 なお、新規事業の追加のみならず、既存事業の見直しや事業の廃止も含めて検討が必要です。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価
	A	A
	B	外部評価
	C	B
	内部評価コメント	多岐にわたる農業振興施策により、当該政策は順調に推進されていると判断します。今後は、社会情勢、ニーズを的確に捉え、効果的・効率的な事業展開に期待します。
外部評価コメント	各事業が最終的に目標とすべき点が見えづらく、目指す姿を見据えると達成しているとは言えないと判断します。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価
	A	A
	B	外部評価
	C	B
	内部評価コメント	食の安全安心や受給率向上、地域農業の持続的な発展、農地の保全は、市民ニーズや社会需要等において高く望まれるものです。今後も市民ニーズを的確に捉え、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されることを期待します。
外部評価コメント	地域農業の持続的な発展のためには、後継者の育成や遊休農地等の活用は必要です。一方で、市民が農業について学ぶ機会が少なく、現状ではニーズが高いとはいえないため、今後、市民が海老名の農業が必要だと思うことができる政策がなされることを期待します。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価
	A	B
	B	外部評価
	C	B
	内部評価コメント	将来にわたる市内農業の持続的な発展、農地の保全、さらには、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業の展開は重要な政策のひとつであり、優先的に実施すべき事業であると考えます。
外部評価コメント	生産者や市民にとって魅力ある都市農業を展開し、地産地消を推進するためにも、持続的な発展に係る農業政策は重要であり、優先的に実施する必要がある事業と考えます。	

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費																				
事業名 (細々目)	農業振興対策管理事業費																											
事業概要	対象	市内生産者及び営農組織、市民等																										
	目的	将来にわたる市内農業の持続的な発展及び農地の保全																										
	手段	農業後継者組織の活動に対して支援を行いました。 地域団体による体験農業活動に対して支援を行いました。 有害鳥獣による被害対策として、有害鳥獣の捕獲等について支援しました。																										
	その他																											
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-2 農業の振興																					
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																										
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律																											
事業の 詳細 説明	<p>1 有害鳥獣捕獲等委託 事業費:1,009,800円 生活被害や農業被害をもたらすアライグマとハクビシンの捕獲等を専門業者に委託することで、被害を防ぎ市民生活を守りました。</p> <p>有害鳥獣の捕獲数 (単位:匹)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アライグマ</td> <td>35</td> <td>26</td> <td>43</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>ハクビシン</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51</td> <td>37</td> <td>58</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>  <p>捕獲されたアライグマ</p>								種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	アライグマ	35	26	43	38	ハクビシン	16	11	15	12	合計	51	37	58	50
	種類	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																							
アライグマ	35	26	43	38																								
ハクビシン	16	11	15	12																								
合計	51	37	58	50																								
<p>2 農業後継者等対策事業 事業費:599,200円 将来の農業経営の安定化に向けて、後継者組織が行う地域や消費者との交流活動等を助長させることにより、農業後継者や若手農業者の育成と定着化を進めました。 地域団体による体験農業活動を促進させることにより、市民(住民)が農業に参画できる場を創出しました。</p> <p>【後継者組織による活動】</p>  <p>トマトの収穫体験</p>  <p>直売会</p>																												
3 その他事業 事業費:1,223,105円																												
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																				
事業費(千円)		4,283		3,247		3,848		△ 601																				
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0																					
		県支出金	305		553		834		△ 281																			
		市債					0																					
		その他			2,421		2,421																					
	一般財源	3,978		273		3,014		△ 2,741																				
部・課等名	経済環境部		農政課		農業振興 地産地消推進		係																					

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		4,282,776		3,247,015		3,848,000			
	人件費計 B		6,632,099		6,854,188		7,968,830			
	内訳	正職員	人数	0.8		0.8		0.8		
			人件費	6,632,099		6,854,188		7,968,830		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		10,914,875		10,101,203		11,816,830				
市民1人コスト C/人口		79		72		84				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	有害鳥獣からの被害に対する相談に対して、現地調査16件、箱わなの設置22件を実施しました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	3.5	2.75	3.25	3	3.25		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3					15.75		
「めざす姿」に対する現在の状況		後継者組織の活動は、農業への理解を深めてもらう機会の創出や地産地消の推進にも繋がっており、こうした活動が農地の持つ多面的機能の維持に繋がっています。								
判断	現状継続	判断理由内容	有害鳥獣による被害は年々増加していることから、有害鳥獣の捕獲を推進していくことは市民生活を守るうえで必要な取組と考えられます。農業後継者不足は喫緊の課題であり、後継者対策は農業の持続的発展のために必要な取組と考えます。							
課題 問題点	農業が職業として選ばれるよう、後継者組織の活動をさらに活性化させ、都市農業の魅力を伝えてまいります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	3	3	3	3	15				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 農業従事者の高齢化、減少が進む中、地域農業を持続的な発展、農地の保全のため、継続的な取り組みが必要と考えます。 今後は、後継者組織の活動を活性化させるためにも、様々な事業展開を期待します。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	3	3	3	3	15				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 後継者の確保は必要であり、政策として効果はあると考えます。一方で、後継者を確保すること以外にも、いろいろな方法で農業に参入できると、より農業の振興という目的に近づくものと考えます。						
	事業に対する コメント	有害鳥獣捕獲の事業については、市が迅速に対応したとの声があります。今後も迅速な対応を期待しています。								
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費					
事業名 (細々目)	農業拠点づくり推進事業費												
事業概要	対象	市内生産者											
	目的	生産者が安心して安定した農業経営を持続できるよう、作業の効率化、生産者の負担を軽減します。											
	手段	農業機械の貸出や米穀の乾燥・糶摺り作業を行う環境を整備しました。											
	その他												
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-2 農業の振興							
	めざす姿	収益性の高い農業により農業経営が安定し、優良農地が維持・保全され、農業の持続的発展が図られています。											
根拠法令等													
事業の 詳細説明	<p>【農業機械の貸出事業】 機械の更新、保守等に係る事業費:4,512,243円 小規模農家や新規就農者が農業機械を購入し維持していくには費用負担が大きいことから、農業機械の貸出を行うことで生産者の負担軽減を図っています。 農政課で所有している貸出用農業機械は導入から10年が経過し、各機械の破損や消耗が激しいことから、計画的に老朽化した農業機械の更新を行っています。</p>												
	<p>農業機械の貸出件数</p> <table border="1"> <tr> <td>トラクタ</td> <td>45回</td> </tr> <tr> <td>田植機</td> <td>26回</td> </tr> <tr> <td>コンバイン</td> <td>46回</td> </tr> </table> <p>トラクタ  コンバイン </p> <p>【ライスセンター・南部農業拠点施設の運営】 施設管理等に係る事業費:2,988,623円 ライスセンターは、乾燥設備等の共同施設設置、各種機械の共同利用による作業の効率化等により、生産者の負担軽減等を図っています。地区内で管理困難となった農地の農作業を受託する中部営農組合の活動拠点となっており、本市農業の維持と優良農地の保全に重要な役割を果たしています。 南部農業拠点施設は、乾燥・糶摺り等の機材を提供することにより、生産者自らの農業従事を推進し、本市農業の維持と優良農地を保全するための一助となっています。</p> <p>ライスセンター  南部農業拠点施設 </p>								トラクタ	45回	田植機	26回	コンバイン
トラクタ	45回												
田植機	26回												
コンバイン	46回												
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)						
事業費 (千円)	3,228		5,137		8,903		△ 3,766						
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0						
		県支出金					0						
		市債					0						
		その他	1,831	1,898	1,806	92							
	一般財源	1,397	3,239	7,097	△ 3,858								
部・課等名	経済環境部	農政課	農業振興係	農産物消費推進係									

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		3,227,503		5,137,160		8,903,000				
	人件費計 B		3,316,050		3,427,094		3,984,415				
	内訳	正職員	人数	0.4		0.4		0.4			
			人件費	3,316,050		3,427,094		3,984,415			
		会計年度	人数								
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		6,543,553		8,564,254		12,887,415					
市民1人コスト C/人口		47		61		92					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		南部農業拠点施設に設置している米穀の乾燥・粃摺り機を多くの生産者が利用しました。(2,871袋(約86,130kg))									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3			
	持続可能性			評価	平均						
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			2	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4							
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		農業機械の貸出事業は、生産者の負担軽減を図り離農を抑制することにより、優良農地が維持・保全されています。									
判断	現状継続	判断理由内容		農業機械貸出事業は、導入以降、多くの生産者から利用があり、経費削減や農地の保全に寄与しています。また、生産者からは今後も継続してほしいとの要望が多いことから、引き続き事業を継続してまいります。							
課題 問題点	農業機械導入から10年以上が経過しており、各機械の破損や消耗が激しく、近年は保守点検や修理に係る費用が増大していることから、予算の平準化及び農業機械の安定供給を確保するため、計画的に老朽化した機械の更新を行います。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		3		3		3		3		15
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 農業機械貸出事業は、多くの生産者からのニーズもあり、農地の保全に寄与していることから、事業の継続が必要であると考えます。 なお、今後の事業継続のためにも、計画的な機械の更新、さらには、生産者の負担金についても、見直しを含めて研究が必要であると考えます。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		3		3		3		3		15
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 農業機械は高額なものが多く、貸出事業自体は良い事業ですが、機械の更新等にも費用がかかることから、生産者に負担金等を求めることも含めて検討する必要があると考えます。						
事業に対する コメント	この事業は、継続的な取り組みが農地保全に寄与するので、生産者からの要望等を整理し、予算を確保してください。										
評価結果を踏まえた 次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費																								
事業名 (細々目)	市民農園整備事業費																															
事業概要	対 象	市民																														
	目 的	荒廃農地の防止及び遊休農地の有効活用並びに農地の良好な景観形成を図りながら、市民の余暇活動の場の提供を行い、市民に農地や農作業(栽培)環境の大切さを知ってもらうことで、農業への理解を深めてもらうために市民農園を設置します。																														
	手 段	市が借り上げた農地を、市民が農業への理解を深め、余暇を楽しむ場として貸出しました。																														
	そ の 他																															
20 プ ラ ン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-2 農業の振興																											
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																														
根拠法令等																																
事業の 詳細 説明	1 事業の概要																															
	荒廃農地の防止及び遊休農地の有効活用並びに農地の良好な景観形成を図りながら市民の余暇活動の場の提供を行い、市民に農地や農作業(栽培)環境の大切さを知ってもらうことで、農業への理解を深めてもらうために市民農園を設置します。																															
事業の 詳細 説明	2 事業の実績																															
	<p>市民農園の開設状況</p> <table border="1"> <tr> <td>令和5年度</td> <td>22園</td> <td>525区画</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>23園</td> <td>552区画</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>23園</td> <td>576区画</td> </tr> </table> <p>事業費(R5決算額)</p> <table> <tr> <td>電気使用料</td> <td>144,000円</td> </tr> <tr> <td>郵便料</td> <td>101,000円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,483,000円</td> </tr> <tr> <td>借地料</td> <td>983,000円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>255,000円</td> </tr> </table> <p>歳入(市民農園利用料)</p> <table> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,391,000円(予算額)</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,574,056円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3,400,554円</td> </tr> </table>								令和5年度	22園	525区画	令和4年度	23園	552区画	令和3年度	23園	576区画	電気使用料	144,000円	郵便料	101,000円	委託料	3,483,000円	借地料	983,000円	その他	255,000円	令和5年度	3,391,000円(予算額)	令和4年度	3,574,056円	令和3年度
令和5年度	22園	525区画																														
令和4年度	23園	552区画																														
令和3年度	23園	576区画																														
電気使用料	144,000円																															
郵便料	101,000円																															
委託料	3,483,000円																															
借地料	983,000円																															
その他	255,000円																															
令和5年度	3,391,000円(予算額)																															
令和4年度	3,574,056円																															
令和3年度	3,400,554円																															
区 分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)																												
事 業 費 (千円)	4,444	4,346	4,966	△ 620																												
財源内訳	特定財源	国庫支出金				0																										
		県支出金				0																										
		市債				0																										
		その他	3,401	3,574	3,391	183																										
	一般財源	1,043	772	1,575	△ 803																											
部・課等名	経済環境部	農政課	地産地消推進係																													

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		4,443,367		4,345,205		4,966,000			
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037			
	内訳	正職員	人数	1		1		1		
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		12,733,491		12,912,940		14,927,037				
市民1人コスト C/人口		92		92		106				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						市民農園利用率		%	87.5	95.8
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	4	3	3		3	3.25
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		市民農園を開設することで、荒廃農地の防止及び遊休農地を有効的に活用しています。								
判断	現状継続	判断理由内容		市民に農作業等の大切さを知ってもらうことで、農業への理解を深めてもらうためです。また、利用率が高いことから、継続して事業を実施していきます。						
課題 問題点	新たに農園を開設する場合は、適正な配置を考慮し、慎重に検討していきます。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		3		3		3		3	16
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 当事業は、市民農園利用率からも分かるように、荒廃農地の防止及び遊休農地の有効活用に寄与しており、事業の継続が必要であると考えます。 今後は、利用者のニーズを把握し、更なる事業の充実に期待します。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	3		4		3		3		3	16
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 市民農園について、楽しみにしている市民も多く、土地の有効活用としても良い事業と考えます。一方で、利用に抽選を要しているなどニーズに対応できていない面もあるため、より良い事業となるように検討してください。					
事業に対する コメント	利用者の高齢化等による市民農園での事故を防ぐため、安全対策を講じる必要があると考えます。また、近隣農家、住民とのトラブルを避けるためにも、市民農園を借りる際の研修等を丁寧に行うことを提案します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費																									
事業名 (細々目)	都市農業推進事業費																																
事業概要	対象	市内小中学生																															
	目的	地産地消の推進及び海老名産農畜産物をPRします。																															
	手段	海老名の農業や海老名産農畜産物に対する児童生徒への理解を深めるため。																															
	その他																																
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-2 農業の振興																												
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																															
根拠法令等																																	
事業の詳細説明	<p>1 事業の概要 海老名産農畜産物PR事業、学校給食賄材料費(市内農産物使用分)、海老名の農業や海老名産農畜産物に対する児童生徒の理解を深めるため、市内の小中学校を対象に花育事業(花きの提供)や希望する学校へのいちご苗提供事業を実施します。</p>																																
	<p>2 事業の実績 花育事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>胡蝶蘭</th> <th>切り花</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>19校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>19校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>19校</td> <td>0校</td> </tr> </tbody> </table> <p>いちご苗提供事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施校</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>7校</td> <td>428人</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>5校</td> <td>341人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5校</td> <td>355人</td> </tr> </tbody> </table>			胡蝶蘭	切り花	令和5年度	19校	19校	令和4年度	19校	19校	令和3年度	19校	0校		実施校	対象者	令和5年度	7校	428人	令和4年度	5校	341人	令和3年度	5校	355人							<p>【いちご苗提供事業を実施した小学校からのお礼の手紙】</p>
	胡蝶蘭	切り花																															
令和5年度	19校	19校																															
令和4年度	19校	19校																															
令和3年度	19校	0校																															
	実施校	対象者																															
令和5年度	7校	428人																															
令和4年度	5校	341人																															
令和3年度	5校	355人																															
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																										
事業費(千円)	2,952		1,991		2,304		△ 313																										
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0																										
		県支出金					0																										
		市債					0																										
		その他					0																										
	一般財源	2,952		1,991		2,304		△ 313																									
部・課等名	経済環境部		農政課		地産地消推進係																												

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		2,951,834		1,990,362		2,304,000			
	人件費計 B		3,316,050		3,427,094		3,984,415			
	内訳	正職員	人数	0.4		0.4		0.4		
			人件費	3,316,050		3,427,094		3,984,415		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		6,267,884		5,417,456		6,288,415				
市民1人コスト C/人口		45		39		45				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						いちご栽培事業参加校		校	9	7
	指標化できない成果		胡蝶蘭と切り花を19校に配布し、胡蝶蘭は卒業式、入学式等で使用し、児童生徒等にPRすることができました。							
担当部課評価				評価	有効性				評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性				評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3	2.75	3	3	3		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		市内農産物である「イチゴ」を7校、428人が自分で定植から収穫までを体験することで、農業への理解を深めました。 市内の生産者が育てた「胡蝶蘭」を配布することで、児童生徒にPRすることができました。								
判断	現状継続	判断理由内容	海老名の農業や農産物への理解を深めることができました。							
課題問題点	海老名産農産物のPR事業として実施している、大型店等における販売促進等の取り組みは一般社団法人海老名市農業支援センターが主体となって推進しているため、役割の整理が必要と考えます。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	3	3	3	3	15				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 当事業は、市内の小中学生に対し、海老名の農業や農産物への理解を深める機会として、実際に収穫等の経験もできることから海老名の農業や農産物を知っていたくきっかけづくりとして意義のある事業と考えます。 今後は、いちご栽培参加校を増やす取り組みや農業支援センターとの連携も図りながら、事業の充実を期待します。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	3	4	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 一人当たりのコストが低く、小中学生に海老名の農業への理解を深めるための政策として効果的であると考えます。今後も同様に事業を継続してください。						
事業に対するコメント	現在は主として胡蝶蘭といちごを用いて事業を行っていますが、対象の品種を広げることが提案します。また、海老名の農業について知らない市民も多いため、小中学生に限らず、もっと市民にPRする必要があると考えます。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費												
事業名 (細々目)	農業活性化事業費																			
事業概要	対 象	市内生産者及び営農組織、市民等																		
	目 的	耕作放棄地の有効活用の一環として、神奈川県ブランドに指定されている津久井在来大豆の栽培を行い、その生産性や収益性を検証します。																		
	手 段	耕作放棄地の有効活用の一環として、大豆を栽培し、豆腐等に加工し、地産地消を図ります。																		
	そ の 他																			
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-2 農業の振興														
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																		
根拠法令等																				
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要 耕作放棄地の有効活用策として津久井在来大豆を栽培し、学校給食用食材として提供しています。</p> <p>2 事業の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>大豆収穫量</th> <th>栽培面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年度</td> <td>570kg</td> <td>14,193㎡</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1,545kg</td> <td>14,193㎡</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>1,352kg</td> <td>17,100㎡</td> </tr> </tbody> </table>									大豆収穫量	栽培面積	令和5年度	570kg	14,193㎡	令和4年度	1,545kg	14,193㎡	令和3年度	1,352kg	17,100㎡
		大豆収穫量	栽培面積																	
	令和5年度	570kg	14,193㎡																	
令和4年度	1,545kg	14,193㎡																		
令和3年度	1,352kg	17,100㎡																		
																				
区 分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)															
事 業 費 (千円)		1,730	1,691	1,912	△ 221															
財源内訳	特定財源	国庫支出金			0															
		県支出金			0															
		市 債			0															
		そ の 他			0															
	一般財源	1,730	1,691	1,912	△ 221															
部・課等名	経済環境部		農政課	地産地消推進係																

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		1,729,020		1,690,380		1,912,000			
	人件費計 B		4,145,062		4,283,868		4,980,519			
	内訳	正職員	人数	0.5		0.5		0.5		
			人件費	4,145,062		4,283,868		4,980,519		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
	総コスト C=A+B		5,874,082		5,974,248		6,892,519			
市民1人コスト C/人口		43		43		49				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	耕作放棄地等を約14,000㎡を有効活用して、津久井在来大豆を栽培しました。								
担当部課評価	妥当性		評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		2			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		3			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		2		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		3			
	効率性		評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		3			
	持続可能性		評価		平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		2		2.75	2.75	3	3	2.75	14.25	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		3								
「めざす姿」に対する現在の状況		耕作放棄地の有効活用の一環として、津久井在来大豆を栽培し、豆腐に加工することで地産地消が図られました。								
判断	見直し縮小	判断理由内容		耕作放棄地を有効活用することはできたが、組合員の高齢化に伴う事業縮小があるためです。						
課題 問題点	受託先の組合員の高齢化に伴う、現状の活動を維持することができなくなってきているため、耕作放棄地の新たな活用手法について、新規就農者等にあっせんするなど一般社団法人海老名市農業支援センターとの調整が必要です。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	2	3	3	2	13				
	判断	見直し縮小	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 事業実績から、大豆の収穫量が前年度の1/3と大きく減少しています。原因として組合員の高齢化等が挙げられていますが、あらためて、組合員のニーズ把握に努めるとともに、これまでの事業をしっかりと検証し、今後、事業の統廃合も視野に入れながら検討が必要と考えます。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	1	2	2	1	2	8				
	判断	事業廃止	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 農業従事者の高齢化はすでに進んでいることから、受託先の高齢化は予見できたと考えられます。また、耕作放棄地の有効活用を目的としながら、生産性や収益性を検証せず津久井大豆という特定の品種に限定して栽培していることに妥当性がないと考えます。津久井大豆という種の保存を目的としているならば本事業で実施することに疑問があります。これらのことから、事業を廃止と判断します。					
事業に対する コメント	耕作放棄地については新たな活用法を検討してください。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	2 農業振興対策管理事業費																					
事業名 (細々目)	農業法人活動支援事業費																												
事業概要	対象	市内生産者及び営農組織、市民等																											
	目的	将来にわたる市内農業の持続的な発展と農地の保全を図ります。																											
	手段	担い手の確保や農地の有効活用、地産地消の推進等、一般社団法人海老名市農業支援センター(以下、「農業支援センター」)の活動を支援するために補助金を交付します。また、農業用機械貸出事業を委託します。																											
	その他																												
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-2 農業の振興																						
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																											
根拠法令等																													
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要 (補助事業) 農業支援センターの安定的な組織運営と活動を支援するため、補助金を交付しました。 (委託事業) 農業用機械の貸出事業を委託しました。</p> <p>2 事業の実績 (補助事業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海老名市農業支援センター運営等補助金</td> <td>農業支援センターの運営等を支援するための補助事業です。</td> <td>12,614,846</td> </tr> <tr> <td>海老名市新規就農者農業ICT技術導入支援事業補助金</td> <td>農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。</td> <td>12,598,000</td> </tr> <tr> <td>海老名市新規就農者支援事業補助金</td> <td>農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。</td> <td>1,240,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>26,452,846</td> </tr> </tbody> </table> <p>(委託事業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業用機械貸出業務委託</td> <td>農業用機械の取り扱いに精通し、市内農地についても熟知している農業支援センターに農業用機械の貸出事業を委託しました。</td> <td>908,000</td> </tr> </tbody> </table>								補助事業名	事業内容	事業費	海老名市農業支援センター運営等補助金	農業支援センターの運営等を支援するための補助事業です。	12,614,846	海老名市新規就農者農業ICT技術導入支援事業補助金	農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。	12,598,000	海老名市新規就農者支援事業補助金	農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。	1,240,000	合計		26,452,846	委託事業名	事業内容	事業費	農業用機械貸出業務委託	農業用機械の取り扱いに精通し、市内農地についても熟知している農業支援センターに農業用機械の貸出事業を委託しました。	908,000
	補助事業名	事業内容	事業費																										
	海老名市農業支援センター運営等補助金	農業支援センターの運営等を支援するための補助事業です。	12,614,846																										
	海老名市新規就農者農業ICT技術導入支援事業補助金	農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。	12,598,000																										
海老名市新規就農者支援事業補助金	農業支援センターの助成事業を支援するための補助事業です。	1,240,000																											
合計		26,452,846																											
委託事業名	事業内容	事業費																											
農業用機械貸出業務委託	農業用機械の取り扱いに精通し、市内農地についても熟知している農業支援センターに農業用機械の貸出事業を委託しました。	908,000																											
	 <p>えび農マルシェに参加した新規就農者</p>																												
	 <p>サツマイモ収穫体験</p>																												
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																						
事業費 (千円)	0		8,368		27,708		△ 19,340																						
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0																						
		県支出金					0																						
		市債					0																						
		その他			8,368		8,103		265																				
	一般財源	0		0		19,605		△ 19,605																					
部・課等名	経済環境部		農政課		農業振興 地産地消推進係																								

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策	農業の振興						
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		0		8,368,041		27,708,000				
	人件費計 B		0		1,713,547		6,972,726				
	内訳	正職員	人数	0		0.2		0.7			
			人件費	0		1,713,547		6,972,726			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		0		10,081,588		34,680,726					
市民1人コスト C/人口		0		72		247					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						新規就農者の確保		人	3	4	
	指標化できない成果		①農業支援センターの活動により、約40aの農地がマッチングされました。 ②遊休農地化の恐れがある約30aの農地を農業支援センターが借用しました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3			
	持続可能性			評価	平均					合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性		
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			2	3.75	3	3	3	2.75	15.5	
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		農業支援センターが農地を有効利用することにより、農地が持つ多面的機能が維持されています。									
判断	現状継続	判断理由内容		農業支援センターの活動により、担い手の確保、農地の保全・活用、地産地消の推進が着実に図られていることから、令和6年度も引き続き農業支援センターの活動を支援してまいります。							
課題問題点	将来的に農業支援センターが収益事業を拡大することにより、自主財源を増やしていく必要があるため、農業支援センターの新たな事業についても支援してまいります。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		3		3		3		16
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 本事業は農業担い手の確保や農地の有効活用、地産地消の推進等を目的に設立された「農業支援センター」が、農業従事者等に対して実施する事業に対して支援するもので、令和4年度から始まった事業です。これまでも一定の成果が認められるものの、他自治体が行う類似事業との比較考量も必要とするため現状維持が妥当と判断します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		3		2		3		2		13
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 令和4年度にできた施設であるため、今後、設立目的が達成させることを期待しています。設立から5年程度で事業の見直し等含めた効果検証をしてください。						
事業に対するコメント	農業支援センターには、やりたい農業ができる環境を整えるための調整等をしていただけることを期待しています。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

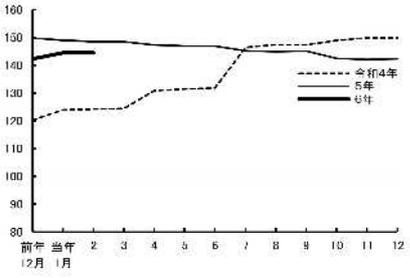
令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	細目	3 農業振興助成費																
事業名 (細々目)	農業振興助成事業費																							
事業概要	対 象	市内生産者等																						
	目 的	農業としての新鮮な野菜の供給だけでなく、緑と景観の維持、防災空間の確保などの都市農業の持つ多面的な機能を維持するため、市内農業経営の安定、優良な農地の維持保全を図ることを目的として、生産者への支援を実施します。																						
	手 段	生産者、生産者団体等に対して、補助金を交付しました。																						
	そ の 他																							
20 プ ラ ン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-2 農業の振興																	
	めざす姿	農地を持つ多面的な機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。 収益性の高い農業により農業経営が安定し、優良農地が維持・保全され、農業の持続的発展が図られています。																						
根拠法令等																								
事業の 詳細 説明	<p>1 事業の概要 生産者団体等が実施した施設整備・農業用機械の購入などに係る経費の一部を支援しました。 野菜の掘り取りや果樹のもぎ取りなど市民へ農業体験の機会を提供しました。 地場農産物の地場消費及び市内販売拡大に資する直売事業等の開催を支援しました。</p> <p>2 事業の実績</p>																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金の名称</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業振興対策事業補助金</td> <td>施設整備や農業用機械の購入などに係る経費の一部を支援しました。</td> <td>68,401,597</td> </tr> <tr> <td>肥料価格高騰対策事業補助金</td> <td>高騰する肥料に係る経費の一部を支援しました。</td> <td>5,080,000</td> </tr> <tr> <td>新規就農者育成総合対策 経営開始資金</td> <td>新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付しました。</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>新規就農者確保緊急対策 初期投資促進事業補助金</td> <td>新規就農者に対し、就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援しました。</td> <td>5,119,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">合計</td> <td>81,601,097</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位:円)</p>						補助金の名称	事業内容	事業費	農業振興対策事業補助金	施設整備や農業用機械の購入などに係る経費の一部を支援しました。	68,401,597	肥料価格高騰対策事業補助金	高騰する肥料に係る経費の一部を支援しました。	5,080,000	新規就農者育成総合対策 経営開始資金	新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付しました。	3,000,000	新規就農者確保緊急対策 初期投資促進事業補助金	新規就農者に対し、就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援しました。	5,119,500	合計		81,601,097
補助金の名称	事業内容	事業費																						
農業振興対策事業補助金	施設整備や農業用機械の購入などに係る経費の一部を支援しました。	68,401,597																						
肥料価格高騰対策事業補助金	高騰する肥料に係る経費の一部を支援しました。	5,080,000																						
新規就農者育成総合対策 経営開始資金	新規就農者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付しました。	3,000,000																						
新規就農者確保緊急対策 初期投資促進事業補助金	新規就農者に対し、就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援しました。	5,119,500																						
合計		81,601,097																						
<p>その他事業費 76,000円</p>						 <p>海老名いちご</p>																		
区 分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																
事業費 (千円)		98,857		92,162		104,319		△ 12,157																
財源内訳	特定財源	国庫支出金					19,000	△ 19,000																
		県支出金	200		3,210		11,766	△ 8,556																
		市債						0																
		その他	7,402		1,727			1,727																
	一般財源	91,255		87,225		73,553		13,672																
部・課等名	経済環境部		農政課		農業振興 地産地消推進係																			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		98,856,885		92,162,175		104,319,000			
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037			
	内訳	正職員	人数	1		1		1		
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037		
		会計年度	人数							
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		107,147,009		100,729,910		114,280,037				
市民1人コスト C/人口		777		721		813				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	指標化できない成果		①市内生産者団体による農作物の掘り取り・もぎ取り体験イベントを3回実施し、延べ約1,500名に参加いただきました。 ②地場農産物の購入機会の少ない北部地域において、市内生産者団体による直売会が、海老名市障害者支援センターあきばで9回開催されました。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	3.75	3	3	3.25	3.75	16.75
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
	<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4						
「めざす姿」に対する現在の状況		都市近郊である海老名の立地を活かした、都市農業が展開されています。収益性の高い施設園芸経営により、農業経営の安定化が図られています。								
判断	現状継続	判断理由内容		補助事業等による適切な支援により、農業経営の安定化及び農地の保全が図られています。						
課題 問題点	時代やニーズに適合した支援となるよう、補助事業の多様化や見直しを行ってまいります。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		3		3		3		4	17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。市内農業の安定と発展は、安全な食の提供のみならず景観の維持あるいは防災空間の確保など農地が持つ多面的な機能維持にも寄与しています。特に経営基盤に大きく影響を及ぼす肥料価格の急激な高騰に対して行う補助金を速やかに実施する効果は高いと思われます。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		3		3		2		2	14
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。理念は良いものですが、目的や効果が不明瞭であると感じます。目的や効果を明確にした上で、補助対象について検討してください。					
事業に対する コメント	肥料価格高騰対策事業補助金は補助の基準が明確ではありません。どの程度価格が高騰したら補助を行うのか明確な基準を示してください。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	細目	2 畜産振興対策事業費											
事業名 (細々目)	畜産振興対策事業費																		
事業概要	対象	市内畜産農家																	
	目的	家畜防疫事業等の実施による食の安全確保や畜産経営の安定を図ります。																	
	手段	食の安全確保と畜産農家の安定を図り、畜産経営の持続化を推進するための支援を行いました。																	
	その他																		
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-2 農業の振興														
	めざす姿	農地が持つ多面的機能を維持するとともに、都市近郊である海老名の立地を活かした、生産者や市民にとって魅力ある都市農業が展開されています。																	
根拠法令等	家畜伝染病予防法																		
事業の詳細説明	<p>1 事業の概要 (補助事業) 畜産組合が実施する家畜防疫事業(予防接種及び検査)に係る経費や飼料価格高騰対策として飼料代を助成しました。</p> <p>2 事業の実績</p>																		
	<p>(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病害虫防除防疫事業</td> <td>家畜防疫(予防接種・検査)に係る経費に対する補助です。</td> <td>273,000</td> </tr> <tr> <td>家畜飼料高騰対策事業</td> <td>価格が高騰している飼料代に対する補助です。</td> <td>3,806,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>4,079,000</td> </tr> </tbody> </table>								補助事業名	事業内容	事業費	病害虫防除防疫事業	家畜防疫(予防接種・検査)に係る経費に対する補助です。	273,000	家畜飼料高騰対策事業	価格が高騰している飼料代に対する補助です。	3,806,000	合計	
補助事業名	事業内容	事業費																	
病害虫防除防疫事業	家畜防疫(予防接種・検査)に係る経費に対する補助です。	273,000																	
家畜飼料高騰対策事業	価格が高騰している飼料代に対する補助です。	3,806,000																	
合計		4,079,000																	
 <p>畜舎環境巡回の様子</p>				 <p>飼料の月別価格指数の推移(直近3年間)(令和2年=100) (出典:農林水産省 農業物価指数(令和6年2月))</p>															
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)															
事業費(千円)	2,162	3,903	4,117	△ 214															
財源内訳	国庫支出金			0															
	県支出金			0															
	市債			0															
	その他			0															
	一般財源	2,162	3,903	4,117	△ 214														
部・課等名	経済環境部	農政課	農業振興係																

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		2,162,000		3,903,000		4,117,000			
	人件費計 B		4,145,062		4,283,868		4,980,519			
	内訳	正職員	人数	0.5		0.5		0.5		
			人件費	4,145,062		4,283,868		4,980,519		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		6,307,062		8,186,868		9,097,519				
市民1人コスト C/人口		46		59		65				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
指標化できない成果		4戸について畜産経営が継続されました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			2		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4	妥当性	有効性	効率性		公平性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		家畜糞を堆肥として畑等に還元することにより、資源循環型農業が確立されています。飼料畑として農地を活用することで、農地が持つ多面的機能が維持されています。								
判断	現状継続	判断理由内容	畜産経営の安定的な継続や発展に必要な支援であるため、令和6年度も引き続き支援してまいります。							
課題 問題点	配合飼料の価格が高止まるなどコストが増加している一方で、乳価等に十分反映ができておらず、畜産農家は非常に厳しい状況に置かれているため、より効果的な支援を実施していく必要があります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	4	3	3	3	16				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 本事業は飼料価格高騰に対し実施する補助金交付が大部分を占めており、近年の国際価格での高騰を受け、補助実績も年々増加しています。 経営基盤の脆弱な市内畜産農家にとって本制度は非常に重要な役割を担っており、本市畜産農家のみならず食の安定供給のためにも必要不可欠な事業です。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	4	2	2	2	13				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を修正します。 市内畜産農家にとって非常に重要な補助であり、必要性は認められますが、補助基準が明確でない点があります。飼料がどの程度高騰したら補助をするのか、基準額等を明確にし、コストが増加しないようにしてください。						
事業に対する コメント	現状の課題をふまえ、畜産農家の方々への効果的な支援を実施してください。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地	細目	2 農業基盤整備事業費																															
事業名 (細々目)	農業基盤整備事業費																																						
事業概要	対 象	農業振興地域農用地区域内で営農する生産者等																																					
	目 的	農地の集積や農産物の生産性の向上に資するため、優良農地及び自然環境の保全を図ります。																																					
	手 段	農業用の道路・水路等の農業基盤施設の整備を行います。																																					
	そ の 他																																						
20 プ ラ ン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-2 農業の振興																																		
	めざす姿	農地の集約化や農業基盤整備の推進により、作業の効率化や省力化につながる農業環境等が維持されています。																																					
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、農地中間管理事業の推進に関する法律																																						
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要</p> <p>本郷地内の農用地区域(上谷津・中谷津地区)において、国の交付金(農地耕作条件改善事業)を活用しながら、農業用排水路、水田の暗渠排水の設置、農道の整備を行うなど、農業を継続できる環境を整えるために必要な基盤整備を行うものです。 令和5年度は、農道整備に伴う用地買収(A=771㎡)を実施しました。</p> <p>2 事業の実績</p> <p>(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内訳</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不動産鑑定評価</td> <td>1,559,800</td> </tr> <tr> <td>用地買収</td> <td>8,741,760</td> </tr> <tr> <td>分筆登記</td> <td>1,972,487</td> </tr> <tr> <td>所有権移転登記</td> <td>111,485</td> </tr> <tr> <td>用地測量</td> <td>627,000</td> </tr> <tr> <td>印紙代</td> <td>5,500</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,018,032</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他の事業費(負担金) 52,000</p> <p>3 事業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事業内容</td> <td rowspan="2">用地買収 (第3工区北側)</td> <td>用地買収 (第3工区南側)</td> <td>用地買収 (第1工区)</td> <td>用地買収 (第2工区)</td> <td rowspan="2">整備工事 (第2工区)</td> </tr> <tr> <td>整備工事 (第3工区北側)</td> <td>整備工事 (第3工区南側)</td> <td>整備工事 (第1工区)</td> </tr> </tbody> </table>								事業内訳	事業費	不動産鑑定評価	1,559,800	用地買収	8,741,760	分筆登記	1,972,487	所有権移転登記	111,485	用地測量	627,000	印紙代	5,500	合計	13,018,032	年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	事業内容	用地買収 (第3工区北側)	用地買収 (第3工区南側)	用地買収 (第1工区)	用地買収 (第2工区)	整備工事 (第2工区)	整備工事 (第3工区北側)	整備工事 (第3工区南側)	整備工事 (第1工区)
	事業内訳	事業費																																					
	不動産鑑定評価	1,559,800																																					
用地買収	8,741,760																																						
分筆登記	1,972,487																																						
所有権移転登記	111,485																																						
用地測量	627,000																																						
印紙代	5,500																																						
合計	13,018,032																																						
年 度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																		
事業内容	用地買収 (第3工区北側)	用地買収 (第3工区南側)	用地買収 (第1工区)	用地買収 (第2工区)	整備工事 (第2工区)																																		
		整備工事 (第3工区北側)	整備工事 (第3工区南側)	整備工事 (第1工区)																																			
<p>令和5年度事業実施箇所</p>																																							
区 分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																																
事 業 費 (千円)	4,154		3,833		19,282		△ 15,449																																
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0																																
		県支出金			1,610		4,550																																
		市債					13,700																																
		その他					0																																
	一般財源	4,154		2,223		1,032		1,191																															
部・課等名	経済環境部		農政課		農業振興係																																		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		農業の振興				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		4,153,600		3,832,800		19,282,000			
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037			
	内訳	正職員	人数	1		1		1		
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037		
	会計年度		人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		12,443,724		12,400,535		29,243,037				
市民1人コスト C/人口		90		89		208				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						用地買収面積		m ²	771	771
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4							
「めざす姿」に対する現在の状況		作業の効率化や省力化につながる農業環境等を維持するため、農業基盤整備を進めています。								
判断	現状継続	判断理由内容 本事業は、農業経営の安定を図るとともに、担い手への農地利用集積、新規就農者など新たな担い手の確保・育成により地域の営農体制の確立を図る重要な事業です。令和6年度は、農道整備に必要となる用地買収を進めるとともに、令和5年度に用地買収が完了した部分について、整備工事を進めてまいります。								
課題 問題点	本事業区域は約8.5ヘクタールと広く事業費も膨大なことから、計画的に事業を進めてまいります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	4	4	19				
	判断	現状継続	判断理由内容 担当部課評価を支持します。 本事業は農用地区が広がる同区域内にて実施される農業基盤整備事業で、農地集積により優良農地の確保ひいては農産物の生産性確保に寄与するものです。5か年継続事業であり昨年度は予定していた用地買収をすべて完了し、事業進捗は順調に推移しています。							
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	4	4	19				
	判断	現状継続	判断理由内容 担当部課評価及び内部評価を支持します。 優良農地を確保し、農産物の生産性確保のために重要な事業であると考えます。昨年度まで事業の進捗が順調であるため、今後も期待しています。							
事業に対する コメント	整備完了後の見通しについて、よく検討したうえで事業が実施されることを期待します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	3	経済・環境						
	政策	3-3	環境保全及びまちの美化推進						
	方向性	環境に配慮してきれいで快適なまちに暮らせるから、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① 省エネ化の促進や市民にも太陽光発電施設、電気自動車等が普及するなど、地球温暖化防止に対し個々で取り組む意識が醸成されています。</p> <p>② きれいな空気や水が保たれ、住みよいまちとなっています。</p> <p>③ 市民の動物愛護への意識が高まり、ペットを飼っている人も飼っていない人もお互いに尊重し生活できるまちとなっています。</p> <p>④ 市民・事業者のごみの減量化や資源化に対する意識が高まり、ごみの排出量が削減されています。</p> <p>⑤ ごみ集積所の整理が進み、安全で清潔なまちとなっています。</p> <p>⑥ ひとが多く集まる鉄道駅周辺での路上喫煙を規制し、吸殻ごみの無いきれいなまちとなっています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	環境基本計画推進事業費	内部	見直し継続	4	4	4	3	4
			外部	見直し継続	4	2	2	3	3
	2	環境保全対策支援事業費	内部	見直し継続	4	5	4	3	4
			外部	見直し継続	4	5	3	3	4
	3	公害対策事業費	内部	見直し継続	5	5	4	4	5
			外部	見直し継続	5	5	4	4	5
	4	環境マネジメントシステム運用事業費	内部	見直し継続	5	5	4	3	4
			外部	見直し継続	5	5	3	3	3
	5	犬猫等管理事業費	内部	見直し縮小	4	5	3	2	4
			外部	見直し縮小	3	3	3	2	2
	6	害虫等対策事業費	内部	見直し拡大	5	5	4	3	4
			外部	見直し拡大	5	5	4	3	4
	7	環境美化推進事業費	内部	見直し継続	3	4	4	3	3
			外部	見直し継続	3	4	4	2	3
	8	有料化・戸別収集事業費	内部	現状継続	4	5	5	5	4
			外部	現状継続	4	5	5	5	4
	9	廃棄物減量化事業費	内部	見直し継続	3	4	3	3	4
			外部	見直し継続	3	3	3	3	3
	10	塵芥処理事業費	内部	現状継続	4	4	3	3	3
			外部	現状継続	4	4	3	3	3
	11	し尿収集事業費	内部	現状継続	4	3	3	4	3
			外部	現状継続	4	3	3	4	3
	12	資源物処理事業費	内部	現状継続	4	3	3	4	3
		外部	現状継続	4	3	3	4	3	

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価
		A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	B
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
内部評価コメント	市民の環境問題や美化推進に対する意識向上が図られています。環境に関連した事業は、取り巻く状況が著しく変化しているため、柔軟な対応が必要と考えます。	
外部評価コメント	ごみ問題等の身近な美化推進に関しての意識は醸成されているが、市民の環境問題の意識向上についてはさらに取り組む必要があると考えます。市民に対し事業についてわかりやすい周知を行い、さらに環境問題への意識が向上することを期待します。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価
		B
	A 順調である	外部評価
	B やや遅延している	B
	C 著しく遅延している	
内部評価コメント	概ね順調に政策が進捗され達成されています。なお、十分に目標達成されている事業もありますが、目標達成のため更なる施策の展開が必要な事業があるため、今後の創意工夫に期待します。	
外部評価コメント	廃棄物に関する事業はおおむね順調に進捗され達成されています。一方事業によっては目標達成のためにさらなる工夫が必要なものと判断します。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価
		A
	A 必要性が高い	外部評価
	B どちらとも言えない	A
	C 必要性が低い	
内部評価コメント	快適な生活環境を支える上で、この維持や改善は重要な要素であることから、本事業は非常に市民ニーズが高いものと判断します。	
外部評価コメント	環境に配慮し、きれいなまちとすることは重要であり、必要な政策であると考えます。市民ニーズを適切にとらえて、さらに良い事業がなされることを期待します。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価
		A
	A 最優先に実施すべきである	外部評価
	B 優先的に実施した方が望ましい	A
	C 優先的に実施する必要は低い	
内部評価コメント	環境問題は世界規模で取り組むべき課題であり、市民の環境に対する意識を高め、市全体でこの問題解決に取り組む必要があることから、本施策は優先的に実施すべきと判断します。	
外部評価コメント	環境に関する課題は、当事者意識を持つことが難しく、市民の理解が追いついていない部分があることから、優先的に取り組み、市全体で問題解決に取り組むための基盤を作ることが必要と考えます。	

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 環境保全費	細目	2 環境保全推進事業費
事業名 (細々目)	環境基本計画推進事業費							
事業概要	対象	市、市民、市内事業者						
	目的	①第三次環境基本計画の中間見直し・地球温暖化対策実行計画の見直しを行います。 ②海老名市ゼロカーボンシティの実現に向け、公共事業の脱炭素化に向けて調整を行います。 ③海老名市におけるSDGsへの取組について、普及啓発を図ります。						
	手段	①コンサル事業者への委託により、効果的な計画策定を行います。 ②各課へヒアリングを行い、取り組む施策に対して調整します。 ③啓発イベントについて参加賞を配布し、参加を促すとともに、イベント等に啓発のためのブース出展を行います。						
	その他	令和4年度、102人の参加がありました。 令和5年度は、さらに改良し、「えびなファミリーSDGs環境チャレンジ」としてLINEで参加できるイベントを実施。110人の参加がありました。						
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-3 環境保全及びまちの美化推進		
	めざす姿	省エネ化の促進や市民にも太陽光発電施設、電気自動車等が普及するなど、地球温暖化防止に対し個々で取り組む意識が醸成されています。						
根拠法令等	環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、海老名市環境基本条例、海老名市地球温暖化対策実行計画							
事業の 詳細説明	<p>令和2年3月に策定した第三次環境基本計画は、令和2年度から令和11年度の10年間を計画期間と定め、前期5年間、後期5年間の計画期間としております。 令和6年度末で前期計画期間が終了するため、中間見直しを行い、実態に即した内容に修正を行います。</p>  <p>地球温暖化対策実行計画の見直しも同時に進め、地球温暖化対策実行計画を包含した計画とする予定です。</p> 							
	<p>家庭でのSDGsに関する意識を高めるため、令和5年度よりSDGs環境チャレンジを実施しており、より魅力のある参加賞を用意して参加者の増加を図ります。</p> <p>また、イベント等にSDGsへの意識を高める体験ができるブース出展を行い市民・事業者等の意識啓発を図ります。</p> 							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費 (千円)	2,869		5,140		11,973		△ 6,833	
財源内訳	特定財源	国庫支出金			6,472		△ 6,472	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他	1,132	993		2,683		△ 1,690
	一般財源	1,737	4,147		2,818		1,329	
部・課等名	経済環境部		環境政策課		環境共生係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		2,869,255		5,139,548		11,973,000				
	人件費計 B		6,632,099		10,281,282		11,953,244				
	内訳	正職員	人数	0.8		1.2		1.2			
			人件費	6,632,099		10,281,282		11,953,244			
		会計年度	人数								
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		9,501,354		15,420,830		23,926,244					
市民1人コスト C/人口		69		110		170					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	SDGs関連会議の開催		回	6	6	SDGs環境チャレンジ応募数		件	100	105	
	ゼロカーボンに向けた調査実施		件	1	1	生きもの大調査応募数		件	200	94	
指標化できない成果		SDGs推進に向け、取組体制や事業評価の仕組みを作り、実行しました。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			4		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			2		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4.25	4	3.5	3	3.75	18.5
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5								
「めざす姿」に対する現在の状況		SDGs懇話会の活動を通じて、市民意識が醸成されつつあります。									
判断	現状継続	判断理由内容	各種計画の改定など、法律に基づき進める必要があります。								
課題 問題点	SDGsの推進に向け、職員の「自分事化」が不十分です。重点事業対象課に応用研修を実施するほか、職員の意識啓発に努めます。 生きもの大調査は、参加者が減少傾向です。学校へ積極的な参加を呼びかけます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価を修正します。 公共施設の脱炭素(再生エネルギー使用)という大きな取り組みは、公共施設再編計画と合わせて行う必要があると考えます。市民への周知については、新しい方法を取り入れるなど工夫を提案します。この事業内で、SDGsは、環境部門だけではなく、教育・福祉・人権等幅広い取り組みとなることから、取りまとめ主管課についても再考を提案します。							
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		2		2		3		3		14
	判断	見直し継続	判断理由内容	内部評価を支持します。 計画は必要であり、継続の必要性はあると考えます。現状では有効性のある事業ができていないと評価できるため、内部評価で指摘のあるように、SDGsの取りまとめ主管課についても再考の必要があります。							
事業に対する コメント	海老名市のゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みと、SDGsについて普及啓発の取り組みを充実してください。										
評価結果を踏まえた 次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 環境保全費	細目	2 環境保全推進事業費														
事業名 (細々目)	環境保全対策支援事業費																					
事業概要	対象	市民、市内事業者																				
	目的	太陽光発電施設・電気自動車等の購入に対し助成し、普及を図ります。																				
	手段	市民、市内事業者に対し、太陽光発電施設・電気自動車等の購入に対し、導入経費の一部を補助します。																				
	その他																					
20 プラン	行政分野	3	経済・環境		政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進																
	めざす姿	省エネ化の促進や市民にも太陽光発電施設、電気自動車等が普及するなど、地球温暖化防止に対し個々で取り組む意識が醸成されています。																				
根拠法令等	環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、海老名市環境基本条例、海老名市地球温暖化対策実行計画																					
事業の 詳細説明	<p>事業の概要 地球に優しい社会の実現に向けて、市民のライフスタイルや環境に配慮する意識と省エネ効果を高めるため、市民・市内事業者を対象に、平成12年度から環境に配慮した設備の導入経費(リースも含む)の一部を補助しています。</p> <p>補助の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備の種類</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太陽光発電施設</td> <td>発電能力1kWにつき 20,000円 上限 200,000円 1,000円未満 切り捨て</td> <td rowspan="5">①太陽光発電施設 + ②HEMS + 定置用リチウムイオン蓄電池 または エネファーム または V2H充放電設備 ①～③の 3設備を同時に設置</td> </tr> <tr> <td>定置用リチウムイオン蓄電池</td> <td>1設備につき 70,000円</td> </tr> <tr> <td>エネファーム (燃料電池電源ユニット+レゾナンスシステム)</td> <td>1設備につき 60,000円</td> </tr> <tr> <td>HEMS(ヘムス) ※太陽光発電施設や蓄電池等の設置が条件に含まれる</td> <td>1設備につき 10,000円 事業総額が20,000円未満の場合は、事業総額の半額(1,000円未満 切り捨て)</td> </tr> <tr> <td>V2H充放電設備</td> <td>1設備につき 30,000円</td> </tr> </tbody> </table>								設備の種類	補助金額	備 考	太陽光発電施設	発電能力1kWにつき 20,000円 上限 200,000円 1,000円未満 切り捨て	①太陽光発電施設 + ②HEMS + 定置用リチウムイオン蓄電池 または エネファーム または V2H充放電設備 ①～③の 3設備を同時に設置	定置用リチウムイオン蓄電池	1設備につき 70,000円	エネファーム (燃料電池電源ユニット+レゾナンスシステム)	1設備につき 60,000円	HEMS(ヘムス) ※太陽光発電施設や蓄電池等の設置が条件に含まれる	1設備につき 10,000円 事業総額が20,000円未満の場合は、事業総額の半額(1,000円未満 切り捨て)	V2H充放電設備	1設備につき 30,000円
	設備の種類	補助金額	備 考																			
太陽光発電施設	発電能力1kWにつき 20,000円 上限 200,000円 1,000円未満 切り捨て	①太陽光発電施設 + ②HEMS + 定置用リチウムイオン蓄電池 または エネファーム または V2H充放電設備 ①～③の 3設備を同時に設置																				
定置用リチウムイオン蓄電池	1設備につき 70,000円																					
エネファーム (燃料電池電源ユニット+レゾナンスシステム)	1設備につき 60,000円																					
HEMS(ヘムス) ※太陽光発電施設や蓄電池等の設置が条件に含まれる	1設備につき 10,000円 事業総額が20,000円未満の場合は、事業総額の半額(1,000円未満 切り捨て)																					
V2H充放電設備	1設備につき 30,000円																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>車両の種類</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気自動車</td> <td>1台につき 150,000円</td> <td>補助対象車両は、国の補助制度に準じる。 ※プラグインハイブリッド自動車、軽小型バッテリー、ミニカー、軽乗用二輪自動車・原動機付自転車は補助対象外</td> </tr> <tr> <td>燃料電池自動車</td> <td>1台につき 400,000円</td> <td>補助対象車両は、国の補助制度に準じる。</td> </tr> </tbody> </table>								車両の種類	補助金額	備 考	電気自動車	1台につき 150,000円	補助対象車両は、国の補助制度に準じる。 ※プラグインハイブリッド自動車、軽小型バッテリー、ミニカー、軽乗用二輪自動車・原動機付自転車は補助対象外	燃料電池自動車	1台につき 400,000円	補助対象車両は、国の補助制度に準じる。					
車両の種類	補助金額	備 考																				
電気自動車	1台につき 150,000円	補助対象車両は、国の補助制度に準じる。 ※プラグインハイブリッド自動車、軽小型バッテリー、ミニカー、軽乗用二輪自動車・原動機付自転車は補助対象外																				
燃料電池自動車	1台につき 400,000円	補助対象車両は、国の補助制度に準じる。																				
	 <p>【住宅の屋根に取り付けられた太陽光発電設備】</p>  <p>【充電中の電気自動車】</p>																					
区 分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)															
事業費(千円)	19,732		20,496		22,560		△ 2,064															
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0															
		県支出金					0															
		市債					0															
		その他	19,664	20,495	22,560	△ 2,065																
	一般財源	68	1	0	1																	
部・課等名	経済環境部		環境政策課		環境共生係																	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		19,731,750		20,495,992		22,500,000			
	人件費計 B		5,803,087		5,997,415		6,972,726			
	内訳	正職員	人数	0.7		0.7		0.7		
			人件費	5,803,087		5,997,415		6,972,726		
	会計年度	人数								
		人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		25,534,837		26,493,407		29,472,726				
市民1人コスト C/人口		185		190		210				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
					補助実施件数	件	250	252		
	指標化できない成果	太陽光発電設備や電気自動車を目にする機会が増え、市民の意識啓発につながりました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			5		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性			5		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	4.25	5	3.5	3	4.25	20	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			5							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		太陽光発電設備や電気自動車の導入を行う個人の方が確実に増えており、市民意識が醸成されつつあります。								
判断	見直し継続	判断理由内容	常にニーズを把握し、補助対象設備を見直す必要があります。							
課題問題点	電気自動車補助については、市外への転居や、電気自動車から電気自動車への買い替えなど、市内における普及促進につながらない場合が見受けられます。補助要綱を見直し、要件や対象事業の見直しを図ります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	5	4	3	4	20				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。地球温暖化防止に対して、有効的な事業と考えます。なお、新しい設備等も開発されるため、社会のニーズや国の動向を把握すること、課題にある在市民にとって、市内での有効活用が効率よく行えるような見直しが必要と考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	5	3	3	4	19				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。可能な限りスピード感をもってニーズを把握し、今後も適切に補助対象を決定することが必要と考えます。						
事業に対するコメント	マンションが増えていることから、充電スタンドに対する補助を検討することを提案します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

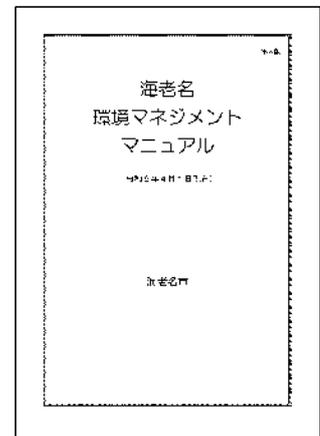
科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 環境保全費	細目	3 公害対策事業費	
事業名 (細々目)	公害対策事業費								
事業概要	対象	市民、市内事業者							
	目的	環境基本法で定められた、大気汚染や騒音に係る環境基準等の維持・確保に努めます。 市内公共用水域等の水質について、環境基本法で定められた環境基準の維持・確保に努めます。							
	手段	①窒素酸化物簡易測定やダイオキシン類、地盤沈下調査、工場事業場排水、河川水質等の分析調査を行います。 ②大気汚染、騒音、振動、屋外燃焼行為等による悪臭や河川等の苦情・相談・事故に対し、事業所等への立入調査・指導等を行います。 ③自動車騒音常時監視(騒音測定及び評価作業)を行います。							
	その他	国、県による常時監視・公表体制があります。 ①空間放射線量率;原子力規制委員会「放射線モニタリング情報共有・公表システム」(海老名市下今泉で常時監視・公表) ②大気汚染;神奈川県「大気汚染常時監視測定」(海老名市役所庁舎内で常時監視・公表)							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-3 環境保全及びまちの美化推進			
	めざす姿	きれいな空気や水が保たれ、住みよいまちとなっています。							
根拠法令等	環境基本法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、土壌汚染対策防止法、水質汚濁防止法 神奈川県生活環境保全条例、海老名市環境保全条例、市河川をきれいにする条例								
事業の 詳細説明	<p>窒素酸化物簡易測定、ダイオキシン類分析調査、自動車騒音常時監視を行います。</p> <p>大気汚染、振動・騒音や、屋外燃焼行為等、苦情等があった場合、立ち入り調査・指導等を実施します。</p> <p>河川への油流入などの水質事故に対し、被害を最小限にとどめるため、オイルマットの敷設等、緊急時対応を行います。</p>								
	窒素酸化物簡易測定		 <p>野焼き現場への対応</p>				 <p>河川事故時、オイルマット敷設のようす</p>		
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)		14,853		7,414		18,929		△ 11,515	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0		
		県支出金	1,219				1,219		△ 1,219
		市債							0
		その他	9,779		5,116				5,116
	一般財源	3,855		2,298		17,710		△ 15,412	
部・課等名	経済環境部		環境政策課		環境共生係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		14,852,598		7,414,013		18,929,000			
	人件費計 B		4,145,062		2,570,321		4,980,519			
	内訳	正職員	人数	0.5		0.3		0.5		
			人件費	4,145,062		2,570,321		4,980,519		
	会計年度		人数							
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		18,997,660		9,984,334		23,909,519				
市民1人コスト C/人口		138		71		170				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	河川等への油流入等の水質事故に対し、河川・水路・側溝内へオイル吸着フェンス・マットを敷設し、相模川へのオイル流入が最小限となるよう努めました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性				評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			5		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性				5	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			5	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			5	妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	5	4.5	4.25	4	4.75	22.5
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			5							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		水質・大気等の汚染状況は、突発的な汚染事故を除き、環境基準値内となっています。								
判断	見直し継続	判断理由内容	県で常時監視・公表している項目については調査内容を見直ししつつ、良好な生活環境維持のため、必要な環境測定や公害指導等を継続します。							
課題 問題点	突発的に発生する野焼き対応・水質事故や公害苦情への対応については、職員体制も含め苦慮しております。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	4	5	23				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 環境基準の維持等は、定期的に測定することが、市民に対して良い環境を守ることに繋がります。重大な大気汚染や水質汚染とならないためにも早期発見が重要なため、無くてはならない事業と考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	4	5	23				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 重大な大気汚染や水質汚染とならないことは市民に対して良い環境を守るために重要です。課題に挙げている人員体制等については見直しを行いながら事業を継続してください。						
事業に対する コメント	市として対応していることや事業の効果が市民に伝わっていないと考えます。対応した事象とその結果について、市民に伝わるように公表することを提案します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 環境保全費	細目	7 環境マネジメントシステム運用事業費
事業名 (細々目)	環境マネジメントシステム運用事業費							
事業概要	対象	市						
	目的	自治体として環境負荷の低減を徹底するとともに、環境に有益な影響を及ぼす施策事業を推進することで継続的な環境改善を図ります。併せて、環境情報を積極的に発信することにより、環境配慮の意識を高めます。環境関係法令を理解し、遵守に努めます。						
	手段	海老名市の環境マネジメントシステム(EMS)の運用について、ISO14001の認証取得により培ったノウハウを活かし、事務事業との連携を強化し独自EMSを構築することで、すべての事務事業において、環境への配慮・取り組みが日常化するシステム作りを目指します。						
	その他	今後、独自EMSの継続的な改善を行うため、環境情報の積極的な発信、監査等の見直しを図り、職員の環境に配慮する意識を高めていきます。						
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名		3-3 環境保全及びまちの美化推進		
	めざす姿	省エネ化の促進や市民にも太陽光発電施設、電気自動車等が普及するなど、地球温暖化防止に対し個々で取り組む意識が醸成されています。						
根拠法令等	環境基本法、地球温暖化対策の推進に関する法律、海老名市環境基本条例、海老名市地球温暖化対策実行計画							
事業の 詳細説明	平成29年度から、海老名環境マネジメントマニュアルに基づいた、独自環境マネジメントシステムの運用・改善を行っています。							
	<p>環境目的・目標の見直し・達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 環境基本計画の推進 環境基本計画の体系に該当する29事業(環境評価対象事業)について、所管課による担当部課評価、内部環境監査委員による内部評価、外部環境監査委員による外部評価を実施 地球温暖化対策実行計画の推進 公共施設から発生するCO₂排出量の削減に向けた取組等を実施 環境法令の遵守 内部環境監査及び環境法令等定期監査により環境法令の遵守の徹底を図った 職員への研修 環境マネジメントシステムを円滑に運用するため、担当者及び内部環境監査委員に向けた研修を実施 							
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費(千円)		550		638		682		△ 44
財源内訳	特定財源	国庫支出金						0
		県支出金						0
		市債						0
		その他						0
	一般財源	550	638	682	△ 44			
部・課等名	経済環境部		環境政策課	環境共生係				



令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		549,879		638,296		682,000			
	人件費計 B		4,145,062		4,283,868		4,980,519			
	内訳	正職員	人数	0.5		0.5		0.5		
			人件費	4,145,062		4,283,868		4,980,519		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		4,694,941		4,922,164		5,662,519				
市民1人コスト C/人口		34		35		40				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	職員研修の実施		回	5	5					
	指標化できない成果		環境配慮上の問題点を発見し、改善することができました。取組の評価・見直しにより、環境マネジメントマニュアルを改訂しました。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			5		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			2	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			5	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			5	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4.25	5	4.5	3	4	20.75
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			5							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		環境マネジメントシステムが適正に運用され、市の事業から生じる環境負荷を可能な限り抑制しています。								
判断	見直し継続	判断理由内容	PDCAサイクルに基づき、マネジメントシステムの運用改善の取り組みを継続します。							
課題問題点	ISO14001認証取得の流れを参考にした評価・監査のシステムが複雑で、事務局及び所管課の負担が大きくなっています。他市のEMSを参考に、手続きの簡素化を検討します。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	3	4	21				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。環境マネジメントシステムは環境面に特化した取り組みとして実施されてきました。環境面の維持は継続が不可欠ですが、SDGsの取り組みも始まったことにより、重複している事務については、整理し、見直しを行う必要があると考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	3	3	3	19				
	判断	見直し継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。環境面に特化した取り組みとして継続が不可能であることは理解できますが、市民との関係がよく見えません。市民とどう関係するかを整理し、市民への周知方法を検討した上で事業を継続する必要があると考えます。						
事業に対するコメント	環境面の改善を図るため、環境情報をより積極的に市民に向け発信し、市民意識の向上を促進してください。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	4 衛生費	項	1 保険衛生費	目	3 環境衛生費	細目	2 環境衛生事業費
事業名 (細々目)	犬猫等管理事業費							
事業概要	対象	畜犬の飼養者・猫の飼養者・市民						
	目的	畜犬の適正管理と狂犬病予防の予防注射の徹底及び正しい飼い方の意識啓発とともに、野良猫の増加、猫の苦情・被害等を防ぎ、人と動物との調和のとれた共生社会の実現をめざします。						
	手段	畜犬登録システムで適正な管理を行い、狂犬病予防のための予防注射の徹底を図るとともに飼養者のマナー向上のための啓発活動を行います。猫の飼い主や野良猫の飼い主になろうとする意思のある方を支援するため、猫の不妊及び去勢手術費用の一部を助成します。また、野良猫の繁殖を抑制するため、動物愛護団体が実施する野良猫の不妊去勢手術活動(TNR活動)に対し、費用の一部助成を行います。						
	その他	TNR活動とは、「野良猫を捕獲し、不妊去勢手術を実施し、元の場所に戻す活動」をいいます。本市では活動団体への手術費用の一部助成を平成29年度より開始しています。						
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名			3-3 環境保全及びまちの美化推進	
	めざす姿	市民の動物愛護への意識が高まり、ペットを飼っている人も飼っていない人もお互いに尊重し生活できるまちになっています。						
根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律・狂犬病予防法							
事業の詳細説明	<ul style="list-style-type: none"> ・畜犬の新規登録等の手続きを適正に行い、狂犬病予防注射の徹底を図ります。 ・飼い主のマナーの啓発活動実施 ・猫不妊及び去勢手術費及び団体へのTNR活動助成 ・犬の管理システムの更新及び端末導入(賃貸借) 							
	 <p>狂犬病予防接種集団注射のようす</p>	 <p>TNR活動を行い、目印として耳をカットした“さくらみみ猫”</p>						
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	3,433		3,526		3,922		△ 396	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他	3,433	3,526	3,914	△ 388		
	一般財源	0	0	8	△ 8			
部・課等名	経済環境部		環境政策課		環境共生係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		3,433,629		3,526,210		3,922,000				
	人件費計 B		8,358,285		8,635,135		9,800,807				
	内訳	正職員	人数	0.8		0.8		0.8			
			人件費	6,632,099		6,854,188		7,968,830			
		会計年度	人数	1		1		1			
			人件費	1,726,186		1,780,947		1,831,977			
総コスト C=A+B		11,791,914		12,161,345		13,722,807					
市民1人コスト C/人口		85		87		98					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	狂犬病ワクチン集合注射の実施		回	13	13	猫不妊去勢手術費補助件数		件	140	149	
	猫TNR講習会の実施		回	2	2	猫TNR補助件数		件	50	26	
						猫TNR用捕獲機貸出し		件	2	0	
指標化できない成果		狂犬病予防接種済証の発行について、県獣医師会への預託交付を開始し、一部動物病院で即日接種済証を交付できるようになりました。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			5		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			5		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			1		
	持続可能性			評価		平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			5							
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			5							
	<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		動物愛護の精神が浸透し、ペットの適正な飼養について意識が高まっています。									
判断	見直し縮小	判断理由内容		飼い猫の不妊・去勢手術費用の一部助成については、飼い主の責務であるため補助事業として適切とはいえない旨、補助事業の外部評価委員会から指摘があり、見直し検討を行っています。							
課題 問題点	TNR実施等数の減少から、野良猫が減少傾向であることが推測できますが、一部では野良猫への餌やりとそれによる繁殖により、糞や鳴き声などによって生活環境が悪化する事例が散見されます。TNR講習受講者と連携し、TNRの推進と市民への周知を継続します。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		5		3		2		4		18
	判断	見直し縮小	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 家族同然として飼われているペットは、飼い主には生活に欠かせない存在となつていますが、飼い主のマナー向上と共に、狂犬病が発病した場合による社会影響や、野良猫による生活の環境悪化については、今後も取組が必要と判断します。 個人の飼い猫に対する不妊・去勢手術費用の一部助成は、飼い主の責任により実施するべきであり、また、猫に限定している点などからも見直しが必要と考えます。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		3		3		2		2		13
	判断	見直し縮小	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 ペットに対する補助が猫に限られている点は公平性がないと判断します。ペットについては飼い主の責任によることから、補助対象について見直しが必要と考えます。						
事業に対する コメント	野良猫等による、市民生活の悪化を防ぐため、TNRのさらなる推進をしてください。										
評価結果を踏まえた 次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款 4 衛生費	項 1 保険衛生費	目 3 環境衛生費	細目 2 環境衛生事業費	
事業名 (細々目)	害虫等対策事業費				
事業概要	対 象	市内に土地若しくは家屋を所有している個人又は居住している個人 平成26年度より、住民で組織された管理組合も助成対象としています			
	目 的	スズメバチ類による市民への危害を防止するため、スズメバチ類の巣の除去費用の一部を助成することにより市民生活の安全を確保します。			
	手 段	登録業者による巣の除去などに対して、費用の一部を助成します。			
	そ の 他	対象は個人のため、官公庁、工場・事業場などの法人は含みません。登録業者は市に入札参加登録をしていることなどが要件です。なお、所有者が不明で、助成の対象外となるケースで緊急対応が必要と判断される場合は、市においてスズメバチ類の巣の除去委託を行います。			
20 プ ラ ン	行政分野	3	経済・環境	政策名 3-3 環境保全及びまちの美化推進	
	めざす姿	きれいな水や空気が保たれ、住みよいまちとなっています。			
根拠法令等					
事業の 詳細説明	スズメバチ類の巣の除去費用の一部を助成しています。(11,000円) 緊急等の場合、市の予算でスズメバチ類の巣の除去委託を実施しています。				
	<p>スズメバチの巣 (駆除前)</p>		<p>駆除したスズメバチ</p>		
区 分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)
事業費 (千円)		1,253	1,063	971	92
財源内訳	特定財源	国庫支出金			0
		県支出金			0
		市債			0
		その他			0
	一般財源	1,253	1,063	971	92
部・課等名	経済環境部	環境政策課	環境共生係		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		1,252,802		1,062,940		971,000			
	人件費計 B		1,658,025		1,713,547		1,992,207			
	内訳	正職員	人数	0.2		0.2		0.2		
			人件費	1,658,025		1,713,547		1,992,207		
	会計年度		人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		2,910,827		2,776,487		2,963,207				
市民1人コスト C/人口		21		20		21				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						スズメバチの巣の除去補助件数		件	85	66
	指標化できない成果		スズメバチの巣を早期駆除することにより、市民の安全が守られました。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			2	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			2	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			5		
持続可能性			評価	平均			合計			
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			2	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4.75	4.5	3.5		5	3	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3					20.75		
「めざす姿」に対する現在の状況		スズメバチによる被害を低減し、安全・安心なまちづくりに役立っています。								
判断	現状継続	判断理由内容	開発等によりスズメバチの営巣の影響が増加しており、発見された場合は、家屋所有者が手配し早急な駆除が効果的であるため、現在の補助形式が最も効果的です。							
課題 問題点	猛暑の年等はスズメバチの営巣が増加し、対応に苦慮しています。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	3	4	20				
	判断	見直し拡大	判断理由内容	担当部課評価を修正します。 市民の生命を脅かすスズメバチに対し、速やかな営巣の除去を行うことにより、その被害を防止し安全を確保する本事業は大変重要であり、継続的な対応が必要と考えます。しかし、高所作業等では申請者の負担が大きくなる傾向にあり、自然発生する営巣の除去への助成金が一律の限度額では公平性に欠ける点や人件費高騰などの要因も含め、補助率による助成金の算出方法や、限度額上限の見直しが必要と考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	3	4	21				
	判断	見直し拡大	判断理由内容	内部評価を支持します。 温暖化が進み、スズメバチが増える可能性が考えられることから、除去の対象が増えることが想定されます。また、高所のみならず地中に巣を作るハチもいることから、補助を拡大する必要があると考えます。						
事業に対するコメント	地球温暖化などの環境変化により、市民生活の安全確保の対策も変化していくので、今後も取り組みの充実をはかってください。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1 清掃総務費	細目	4 環境美化推進事業費
事業名 (細々目)	環境美化推進事業費							
事業概要	対象	市民						
	目的	ポイ捨てや路上喫煙の禁止等に伴う、市内の清潔な環境の維持を目指します。						
	手段	きれいなまちづくり事業を推進します。 美化推進重点地区、路上喫煙禁止地区内の清掃及び巡回指導を実施します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進			
	めざす姿	ひとが多く集まる鉄道駅周辺での路上喫煙を規制し、吸殻ごみの無いきれいなまちになっています。						
根拠法令等	海老名市路上喫煙の防止及び美化推進に関する条例及び同施行規則							
事業の 詳細説明	<p>1 きれいなまちづくり事業の推進 清掃等の美化活動を行う団体(自治会、老人会等)に対し、奨励金(2,000円/月)を交付します。 令和5年度は42団体に対し、合計978,000円を交付しました。</p> <p>2 美化推進重点地区(海老名駅・厚木駅・かしわ台駅・さがみ野駅)、路上喫煙禁止地区内清掃及び巡回指導 シルバー人材センターに委託し、地区内のごみ拾いや、海老名駅東口喫煙所を清掃します。 美化推進員による地区内のパトロールを実施します。</p> <p>3 その他 令和5年9月に海老名駅西口喫煙所を廃止しました。 受動喫煙防止のため、海老名駅東口喫煙所のパーテーションや送風機を適正に管理します。 喫煙者のマナー向上のため、喫煙所内の構造変更や看板掲示など啓発活動に努めます。</p>							
	<p>海老名駅東口喫煙所(北側)</p>		<p>加熱式たばこ専用喫煙所</p>		<p>海老名駅 路上喫煙禁止地区 海老名駅西口喫煙所廃止</p> <p>市長が指定する場所 喫煙所 ● 加熱式たばこ専用喫煙所 ▲</p>			
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	11,682		12,554		14,497		△ 1,943	
財源内訳	国庫支出金							0
	県支出金							0
	市債							0
	その他							0
	一般財源	11,682		12,554		14,497		△ 1,943
部・課等名	経済環境部		環境政策課		廃棄物政策係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		11,681,140		12,553,201		14,497,000				
	人件費計 B		829,012		856,774		996,104				
	内訳	正職員	人数	0.1		0.1		0.1			
			人件費	829,012		856,774		996,104			
	会計年度		人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		12,510,152		13,409,975		15,493,104					
市民1人コスト C/人口		91		96		110					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		パトロールを実施することで、路上喫煙及び不法投棄の防止に繋がっています。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			2		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			2		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			2		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			2		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			2		3	3.25	3.5	2.5	3	15.25	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		清掃活動及びパトロールの実施により、鉄道駅付近の美観が保たれています。									
判断	見直し継続	判断理由内容		まちの美観を維持するために、現在の清掃活動及びパトロールを継続します。きれいなまちづくり事業の今後のあり方について検討し、見直しを行います。							
課題 問題点	パトロール時間外である深夜、早朝の路上喫煙者や吸い殻のポイ捨て対策に苦慮しています。喫煙者数が減少傾向にある中で、将来的な喫煙所の設置意義を検討していく必要があります。きれいなまちづくり事業交付金の公平性について、抜本的な見直しが必要です。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		4		4		3		3		17
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。本事業については、市民のまちの美化に対する意識啓発を図ると共に、来街者を含めた駅周辺の美化や分煙の徹底など、公共空間の美化推進に寄与しているものと考えます。しかし、清掃活動に伴う奨励金の要綱では交付対象団体が限定されており、その他の活動団体も対象とすることで、更なる美化推進に寄与する制度とする研究も必要と考えます。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		4		4		2		3		16
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。駅周辺の美化や分煙は進んでおり、政策の効果はあると判断します。一方で電子たばこ等も普及していることから、喫煙所の設置の必要性は少なくなったと考えられるため、今後の方針を再検討することを提案します。						
事業に対するコメント	喫煙者について優遇しているように感じます。海老名駅東口喫煙所については、最終的に廃止も含めて検討してください。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費	細目	2 塵芥処理事業費																				
事業名 (細々目)	有料化・戸別収集事業費																											
事業概要	対象	市民																										
	目的	家庭から排出されるごみの分別を促進し、ごみの減量化を図ります。																										
	手段	家庭から排出される燃やせるごみと燃やせないごみの有料化(指定収集袋)を実施します。																										
	その他																											
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進																							
	めざす姿	市民・事業者のごみ減量化や資源化に対する意識が高まり、ごみの排出量が削減されています。																										
根拠法令等	海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例及び同規則																											
事業の 詳細説明	<p>1 家庭系ごみ指定収集袋(燃やせるごみ・燃やせないごみ)の作成及び販売委託</p> <p>事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定収集袋作製委託 74,885千円 指定収集袋販売手数料 18,770千円 指定収集袋取扱等業務委託 25,289千円 																											
	 <p>指定収集袋(燃やせるごみ)</p>				 <p>指定収集袋(燃やせないごみ)</p>																							
<p>◆燃やせるごみの排出量</p>  <table border="1"> <caption>燃やせるごみの排出量推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>燃やせるごみの排出量 (kg)</th> <th>一人一日あたり排出量 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>19,646</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>18,466</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>17,284</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>17,080</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>17,015</td> <td>334</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>16,671</td> <td>325</td> </tr> </tbody> </table> <p>制度を開始した令和元年度以降、燃やせるごみの総排出量、一人一日あたり排出量ともに毎年減少しています。 この数値は、一般廃棄物処理基本計画で定めた令和9年度の一人一日あたり排出量目標値である340gを下回っています。</p>								年度	燃やせるごみの排出量 (kg)	一人一日あたり排出量 (kg)	平成30年度	19,646	400	令和元年度	18,466	377	令和2年度	17,284	347	令和3年度	17,080	341	令和4年度	17,015	334	令和5年度	16,671	325
年度	燃やせるごみの排出量 (kg)	一人一日あたり排出量 (kg)																										
平成30年度	19,646	400																										
令和元年度	18,466	377																										
令和2年度	17,284	347																										
令和3年度	17,080	341																										
令和4年度	17,015	334																										
令和5年度	16,671	325																										
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																					
事業費(千円)	243,900		254,165		252,026		2,139																					
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0																					
		県支出金					0																					
		市債					0																					
		その他	215,315	208,870	216,885	△ 8,015																						
	一般財源	28,585	45,295	35,141	10,154																							
部・課等名	経済環境部		環境政策課		廃棄物政策係																							

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		243,899,853		254,164,276		252,026,000			
	人件費計 B		829,012		856,774		996,104			
	内訳	正職員	人数	0.1		0.1		0.1		
			人件費	829,012		856,774		996,104		
	会計年度	人数	0	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		244,728,865		255,021,050		253,022,104				
市民1人コスト C/人口		1774		1825		1801				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						一人一日あたり燃やせるごみ排出量		g	340	325
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			5		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			5	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			5	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			5		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	24
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			5	4.5	5	5	5	4.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			5							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		人口が増加しているにもかかわらず、ごみの排出量は減少傾向にあります。市民の、ごみの減量化に対する意識が高まっています。								
判断	現状継続	判断理由内容	ごみの減量化効果が出ています。一般廃棄物処理基本計画で定めた令和9年度の一人一日あたりごみ排出量目標値をクリアしています。							
課題 問題点	より環境に配慮した袋の素材を研究し、焼却時に発生する二酸化炭素排出量の削減を目指します。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	5	5	5	4	23				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。個別収集を実施したことにより、ごみの減量化の条件にもなる分別に対する意識が向上しており、また、アンケート結果にもあるとおり一定の市民の理解を得ている点も含め、今後も継続すべき事業と考えます。SDGsの観点からも、焼却時における二酸化炭素の排出量が抑制される指定収集袋の開発に期待します。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	5	5	5	4	23				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。有料化によりごみの減量ができていることから、政策の効果ができていると判断します。収集袋に関しては、他市の事例等も研究し、より環境にやさしい収集袋となることを期待します。						
事業に対するコメント	収集袋は日常生活でよく目にするものであるため、袋の裏面に広告を載せる、ごみの分別方法、収集できないものについて案内するなど、有効利用について検討することを提案します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	4 資源対策費	細目	2 廃棄物減量化推進事業費															
事業名 (細々目)	廃棄物減量化事業費																						
事業概要	対象	市民、市内事業者																					
	目的	家庭及び事業者から排出される可燃ごみの減量化を図ります。																					
	手段	①市民、事業者に対して、ごみ減量に関する情報発信及び啓発を推進します。 ②多量排出事業者を対象に、事業系ごみ減量化に係る訪問指導を実施します。 ③生ごみの減量(自家処理)を促すため、市民、事業者が導入する生ごみ処理機導入費用の一部に対し補助を行います。																					
	その他																						
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進																		
	めざす姿	市民・事業者のごみ減量化や資源化に対する意識が高まり、ごみの排出量が削減されています。																					
根拠法令等	海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理に関する条例及び同規則																						
事業の 詳細説明	<p>1 ごみ減量に関する情報発信及び啓発 広報えびな、市ホームページ、デジタルサイネージ等を用いて減量化の啓発を行います。 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社との連携協定に基づき、ボトルtoボトル推進のための動画作成に協力しました。 小学校等へ出向き、ごみの分別や減量化を学ぶ出前講座を実施します。 小規模事業者の事業系ごみ減量化を促すため、家庭用生ごみ処理機貸出を行います。 大型生ごみ処理機実証事業は、その検証に必要な情報を収集できたため終了しました。</p>																						
	<p>2 事業系ごみ減量化に係る訪問指導 収集運搬業者からの実績報告書を基に、年間12トン以上焼却施設に可燃ごみを排出した事業所を「多量排出事業所」とし、分別状況や廃棄物減量化に値する取り組みを調査します。 令和5年度は23事業所を訪問しました。 新型コロナウイルス流行時は経済活動そのものが停滞していたため、ごみ量も減少していましたが、経済の活性化とともにごみ量も増加傾向にあります。</p>																						
	<p>3 生ごみ処理機導入費用の一部に対し補助を行います。</p> <p style="text-align: center;">令和5年度補助実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>世帯数</th> <th>基数</th> <th>補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非電動</td> <td>19</td> <td>26 台</td> <td>179,900 円</td> </tr> <tr> <td>電動式</td> <td>214</td> <td>214 台</td> <td>8,698,600 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>233</td> <td>240 台</td> <td>8,878,500 円</td> </tr> </tbody> </table>								種類	世帯数	基数	補助額	非電動	19	26 台	179,900 円	電動式	214	214 台	8,698,600 円	計	233	240 台
種類	世帯数	基数	補助額																				
非電動	19	26 台	179,900 円																				
電動式	214	214 台	8,698,600 円																				
計	233	240 台	8,878,500 円																				



出前講座の様子



事業所訪問の様子



生ごみ処理機補助金チラシ

区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)	
事業費 (千円)	11,999	11,058	12,924	△ 1,866	
財源内訳	国庫支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他	11,045	9,349	12,924	△ 3,575
	一般財源	954	1,709	0	1,709

部・課等名	経済環境部	環境政策課	廃棄物政策係
-------	-------	-------	--------

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		11,998,826		11,057,663		12,924,000				
	人件費計 B		2,659,656		2,748,415		3,171,509				
	内訳	正職員	人数	0.3		0.3		0.3			
			人件費	2,487,037		2,570,321		2,988,311			
	会計年度		人数	0.1		0.1		0.1			
			人件費	172,619		178,095		183,198			
総コスト C=A+B		14,658,482		13,806,078		16,095,509					
市民1人コスト C/人口		106		99		115					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						事業系ごみの排出量		t	7,073	8,352	
指標化できない成果		行政が直接事業所を訪問することで、事業者のごみ排出量削減に対する意識の高まりが期待できます。 子どもたちにごみの分別や減量化の啓発を行うことで、家庭でのごみに対する意識の高まりが期待できます。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			5		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			2		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			2		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
持続可能性			評価		平均			合計			
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.75	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			5		3.25	3.5	3.75	3.75	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		事業系ごみの排出量が一般廃棄物処理基本計画で定めた目標値を大きく上回っています。 (令和5年度目標値7,073tに対し、実績値8,352t)									
判断	見直し継続	判断理由内容		事業系ごみの削減が喫緊の課題であることから、政策の重点を家庭系ごみから事業系ごみにシフトしていきます。							
課題問題点	電動式生ごみ処理機は、電気を膨大に消費して生ごみを軽量化させる機器であることから、脱炭素の観点からも補助事業のあり方を見直す必要があります。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		4		3		3		4		17
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 環境負荷を抑制するために肝要な事業であり継続した取り組みが求められます。 生ごみ処理機の助成等に課題があるようですので他の方策の検討も必要であると 考えます。また事業系ごみは目標値を達成できていませんので、経済的インセンティブ が望める施策を講じていただきたいと思います。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	3		3		3		3		3		15
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 事業系ごみは、近年事業活動が活発になっていることから減量がむずかしいものと 理解しますが、家庭系ごみの減量が達成できているため、今後の事業系ごみに係る 減量の取り組みに期待します。						
事業に対するコメント	事業系ごみの減量対策のさらなる推進を期待します。大型生ごみ処理機実証事業の成果を、減量化の一方策として有効活用してください。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款 4 衛生費	項 2 清掃費	目 2 塵芥処理	細目 2 塵芥処理事業費																				
事業名 (細々目)	塵芥処理事業費																							
事業概要	対 象	市民																						
	目 的	市民が安心して暮らせるよう衛生的な生活環境の保全を図ります。																						
	手 段	家庭から排出される燃やせるごみの収集や不法投棄物等の収集を行いました。																						
	そ の 他																							
20 プ ラ ン	行政分野	3 経済・環境	政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進																				
	めざす姿	ごみ集積所の整理が進み、安全で清潔なまちになっています。																						
根拠法令等	海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例及び同規則																							
事業の 詳細 説明	<p>1 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃やせるごみの戸別収集を安全かつ効率的に実施するとともに、収集現場からごみの減量化や資源化について推進を図りました。 「SDGsを知ってもらおう」「SDGsに興味をもってもらおう」ため、ごみ収集車のボディにSDGsのマークをデザインし、周知活動を行いました。 戸別収集の特性を活かし、ごみ収集車にAEDを搭載し、市民の大切な命を守る取り組みを開始しました。 																							
	<p>2 事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 正しいごみの分別方法の案内や集積所の適正な維持管理に向けた支援を行いました。 集積所の一斉調査を実施し、不法投棄状況の改善を図りました。 																							
<p>集積所の一斉調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>集積所数</th> <th>調査対象</th> <th>改善数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>約3,400</td> <td>205カ所</td> <td>83カ所</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>約3,700</td> <td>44カ所</td> <td>7カ所</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>約3,720</td> <td>68カ所</td> <td>22カ所</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>約3,770</td> <td>42カ所</td> <td>5カ所</td> </tr> </tbody> </table>					年度	集積所数	調査対象	改善数	R2	約3,400	205カ所	83カ所	R3	約3,700	44カ所	7カ所	R4	約3,720	68カ所	22カ所	R5	約3,770	42カ所	5カ所
年度	集積所数	調査対象	改善数																					
R2	約3,400	205カ所	83カ所																					
R3	約3,700	44カ所	7カ所																					
R4	約3,720	68カ所	22カ所																					
R5	約3,770	42カ所	5カ所																					
																								
		戸別収集の様子	SDGsデザインのごみ収集車	AEDと普通救命講習を修了した職員																				
																								
		維持管理されていない集積所	市民(利用者)と協働し改善																					
区 分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)																				
事業費(千円)	96,710	126,209	163,153	△ 36,944																				
財源内訳	国庫支出金			0																				
	県支出金			0																				
	市債			0																				
	その他	43,330	45,179	47,990	△ 2,811																			
	一般財源	53,380	81,030	115,163	△ 34,133																			
部・課等名	経済環境部	資源対策課	収集業務係																					

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		96,710,000		126,209,000		163,153,000				
	人件費計 B		356,475,332		394,115,810		468,168,739				
	内訳	正職員	人数	43		46		47			
			人件費	356,475,332		394,115,810		468,168,739			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		453,185,332		520,324,810		631,321,739					
市民1人コスト C/人口		3284		3724		4493					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		①車両運行管理システムを導入し、安全かつ効率的な収集を行いました。 ②SDGs関連のイベントに参加し、ごみ収集の立場から来場者にSDGsについて積極的に周知活動を行いました。 ③市内集積所の一斉調査を行い、適正に維持管理されていない集積所利用者等へ啓発・指導を行いました。									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4			
持続可能性			評価	平均					合計		
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性			
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3.75	3.5	3.5	3.25	3	17		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		ごみ集積所の整理が進み、安全で清潔なまちになっています。									
判断	現状継続	判断理由内容		家庭系ごみの一部有料化や戸別収集により、市民のごみの分別意識の向上が図られているためです。							
課題問題点	集積所の状況は、利用環境により変化するため、衛生的な生活環境の保全を図るうえでは、市民(利用者)の適正なごみ排出や維持管理等の協力が必要不可欠である。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。塵芥処理は生活に欠かせない業務であり、安全かつ効率的に継続する必要があります。タブレットを活用した運行管理など事業の効率化が図られています。集積所の管理は難しい課題ですが、適正分別・不法投棄の防止に繋がる施策を検討し、衛生的な環境の維持に努めてもらうことに期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価、内部評価を支持します。AEDの搭載により、市民や収集員の安心感につながっていると思います。高齢化に伴い、ごみの分別が難しい高齢者が増えることが予想されるため、集積所の維持管理に加えてごみの分別について啓発する施策の検討を提案します。						
事業に対するコメント	市内集積所の一斉調査を行い、集積所利用者等への啓発、指導を行う取り組みは評価しています。今後も衛生的な環境維持の確保をしてください。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	3 し尿処理費	細目	2 し尿処理事業費
事業名 (細々目)	し尿収集事業費							
事業概要	対象	市民・事業者						
	目的	市民が安心して暮らせるよう衛生的な生活環境の保全を図ります。						
	手段	家庭や事業所から排出されるし尿・汚水の汲み取りを行いました。						
	その他							
20 プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名	3-3 環境保全及びまちの美化推進			
	めざす姿	ごみ集積所の整理が進み、安全で清潔なまちになっています。						
根拠法令等	海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例及び同規則							
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要</p> <p>・家庭や事業所から排出されるし尿・汚水、仮設トイレの汲み取りを行うことで、衛生的な環境を維持しています。</p>  <p>2 事業の実績</p> <p>・他市の処理手数料と均衡を図るとともに、下水道料金の改正と合わせ令和4年4月に処理手数料を改正。事業点検を行いながら、引き続き安定的に事業を進めました。</p> <p>・し尿収集世帯の減少と処理手数料の徴収システムの変更に伴い、新たにシール制を導入し、市内コンビニエンスストアで販売することにより利便性を向上させました。</p>							
	<p>(1) 手数料の見直し</p> <p>① し尿定額(一般家庭の汲み取り式トイレ)【据え置き】 1世帯あたり100円及び世帯人員1人あたり100円の定額制</p> <p>② し尿従量【増額】 ・市内事業所など:120円/36L → 400円/50L ・工事現場用仮設トイレ:120円/36L → 3,000円/1基</p> <p>③ 汚水(雑排水)【据え置き】 ・1,800Lあたり1,000円の従量制</p> <p>(2) 手数料徴収方法の見直し</p> <p>① 既存の粗大ごみ収集シールと同様に、シール制を導入 ② 市内コンビニエンスストアで販売</p> 							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	1,509		2,932		3,372		△ 440	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
	県支出金					0		
	市債					0		
	その他	1,509	2,931	3,344	△ 413			
	一般財源	0	1	28	△ 27			
部・課等名	経済環境部		資源対策課	収集業務係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		1,509,000		2,932,000		3,372,000			
	人件費計 B		16,580,248		17,135,470		19,922,074			
	内訳	正職員	人数	2		2		2		
			人件費	16,580,248		17,135,470		19,922,074		
	会計年度	人数	0		0		0			
		人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		18,089,248		20,067,470		23,294,074				
市民1人コスト C/人口		131		144		166				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	①し尿・汚水収集シーリングは、事業者も使用することから、令和5年10月から施行されたインボイス制度(適格請求書)に対応しました。 ②汲み取り中に発生する臭気を抑えるため、添加剤(香料)を変更し、周辺環境により配慮した取り組みを行いました。								
担当部課評価	妥当性		評価		有効性		評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か		4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか		3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか		4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか		3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか		3		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか		4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか		3		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか		4			
	効率性		評価		公平性		評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か		4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か		3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか		4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か		3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか		3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか		4			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか		3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか		4			
	持続可能性		評価		平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか		3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか		3		3.5	3.5	3.5	3.5	3	17	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか		3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか		3								
「めざす姿」に対する現在の状況		安全で清潔なまちになっています。								
判断	現状継続	判断理由内容		し尿・汚水の汲み取りを必要とする地域や世帯の衛生的な環境を維持していく必要があり、市民及び事業者から理解・協力が得られていることから、現状を継続していく必要があるためです。						
課題 問題点	工事現場等の仮設トイレの汲み取り件数は年間900件程度ありますが、一般家庭から排出されるし尿汲み取り世帯は88世帯と減少傾向にあります。現時点において事業委託の考えはありませんが、災害発生時の汲み取り対応等も含め体制の確保、維持については、引き続き検討していく必要があります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	4	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 し尿・汚水の汲み取りについては衛生的な環境を保つため必要不可欠な業務です。処理手数料支払いの簡便化や、受益者負担の観点から周辺市と均衡がとれた処理手数料に改定するなど適正な事業運営が行われていると考えます。 災害時の対応は重要な課題であるため解決に向けた取り組みに期待します。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	4	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持しています。 衛生的な環境を守るため、事業の必要性が認められます。ただし、件数が少なくなっていることもあるため、今後は汲み取り車の台数を少なくするなど、現状に合う施策となることを期待します。					
事業に対するコメント		工事現場の仮設トイレについては市の事業とせず、処理を業者に任せていいのではないかと考えます。								
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款 4 衛生費	項 2 清掃費	目 4 資源対策費	細目 2 廃棄物減量化推進事業費
事業名(細々目)	資源物処理事業費			
事業概要	対象	市民		
	目的	ごみ減量化・資源化を推進するために、資源の有効活用を推進します。		
	手段	市民から排出された資源物を適正に処理し、資源化を図ります。		
	その他			
20プラン	行政分野	3	経済・環境	政策名 3-3 環境保全及びまちの美化推進
	めざす姿	市民のごみの減量化や資源化に対する意識が高まり、ごみの排出量が削減されています。		
根拠法令等	海老名市廃棄物の減量化、資源化、適正処理等に関する条例			
事業の詳細説明	<p>ごみ減量化・資源化を推進するために、布類・プラスチック類・スプレー缶・ミックスペーパー及びペットボトルの資源の有効活用を推進しています。資源化においては、資源物ごと適正に選別処理し、資源化を図っています。</p> <p>また、缶・びん・ペットボトル・容器包装プラスチックなどは、資源化センターにて選別し、圧縮梱包等施し、資源物として再生事業者へ引き渡しております。</p>			
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)
事業費(千円)	18,337	14,737	27,618	△ 12,881
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
一般財源	18,337	14,737	27,618	△ 12,881
部・課等名	経済環境部	資源対策課	資源循環係	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		経済・環境		政策		環境保全及びまちの美化推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		18,337,000		14,737,000		27,618,000			
	人件費計 B		24,870,372		34,270,940		39,844,148			
	内訳	正職員	人数	3		4		4		
			人件費	24,870,372		34,270,940		39,844,148		
		会計年度	人数							
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		43,207,372		49,007,940		67,462,148				
市民1人コスト C/人口		313		351		480				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	施設全体の安全に係る機能を向上させ、継続的に維持管理するほか、新たに改善が必要な箇所を注視しています。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	3.75	3.25	3.25		3.75	3.25
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		市民の資源化に対する意識が高まり、ごみの排出量が削減されています。								
判断	現状継続	判断理由内容		市民のリサイクルへの意識が高まり、資源化が図られているため現状継続としています。						
課題 問題点	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に対応するため、収集や処理方法について研究する必要があります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	4	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。資源化品目の追加や資源化の過程における安全への配慮など適正に業務が行われていると考えます。「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されているので、事業者と連携した処理方法など資源化の促進が図られることに期待します。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	4	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。今後、さらにリサイクルを進めるため、事業者と連携し、さらに良い処理方法を研究することを期待します。					
事業に対するコメント	市民のリサイクル意識のさらなる向上をめざし、資源の有効活用の推進拡大をしてください。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	4	まちづくり						
	政策	4-1	社会基盤の保全・整備						
	方向性	暮らしに欠かせない道路などが適切に維持管理されているから、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① 道路施設等の適正な管理により市民の快適な住環境を保全しています。</p> <p>② 市内で進められている県事業の整備効果が表れています。</p> <p>③ 道路新設や現道拡幅の整備、緊急車両等の通行が困難な道路の解消、踏切事故減少が図られています。</p> <p>④ 地区幹線道路における交通渋滞の解消及び、市内の円滑な交通環境の提供や歩行者が安全で快適に利用できる歩行空間を提供しています。</p> <p>⑤ 広域幹線道路網を充実することで、交通渋滞の解消が進んでいます。</p> <p>⑥ 公共下水道施設の適正な維持管理を行い、将来的にも持続可能な施設となっています。</p> <p>⑦ 公共下水道の着実な整備により、河川等の公共用水域の水質保全が図られています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	道路維持管理経費	内部	現状継続	5	3	4	3	3
			外部	現状継続	5	4	4	3	4
	2	橋りょう長寿命化対策事業費	内部	現状継続	4	3	4	3	3
			外部	現状継続	5	4	4	3	4
	3	街路維持管理経費	内部	現状継続	5	3	4	3	3
			外部	現状継続	5	4	4	3	4
	4	幹線・準幹線道路新設改良事業費	内部	現状継続	4	4	4	3	3
			外部	現状継続	4	4	4	3	4
	5	歩道整備事業費	内部	現状継続	4	4	4	3	3
			外部	見直し拡大	4	4	4	3	4
	6	一般生活道路整備事業費	内部	現状継続	4	4	4	3	3
			外部	現状継続	4	3	3	3	3
	7	道路用地購入事業費	内部	現状継続	4	4	4	4	3
			外部	現状継続	4	4	3	3	3
	8	狭あい道路用地等購入事業費	内部	見直し継続	3	4	4	3	3
			外部	見直し継続	3	3	3	3	4
	9	道路用地管理事業費	内部	現状継続	3	4	4	4	3
			外部	現状継続	4	4	4	4	4
	10	合併処理浄化槽整備助成事業費	内部	現状継続	3	3	3	3	3
			外部	現状継続	3	3	3	3	3
	11	都市排水路維持管理経費	内部	現状継続	4	4	4	3	3
		外部	現状継続	5	5	4	4	4	

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価 A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	A
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
	内部評価コメント	「えびな未来創造プラン」「海老名都市マスタープラン」「道路交通マスタープラン」をもとに適切に配置されています。また、事業を担当する課も明確で、適切に事業に取り組んでおり、政策の達成に有効であると判断します。
外部評価コメント	「えびな未来創造プラン(以下、20プランという)」の実現に向けて、事業は適正に配置されていると考えます。20プランのめざす姿(4-1 社会基盤の保全・整備)に関連する主な個別計画との関連を示していただければ、なおわかりやすいかと考えます。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価 A
	A 順調である	外部評価
	B やや遅延している	A
	C 著しく遅延している	
	内部評価コメント	順調に推進しており、担当課の現状把握も的確です。維持管理に関する計画を事前に定めて計画的な実施をしており、十分に進捗しています。県や国との連携が必要な部分もありますが、総体としては評価できるものと判断します。
外部評価コメント	概ね計画通り順調に推移していると考えます。担当部課の事業への真摯な取り組みもうかがえます。個々の事業ごとではなく、道路関連事業全体の計画の進捗管理や評価ができれば、可能な限り数値化するように検討することを求めます。基本的に重要なインフラの整備であり、私権との調整、国や県との調整が必要であることは理解しますが、市民生活に直結する道路環境の整備は、急速な当市の発展に対して進捗が遅れているという市民感覚があります。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価 A
	A 必要性が高い	外部評価
	B どちらとも言えない	A
	C 必要性が低い	
	内部評価コメント	適切な時期に必要な維持・修繕・更新を実施することが必要な事業ですが、計画策定時のアンケートや市民等からのリアルタイムな報告把握など、状況やニーズの把握に努め、事業に取り組んでいます。生活の基盤となる都市機能の適切な維持管理であり、市民ニーズ・社会需要いずれも高いものと考えます。
外部評価コメント	生活の基盤となる都市機能の適切な維持管理事業であり、必須の政策であると考えます。長期的な視点と、市民生活に直接影響する事業とのバランスを保つたうえで、政策の実施を期待します。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価 A
	A 最優先に実施すべきである	外部評価
	B 優先的に実施した方が望ましい	B
	C 優先的に実施する必要は低い	
	内部評価コメント	市民の日常生活に密着しており、適切な時期に必要な維持・修繕・更新を実施することが必要な事業です。いずれの事業も、道路混雑の緩和や道路空間の安全性を確保するための事業であり、優先度は高いと考えます。
外部評価コメント	市民生活の維持向上や商工業の振興に不可欠な事業であり、最優先で実施する必要があります。投資を伴う事業は長期に使用されます。施設の効率的な活用と投資額の平準化には、適切な時期に適切な維持管理事業を実施することが必須であると考えます。優先度を適宜判断していただき、事業を実施するよう求めます。	

政策評価

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路維持費	細目 17 道路維持管理経費	
事業名 (細々目)	道路維持管理経費				
事業概要	対 象	道路利用者			
	目 的	道路及び道路施設の安全確保と快適な利用環境を保全するために適切な維持管理を行います。			
	手 段	日常的なパトロール業務、維持補修作業業務を委託し、異常個所の発見、早期対応を図り、利用者の安全確保を図ります。市民要望等に対して、舗装補修などの業務を単価契約で委託し、迅速かつ効率的に対応します。舗装等の改修工事、植栽管理、道路施設の保守など計画的に執行します。			
	そ の 他	道路冠水や路面凍結などに対して、通行止め規制などの適切な対応を図り、事故を未然に防止し、利用者の安全確保に努めます。			
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名 4-1 社会基盤の保全・整備	
	めざす姿	道路施設等の適切な管理により市民の快適な住環境を保全しています。			
根拠法令等	道路法				
事業の 詳細説明	<p>市道の安全で快適な利用環境を保全するため、日常的なパトロール及び補修作業、植栽管理、舗装修繕、道路反射鏡などの交通安全施設の設置、修繕等を実施し、適切な維持管理を行っています。</p> <p>1 事業概要 (単位:千円)</p>				
	委託料	136,585			
	舗装修繕設計に必要な路盤支持力(FWD)調査				
	補修工事に必要な測量調査				
	側溝清掃業務(汚泥処分含む)				
	パトロール業務、維持補修作業業務				
	植栽管理業務				
	除雪・凍結防止剤散布				
	工事請負費	214,680			
	舗装・区画線・道路反射鏡など維持補修				
	舗装改修工事				
	道路照明灯建替え				
	交通安全施設補修				
	排水施設等の小規模工事				
	旅費	30			
需用費	25,126				
役務費	1,075				
使用料及び賃借料	17,647				
原材料費	6,227				
備品購入費	495				
合 計	401,865				
		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)
事業費 (千円)		296,919	379,665	401,865	△ 22,200
財源内訳	国庫支出金		5,490	10,250	△ 4,760
	県支出金				0
	市債			29,600	△ 29,600
	その他	1,882	1,410	69,815	△ 68,405
	一般財源	295,037	372,765	292,200	80,565
部・課等名	まちづくり部 道路管理課		維持補修係		



写真-1 舗装改修工事(完成状況)

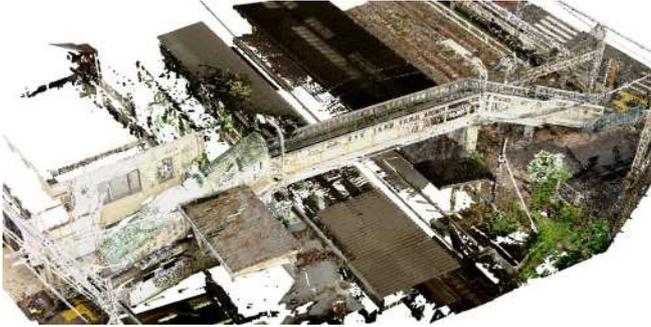


写真-2 路面カラー単価契約

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	社会基盤の保全・整備				
コスト分析	区分	令和3年度(決算額)			令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)		
	事業費計 A	296,919,000			379,665,000		401,865,000		
	人件費計 B	37,305,558			38,554,808		44,824,667		
	内訳	正職員	人数	4.5	4.5		4.5		
			人件費	37,305,558	38,554,808		44,824,667		
	会計年度	人数							
		人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B	334,224,558			418,219,808		446,689,667			
市民1人コスト C/人口	2422			2993		3179			
指標設定	活動指標				成果指標				
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績	
					舗装修繕工事実施路線数	路線	9	9	
	指標化できない成果	舗装の穴埋めや植栽管理などの市民通報に対して、迅速な対応に努めています。大雨時の道路冠水、降雪時の路面凍結に対して、通行止め等の対応を図り、安全確保に努めています。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3	
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3	
	効率性			評価	公平性			評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3	
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3	
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3	
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3	
持続可能性			評価	平均					合計
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3						
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3						
「めざす姿」に対する現在の状況		市道延長は約450kmと膨大であることから、道路損傷の把握など、道路パトロールのほかに市民からの寄せられる情報提供が、管理瑕疵の早期対応に有効となっています。							
判断	現状継続	判断理由内容		市民が最も利用するインフラ施設であり、安心、安全に利用していただくためには、適切な維持管理を継続的に行う必要があるため、現状維持と判断しています。					
課題 問題点	新たに市街地が整備され、施設及び人口の増加や既存施設の老朽化から、さらなる市民要望や維持管理経費の増加が見込まれます。舗装や隧道(大型ボックスカルバート)は、定期的な点検及び修繕計画に基づき工事を実施することで、安全性を確保するとともに、事業費の平準化やライフサイクルコストの軽減に努めます。								
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計			
	5	3	4	3	3	18			
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。生活に直接影響ある道路維持管理で、欠かすことのできない事業と考えます。スマホ市役所による市民等からの通報・連絡も可能にしたとのことですが、情報収集に非常に前向きな態度であり、事業効果の向上に寄与するものと思います。通報等に対する行動など、指標とできる要素はあると思いますので、今後留意いただきたいです。				
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計			
	5	4	4	3	4	20			
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。市民生活に直接影響を及ぼし、市民生活の基盤を確保する基本的な事業です。道路を維持管理するための点検の中で、必要な整備を計画的に実施して、費用の可視化や平準化をして下さい。				
事業に対する コメント	道路は新旧にかかわらず市民全体が必要とするものであり、全体を俯瞰するような維持整備の計画作りが必要と考えます。また、大型車両の交通量の増大、自転車の増加、公共交通手段の整備など、市民生活を取り巻く状況の変化に速やかに対応できるような計画実施をお願いします。								
評価結果を踏まえた 次年度の対応									

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	4 橋りょう維持費	細目	2 橋りょう維持管理経費																
事業名 (細々目)	橋りょう長寿命化対策事業費																							
事業概要	対象	道路利用者																						
	目的	「海老名市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、定期的な点検及び予防保全段階で修繕を行い、安全性を維持するとともに修繕工事の平準化、ライフサイクルコストの軽減を図ります。																						
	手段	「海老名市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、定期的な点検、予防保全段階での修繕工事を実施します。																						
	その他																							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり			政策名	4-1 社会基盤の保全・整備																	
	めざす姿	道路施設等の適切な管理により市民の快適な住環境を保全しています。																						
根拠法令等	道路法																							
事業の 詳細説明	<p>「海老名市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の長寿命化、工事費用の平準化及びライフサイクルコストの削減を図り、適切な維持管理を行っています。</p> <p>1 事業概要 (単位:千円)</p> <table border="1"> <tr> <td>委託料</td> <td>73,100</td> </tr> <tr> <td>長寿命化システム管理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう点検補助業務(JR東海・相模鉄道)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚木駅跨線人道橋補修設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>橋りょう点検(こ線橋5橋)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>48,600</td> </tr> <tr> <td>橋梁補修工事(並木橋・204号橋)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>121,700</td> </tr> </table>								委託料	73,100	長寿命化システム管理		橋りょう点検補助業務(JR東海・相模鉄道)		厚木駅跨線人道橋補修設計		橋りょう点検(こ線橋5橋)		工事請負費	48,600	橋梁補修工事(並木橋・204号橋)		合計	121,700
	委託料	73,100																						
	長寿命化システム管理																							
	橋りょう点検補助業務(JR東海・相模鉄道)																							
	厚木駅跨線人道橋補修設計																							
	橋りょう点検(こ線橋5橋)																							
	工事請負費	48,600																						
	橋梁補修工事(並木橋・204号橋)																							
	合計	121,700																						
																								
<p>図-1 3D測量成果 点群データ(厚木駅跨線人道橋)</p>				<p>写真-1 点検状況(跨線橋_ロープアクセス)</p>																				
				<p>写真-2 橋梁補修状況(並木橋_伸縮装置)</p>																				
区 分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)																			
事業費(千円)		84,444	197,469	121,700	75,769																			
財源内訳	国庫支出金	33,269	61,714	13,636	48,078																			
	県支出金				0																			
	市債	3,600	121,800	16,000	105,800																			
	その他		802		802																			
	一般財源	47,575	13,153	92,064	△ 78,911																			
部・課等名	まちづくり 部		道路管理 課	維持補修 係																				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		84,444,000		197,469,000		121,700,000				
	人件費計 B		2,487,037		2,570,321		2,988,311				
	内訳	正職員	人数	0.3		0.3		0.3			
			人件費	2,487,037		2,570,321		2,988,311			
	会計年度	人数									
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		86,931,037		200,039,321		124,688,311					
市民1人コスト C/人口		630		1432		887					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						点検実施橋りょう数		橋	117	117	
						修繕工事実施橋梁数		橋	2	2	
	指標化できない成果										
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4	3.25	3.5	3	3.25	17	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		定期的な点検及び予防保全段階での修繕工事の実施により、適切な維持管理を行っています。									
判断	現状継続	判断理由内容		市民が最も利用するインフラ施設であり、安心、安全に利用していただくためには、適切な維持管理を継続的に行う必要があるため、現状維持と判断しております。							
課題 問題点	対象橋りょう219橋の定期点検と修繕計画の改定を継続的に行うことから、施設の老朽化による修繕費及び人件費や資材費の高騰等による事業費の増加が見込まれます。計画的に修繕を行い、経費削減に努めると共に、点検時にドローンの活用など新技術の導入等、事業費抑制を研究します。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		4		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 生活に直接影響ある橋梁管理で、欠かすことのできない事業と考えます。 工事発注等にあたり、県の専門機関による設計を活用するなど、効率化を図っており、効率性・持続可能性に大きく寄与しているものと思います。 今後も適切に事業を継続されるよう期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	5		4		4		3		4		20
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 交通網に必須な橋梁を維持管理するのは大切な事業です。計画通り117カ所を点検して、必要な整備をされたことを評価します。基本的なインフラを定期点検し、必要な整備をすることでライフサイクルコストを低減し、施設を効率よく利用できることを期待します。						
事業に対するコメント	利用可能な技術を活用して、積極的な取り組みを期待します。橋の耐用年数、交通量予測に基づいて長寿命化計画を数値化して進捗を管理してください。 また、整備には十分な費用をかけて、安全性の確保と維持コストの平準化をお願いします。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

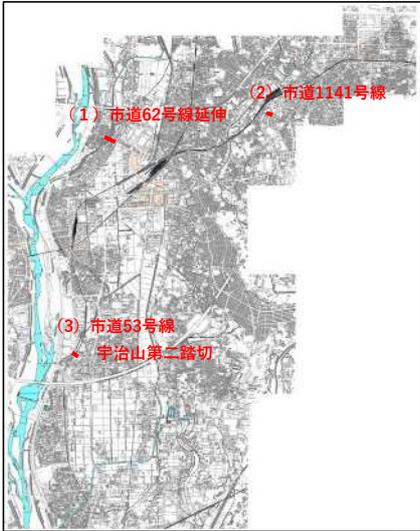
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	2 街路事業費	細目	2 街路維持管理経費
事業名 (細々目)	街路維持管理経費							
事業概要	対象	道路利用者						
	目的	街路及び街路施設の安全確保と快適な利用環境を保全するために適切な維持管理を行います。						
	手段	街路の補修工事、路面清掃、道路照明灯等の維持管理等を行います。 街路樹の適切な維持管理を行います。						
	その他	街路及び街路施設の状況確認のため道路パトロールの充実を図ります。						
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-1 社会基盤の保全・整備			
	めざす姿	道路施設等の適切な管理により市民の快適な住環境を保全しています。						
根拠法令等	道路法							
事業の 詳細説明	<p>市道海老名駅大谷線、市道大谷峰線、市道中新田鍛冶返線、(都)河原口勝瀬線(市道13号線)の4路線の安全性の確保と快適な利用環境を保全するため、道路施設の管理及び補修、改修工事等を行い、適切な維持管理を行っています。</p>							
	1 事業概要	(単位:千円)						 <p>写真-1 路面清掃</p>
	委託料	29,400						
	街路の路面清掃業務							
	道路照明灯の維持管理業務							
	街路樹の維持管理業務							
	街路美化業務 ほか							
	工事請負費	22,171						
	舗装改修工事							
	需用費	1,120						
役務費	222							
合計	52,913							
	<p>健康の保持や生きがいに 働くシルバー達</p>  <p>着手前</p> <p>着手後</p> <p>写真-2 街路美化(シルバー人材センターに業務委託)</p>							
	 <p>写真-3 照明灯清掃状況(隧道内)</p>							
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)				
事業費(千円)	36,616	44,568	52,913	△ 8,345				
財源内訳	国庫支出金				0			
	県支出金				0			
	市債		17,700		17,700			
	その他				0			
	一般財源	36,616	26,868	52,913	△ 26,045			
部・課等名	まちづくり 部		道路管理 課	維持補修 係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		36,616,000		44,568,000		52,913,000			
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037			
	内訳	正職員	人数	1		1		1		
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037		
		会計年度	人数							
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		44,906,124		53,135,735		62,874,037				
市民1人コスト C/人口		325		380		447				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						改修工事計画路線数		路線	2	2
	指標化できない成果		舗装の穴埋めや植栽管理などの市民通報に対して、迅速な対応に努めています。降雪時の路面凍結に対して、除雪や塩カル散布等の対応を図り、安全確保に努めています。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4.5	3.25	3.25	3	3.25	17.25	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		定期的な植栽管理や舗装改修工事の実施により、適切な維持管理を行っています。								
判断	現状継続	判断理由内容		市民が最も利用するインフラ施設であり、安心、安全に利用していただくためには、適切な維持管理を継続的に行う必要があるため、現状維持と判断しております。						
課題 問題点	新たに市街地が整備され、施設及び人口の増加や既存施設の老朽化から、さらなる市民要望や維持管理経費の増加が見込まれます。舗装や隧道(大型ボックスカルバート)は、定期的な点検及び修繕計画に基づき工事を実施することで、安全性を確保するとともに、事業費の平準化やライフサイクルコストの軽減に努めてまいります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	3	4	3	3	18				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。生活や交通安全に直接影響ある業務で、実施が望ましい事業と考えます。スマホ市役所による市民等からの通報・連絡も可能にしたとのことですが、情報収集に非常に前向きな態度であり、事業効果の向上に寄与するものと思います。通報等に対する行動など、指標とできる要素はあると思いますので、今後留意いただきたいです。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	4	4	3	4	20				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。市民生活や交通の安全確保に直接影響する事業です。また、街路の整備は当市のまちの印象にも影響すると考えます。引き続き街路、街路施設の安全確保、利用環境の向上を期待します。					
事業に対する コメント	古くからある狭い街路などは、新しい市街地の造成などで従来の利用形態では安全性が確保できない箇所があります。通行帯の明確化、一方通行などの交通規制なども含めて安全対策の検討を期待します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	2 幹線・準幹線道路整備事業費
事業名 (細々目)	幹線・幹線・準幹線道路新設改良事業費							
事業概要	対象	市道を通行する利用者						
	目的	安全と快適な生活環境の向上のため、市内幹線道路網を計画的に整備し、強固な都市基盤整備を図ります。						
	手段	道路交通マスタープラン等により位置付けられた幹線・準幹線道路について改良工事を実施します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-1 社会基盤の保全・整備			
	めざす姿	道路新設や現道拡幅の整備、緊急車両等の通行が困難な道路の解消、踏切事故減少が図られています。地区幹線道路における交通渋滞の解消及び、市内の円滑な交通環境の提供や歩行者が安全で快適に利用できる歩行空間を提供しています						
根拠法令等	道路法							
事業の 詳細説明	<p>1. 事業概要</p> <p>(1) 市道62号線延伸道路を整備し、供用を開始しました。(令和3~4年度)</p> <p>(2) 市道1141号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和5年度)</p> <p>(3) 市道53号線と宇治山第二踏切の拡幅工事を実施しています。(令和5年度~)</p>							
	 <p>市道62号線延伸道路</p>							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	187,381		161,739		103,818		57,921	
財源内訳	国庫支出金	47,850		76,552				76,552
	県支出金					17,500		△ 17,500
	市債	121,300		71,100		71,360		△ 260
	その他			309				309
	一般財源	18,231		13,778		14,958		△ 1,180
部・課等名	まちづくり部		道路整備課		幹線道路 生活道路		係	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		187,381,000		161,739,000		103,818,000				
	人件費計 B		32,331,484		30,843,846		28,887,007				
	内訳	正職員	人数	3.9		3.6		2.9			
			人件費	32,331,484		30,843,846		28,887,007			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		219,712,484		192,582,846		132,705,007					
市民1人コスト C/人口		1592		1378		944					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	宇治山第二踏切の拡幅延長		m	7	0	対象道路の整備延長 (市道62号線延伸道路ほか2路線)		m		191	
	指標化できない成果										
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	17.25
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4	3.5	3.5	3	3.25		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		対象道路の整備により、市内の円滑な交通環境の提供と歩行者の安全性向上を図っています。									
判断	現状継続	判断理由内容		道路交通マスタープランに位置付けされた道路の整備を継続的に実施することで、交通網が充実し円滑な移動が可能となります。							
課題 問題点	新設道路や道路拡幅整備には地権者等との調整が必要であることから、整備完了までに期間を要します。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		3		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 快適な市民の住環境の確保、商工業の振興の為に道路の新設、既存道路の整備、危険な踏切道の解消に取り組んでいる。幹線道路の慢性的な渋滞や、踏切事故等は市民の日常生活への影響も大きいことから、現状継続と判断します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 快適な市民の住環境の確保、商工業の振興の為に道路の新設、既存道路の整備、安全確保のための事業は重要です。十分な費用をかけても速やかな対応を期待しています。 なお、計画の作成、実施の優先度は市民ニーズを確認して、常に見直しをお願いします。						
事業に対するコメント	道路交通マスタープランは社会情勢の変化や当市の発展に伴い、適宜見直しを図り、基幹インフラである道路網の充実を実施されるように期待します。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

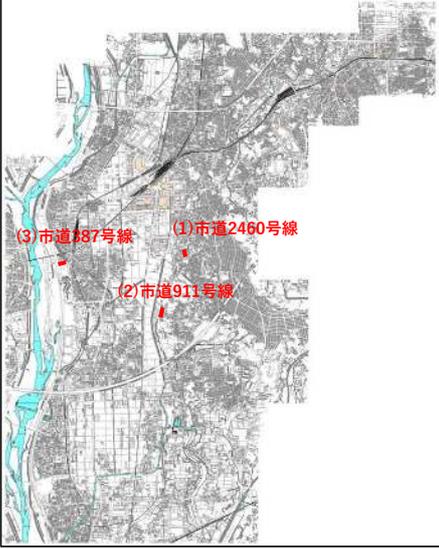
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	2 幹線・準幹線道路整備事業費	
事業名 (細々目)	歩道整備事業費								
事業概要	対象	市道を利用する歩行者							
	目的	歩行者の通行量が多く、安全な歩行導線の確保を要する市道において、歩車道の分離を図ることで、歩行者の安全性と快適な道路空間を確保します。							
	手段	市内各拠点市街地、公共施設周辺などで、歩行者の通行量が多く、安全な歩行動線の確保を要する市道について、道路拡幅により歩道を設置します。							
	その他								
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-1 社会基盤の保全・整備				
	めざす姿	地区幹線道路における交通渋滞の解消及び、市内の円滑な交通環境の提供や歩行者が安全で快適に利用できる歩行空間を提供しています。							
根拠法令等	道路法								
事業の 詳細説明	<p>1. 事業概要</p> <p>(1) 市道249号線・市道274号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和4年度)</p> <p>(2) 市道163号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和5年度)</p> <p>(3) 市道8号線の拡幅および歩道設置事業を実施しています。(令和3年度～)</p> <p>(4) 市道512号線の拡幅および歩道設置事業を実施しています。(令和5年度～)</p>								
									
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費 (千円)		31,830		79,931		75,500		4,431	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	7,865		14,822		7,150		7,672
		県支出金							0
		市債	17,800		51,600		19,600		32,000
		その他					46,580		△ 46,580
	一般財源	6,165		13,509		2,170		11,339	
部・課等名	まちづくり部		道路整備課		幹線道路 生活道路		係		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		31,830,000		79,931,000		75,500,000				
	人件費計 B		32,331,484		30,843,846		28,887,007				
	内訳	正職員	人数	3.9		3.6		2.9			
			人件費	32,331,484		30,843,846		28,887,007			
	会計年度	人数	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		64,161,484		110,774,846		104,387,007					
市民1人コスト C/人口		465		793		743					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						歩道整備延長 (市道8号線ほか3路線)		m		438	
	指標化できない成果										
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4	3.5	3.75	3	3.25	17.5	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		歩道を整備することで、歩行者の安全で快適な歩行空間を提供しています。									
判断	現状継続	判断理由内容		「めざす姿」に直結する事業であるとともに、通学路の安全対策等には引き続き取り組む必要があります。							
課題 問題点	用地協力が伴い地権者等との調整が必要であることから、整備完了までに期間を要します。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		3		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 歩道の確保、維持、整備は、市民生活や通学路の安全確保、交通網の整備に不可欠な事業です。拡幅時の地権者との折衝などは時間や手間がかかるという事情は理解しますが、時間帯による交通規制などあらゆる手段を動員して迅速な対応を期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 歩道の確保、維持、整備は、市民生活や通学路の安全確保、交通網の整備に不可欠な事業です。拡幅時の地権者との折衝などは時間や手間がかかるという事情は理解しますが、時間帯による交通規制などあらゆる手段を動員して迅速な対応を期待します。						
事業に対するコメント	狭い通学路において、歩行者と自転車の共存、横断歩道のペイントなどの日常点検で、安全性の確保ができる部分もあると考えます。また、地権者との折衝も、事業の公共性を考えると、ある程度強制力を用いても迅速な対応をすることが必要かと考えます。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	4 一般生活道路整備事業費
事業名 (細々目)	一般生活道路整備事業費							
事業概要	対 象	道路交通マスタープランに位置付けのない市道を通行する利用者。						
	目 的	市民生活に密着した生活道路の整備を図ることで、住環境の改善と安全性を確保します。						
	手 段	現況道路で排水施設が未設置または、未舗装などの生活道路を整備します。						
	そ の 他							
20 プ ラ ン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-1 社会基盤の保全・整備			
	めざす姿	道路新設や現道拡幅の整備、緊急車両等の通行が困難な道路の解消、踏切事故減少が図られています。						
根拠法令等	道路法							
事業の 詳細説明	<p>1. 事業概要</p> <p>(1) 市道2460号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和3年度)</p> <p>(2) 市道911号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和4～5年度)</p> <p>(3) 市道387号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和5年度)</p>							
								
区 分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費 (千円)		13,214		12,634		87,500		△ 74,866
財源内訳	国庫支出金			700		550		150
	県支出金							0
	市債			9,800		54,400		△ 44,600
	その他							0
	一般財源	13,214		2,134		32,550		△ 30,416
部・課等名	まちづくり部		道路整備課		生活道路係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分	令和3年度(決算額)			令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計	A	13,214,000		12,634,000		87,500,000			
	人件費計	B	13,264,198		12,851,603		9,961,037			
	内訳	正職員	人数	1.6		1.5		1.0		
			人件費	13,264,198		12,851,603		9,961,037		
	会計年度	人数	0		0		0			
		人件費	0		0		0			
総コスト	C=A+B	26,478,198		25,485,603		97,461,037				
市民1人コスト	C/人口	192		182		694				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
					生活道路の整備延長 (市道2460号線ほか2路線)	m		205		
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4	3.5	3.5	3.25	3.25	17.5
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		狭い道路を整備することで、緊急車両の通行が困難な道路が解消されています。								
判断	現状継続	判断理由内容		市民生活に密着した事業であり、市政アンケートでも多くの市民が生活道路の整備を望んでいることから、事業を継続していく必要があります。						
課題 問題点	自治会等からの要望に対し柔軟な対応が求められます。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	4	3	3	18				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 日常生活に密着した生活道路の整備は、市民の交通環境を考える上で欠かせない事業と考えます。また、防災や防犯上も有益であると考えられます。このことから現状継続と判断します。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	3	3	3	16				
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 市民の日常生活に密着した事業で、防災、防犯にも必要であることから実施すべき事業と判断します。各地域で要望があった場合の優先度の付け方については、公平性が説明できるようにお願いします。					
事業に対する コメント	給排水設備の埋設など、市街地整備の一環として必要な事業と考えます。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	9 道路用地購入事業費																														
事業名 (細々目)	道路用地購入事業費																																					
事業概要	対象	道路整備計画等により決定された、計画範囲内の民有地及び物件																																				
	目的	交通の円滑化や歩行者の安全確保を目的に実施する、拡幅整備に必要な用地を確保します。																																				
	手段	道路整備計画等により決定された、計画範囲内の民有地及び物件を地権者(所有者)との交渉により、金銭等により補償し取得します。																																				
	その他																																					
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-1 社会基盤の保全・整備																																
	めざす姿	道路新設や現道拡幅の整備、緊急車両等の通行が困難な道路の解消、踏切事故減少が図られています。地区幹線道路における交通渋滞の解消及び、市内の円滑な交通循環の提供や歩行者が安全で快適に利用できる歩行空間を提供しています。																																				
根拠法令等	収用法、租税特別措置法、海老名市市道路交通マスタープラン																																					
事業の 詳細説明	1 事業の概要 道路整備計画に基づく拡幅整備に必要な土地の買収及び物件の補償を行います。道路整備計画の立案及び買収後の整備にあつては道路整備課、用地買収及び物件補償にあつては用地課が行います。																																					
	2 事業の実績(令和5年度)																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>路線名</th> <th>買収面積</th> <th>土地代金</th> <th>物件補償費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩道</td> <td>市道2号線</td> <td>81.91 m²</td> <td>13,760,880 円</td> <td>11,444,511 円</td> </tr> <tr> <td>歩道</td> <td>市道8号線</td> <td>30.06 m²</td> <td>2,218,428 円</td> <td>44,243,187 円</td> </tr> <tr> <td>西口</td> <td>市道59号線</td> <td>1030.57 m²</td> <td>84,487,665 円</td> <td>649,872 円</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>市道836号線</td> <td>16.51 m²</td> <td>1,964,690 円</td> <td>6,125,569 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1159.05 m²</td> <td>102,431,663 円</td> <td>62,463,139 円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	路線名	買収面積	土地代金	物件補償費	歩道	市道2号線	81.91 m ²	13,760,880 円	11,444,511 円	歩道	市道8号線	30.06 m ²	2,218,428 円	44,243,187 円	西口	市道59号線	1030.57 m ²	84,487,665 円	649,872 円	一般	市道836号線	16.51 m ²	1,964,690 円	6,125,569 円	合計		1159.05 m ²	102,431,663 円	62,463,139 円
	区分	路線名	買収面積	土地代金	物件補償費																																	
歩道	市道2号線	81.91 m ²	13,760,880 円	11,444,511 円																																		
歩道	市道8号線	30.06 m ²	2,218,428 円	44,243,187 円																																		
西口	市道59号線	1030.57 m ²	84,487,665 円	649,872 円																																		
一般	市道836号線	16.51 m ²	1,964,690 円	6,125,569 円																																		
合計		1159.05 m ²	102,431,663 円	62,463,139 円																																		
<p>※その他事業費(委託料等)</p> <p>3 道路拡幅整備事業の流れと当該事業の役割</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>1年目</p> <p>計画立案、測量</p> <p>道路整備課</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2年目</p> <p>用地買収</p> <p>用地課</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>3年目</p> <p>整備工事</p> <p>道路整備課</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>▲拡幅整備事業の一例</p> </div>																																						
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																														
事業費(千円)		98,207		235,963		220,121		15,842																														
財源内訳	国庫支出金	5,818		13,750		2,837		10,913																														
	県支出金							0																														
	市債	63,800		165,700		174,800		△ 9,100																														
	その他							0																														
	一般財源	28,589		56,513		42,484		14,029																														
部・課等名	まちづくり部		用地課		用地係																																	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		98,207,331		235,962,553		220,121,000			
	人件費計 B		20,068,916		20,740,659		24,089,687			
	内訳	正職員	人数	2.4		2.4		2.4		
			人件費	19,896,298		20,562,564		23,906,489		
		会計年度	人数	0.1		0.1		0.1		
			人件費	172,619		178,095		183,198		
総コスト C=A+B		118,276,247		256,703,212		244,210,687				
市民1人コスト C/人口		857		1837		1738				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	買収面積		m ²	1159.05	1159.05					
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	4	3.5	4	3.25		3
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3						
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		「えびな未来創造プラン2020」に関連付けされている「海老名市道路交通マスタープラン」に基づく道路計画の推進が図られています。								
判断	現状継続	判断理由内容	用地買収は、道路の拡幅整備を進める上で、必要不可欠な要素です。引き続き道路整備と連携して行っていきます。							
課題 問題点	平成25年以降の地価の上昇に伴い、事業費も増加傾向にあります。また、難航する地権者との合意が図れるタイミングは様々であり、予算化のタイミング及びスピード感が求められると考えます。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	4	3	3	18				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 道路用地の取得にあたっては、権利者はもとより、地域の住民にも理解をいただく必要があり、計画どおりの進捗が難しい場合もあるかと思いますが、着実に実績をあげています。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	3	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 道路整備計画には不可欠な事業です。情勢の変化による費用の増加や、地権者及び地域住民の理解を得るなど、様々な困難がある中で着実に実績を上げています。今後もスピード感を大切に計画の実現を期待します。						
事業に対する コメント	道路整備事業はインフラ整備の根幹の事業だと考えます。計画の必要性や妥当性を地権者や地域住民の方々に周知徹底して理解を求め、計画のなるべく早い実現を期待します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

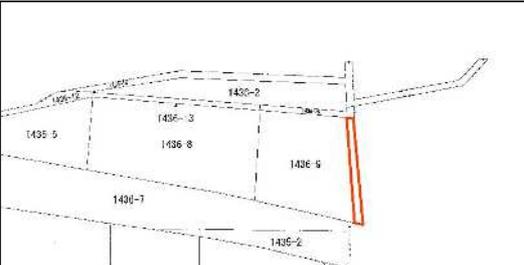
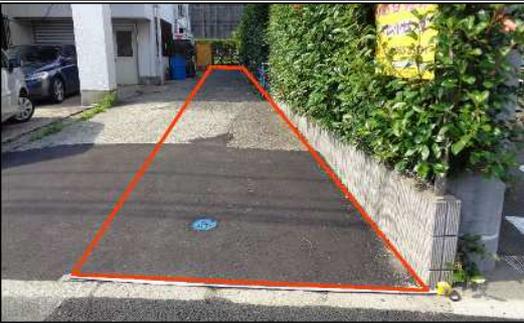
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	9 道路用地購入事業費															
事業名 (細々目)	狭あい道路用地等購入事業費																						
事業概要	対象	建築基準法第42条第2項に規定する道路中心線から2メートルの後退用地																					
	目的	災害時の避難路の確保など防災上の課題及び日照や通風などの衛生上の課題を解消します。																					
	手段	対象土地の所有者からの買取申請に基づき、審査を行い、土地の買収を行います。																					
	その他																						
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-1 社会基盤の保全・整備																		
	めざす姿	道路新設や現道拡幅の整備、緊急車両等の通行が困難な道路の解消、踏切事故減少が図られています。																					
根拠法令等	建築基準法、海老名市狭あい道路後退用地取扱基準、海老名市道路事業用地の取得に伴う損失補償基準など																						
事業の 詳細説明	1 事業の概要 狭あい道路とは、幅員4メートル未満の道路で、沿道建築物の更新時に道路中心線から2メートルのセットバックをすることで所定の幅員を確保するものとされています。狭あい道路及びその周辺においては、災害時の避難路等としての防災上の課題、当該道路に面した建築物が得られる日照や通風等の衛生上の課題等が発生しうるため、土地所有者からの買取申請に基づき、買収を行うことで狭あい道路の解消に努めています。																						
	2 事業の実績 買収実績は下表のとおりですが、買収に当たっては、記載した金額以外に、分筆登記等に係る委託費などが発生しています。																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>買収面積</th> <th>買収額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>13 件</td> <td>267.09 m²</td> <td>12,976,456 円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>6 件</td> <td>102.22 m²</td> <td>5,820,690 円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>16 件</td> <td>214.97 m²</td> <td>9,347,638 円</td> </tr> </tbody> </table>				年度	件数	買収面積	買収額	令和3年度	13 件	267.09 m ²	12,976,456 円	令和4年度	6 件	102.22 m ²	5,820,690 円	令和5年度	16 件	214.97 m ²	9,347,638 円	<p>▲狭あい道路の現況(出典:国土交通省HP) ※赤枠は買収範囲</p>		
年度	件数	買収面積	買収額																				
令和3年度	13 件	267.09 m ²	12,976,456 円																				
令和4年度	6 件	102.22 m ²	5,820,690 円																				
令和5年度	16 件	214.97 m ²	9,347,638 円																				
3 買収単価 1平方メートル当たり、固定資産税路線価の2分の1 なお、隅切りにあつては、その2倍以内																							
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)															
事業費(千円)		16,293		6,550		12,236		△ 5,686															
財源内訳	特定財源	国庫支出金	6,208		2,500		2,450		50														
		県支出金	0		0		0		0														
		市債	0		0		0		0														
		その他	0		0		0		0														
	一般財源	10,085		4,050		9,786		△ 5,736															
部・課等名	まちづくり部		用地課		用地係																		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		16,293,048		6,550,487		12,236,000			
	人件費計 B		6,320,943		6,531,699		7,522,319			
	内訳	正職員	人数	0.7		0.7		0.7		
			人件費	5,803,087		5,997,415		6,972,726		
		会計年度	人数	0.3		0.3		0.3		
			人件費	517,856		534,284		549,593		
総コスト C=A+B		22,613,991		13,082,186		19,758,319				
市民1人コスト C/人口		164		94		141				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	-		-	-	-	-		-	-	-
	-		-	-	-	-		-	-	-
	-		-	-	-	-		-	-	-
指標化できない成果		対象となる建築基準法第42条第2項の定める道路の指定は、神奈川県が行うことから、正確な延長は把握できていませんが、買収を続けることで、確実に狭あい道路の解消は図られています。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	3	3.5	3.75	3	3.25	16.5
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3						
	<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3						
「めざす姿」に対する現在の状況		買収後、道路区域に編入することで私権を制限できることから一定の成果については認識しており、目標の実現に寄与していると考えています。								
判断	見直し継続	判断理由内容		買取り価格については、他自治体等の動向を調査し、適正な価格設定を行っていきたくと考えています。						
課題 問題点	買取り価格の妥当性について、調査・研究します。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	3		4		4		3		3	17
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。防災上の課題や日照や通風等の衛生上の課題等の解決に向けて評価できるものと思います。所有者からの買収申し出を前提としており、単価設定等の適正化は必要と思われるので、調査研究を進めて下さい。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	3		3		3		3		4	16
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。狭あい道路の解消は、めざす姿の道路整備事業の一部です。買取り価格の見直しは、実施時の当然の見直しです。買収を進める方策についても見直しを図るべきだと考えますので検討をお願いします。					
事業に対するコメント	私権を一部制限しますが、道路整備には必要な事業と考えます。買取り価格の設定や、買収を促進する方策を調査研究して、事業の推進を期待します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	1 道路橋りょう総務費	細目	13 道路用地管理事業費
事業名 (細々目)	道路用地管理事業費							
事業概要	対象	市有不動産のうち、機能を有していない道路又は水路用地						
	目的	機能を有していない道路水路用地の払下げ又は交換を行うことで、市有不動産の適切な維持管理を実施します。						
	手段	隣接地権者等からの申出に対し、対象地の払下げ又は交換を行います。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり			政策名	4-1 社会基盤の保全・整備	
	めざす姿	道路施設等の適正な管理により市民の快適な住環境を保全しています。						
根拠法令等	道路法、海老名市公有財産売払い等に関する事務取扱要綱							
事業の 詳細説明	1 事業の概要 道路や水路などの行政財産が、長年の土地利用の変化などにより機能を喪失していると判断できる場合は、用途を廃止し、隣接地権者に対して払下げ等を行っています。							
	2 事業の実績				 			
		年度	件数	払下げ面積				
	令和3年度	4 件	487.57 m ²	80,890,049 円				
	令和4年度	7 件	971.02 m ²	70,572,239 円				
	令和5年度	7 件	227.15 m ²	12,710,278 円				
3 費用負担の区分								
		内容	費用負担者					
	1	表題登記	申請者					
	2	不動産鑑定評価	市					
	3	権利登記	申請者					
▲払下げ対象地の一例(公図(上)と現地写真(下))								
区分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)			
事業費(千円)		586	1,123	1,290	△ 167			
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0		
		県支出金	0	0	0	0		
		市債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
	一般財源	586	1,123	1,290	△ 167			
部・課等名	まちづくり部		用地課	用地係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		586,100		1,122,900		1,290,000			
	人件費計 B		6,148,324		6,353,604		7,339,121			
	内訳	正職員	人数	0.7		0.7		0.7		
			人件費	5,803,087		5,997,415		6,972,726		
		会計年度	人数	0.2		0.2		0.2		
			人件費	345,237		356,189		366,395		
総コスト C=A+B		6,734,424		7,476,504		8,629,121				
市民1人コスト C/人口		49		54		61				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
指標化できない成果		①令和5年度は、当該事業の執行により、歳入予算額以上の収入を得ています。 ②固定資産税の収入増加に寄与しています。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3.25	3.5	3.5	4.25	3	17.5	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		隣接地権者の申出に基づくものですが、私下げ等を行うことにより適切な維持管理を実現するとともに、固定資産税などの歳入の増加など、好循環を生んでいます。								
判断	現状継続	判断理由内容	支出を大きく上回る収入を得ており、また、維持管理の観点からも、機能を喪失した市有不動産の私下げは有効と考えています。							
課題問題点	有益な成果が望めるが、計画的に実施するには、予算及び人的な制約があります。また、対象の総数を把握するためには、測量、登記費用など莫大な予算を要します。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	3	4	4	4	3	18				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 機能を喪失している市有地を払い下げることが、適正な維持管理に繋がり、市の税収にも寄与することなど有益な事業と考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	4	4	4	20				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 機能を喪失した市の所有地を払い下げることが、市有地の維持管理費用を節約して、収入を得る有益な事業と考えます。						
事業に対するコメント	有益な事業と考えます。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	1 総務費	項	1 総務管理費	目	12 環境保全費	細目	3 公害対策事業費																														
事業名 (細々目)	合併処理浄化槽整備助成事業費																																					
事業概要	対象	下水道整備予定区域外の市民																																				
	目的	市街化調整区域のうち、相当の期間公共下水道の整備が見込まれない区域において、単独処理浄化槽または汲み取り式便槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の向上並びに雨水流出抑制を図ります。																																				
	手段	事業の目的、制度の周知を図り、対象となる市民へ合併処理浄化槽設置費の助成を行います。																																				
	その他	令和5年4月から、従来の補助に加えて、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換時に生じる撤去費と不用となる浄化槽を雨水貯留槽として再利用する場合の補助項目を拡充しました。																																				
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-1 社会基盤の保全・整備																																
	めざす姿	公共下水道の着実な整備により、河川等の公共用水域の水質保全が図られています。																																				
根拠法令等	海老名市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、神奈川県浄化槽整備事業補助金交付要綱、循環型社会形成推進交付金交付要綱																																					
<p>1 事業の概要</p> <p>市街化調整区域のうち、相当の期間公共下水道の整備が見込まれない区域において、単独処理浄化槽または汲み取り式便槽から合併処理浄化槽への転換を促進し、公共用水域の水質汚濁防止、生活環境の向上並びに雨水流出抑制を図ります。</p> <p>【補助額】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>設置に係る補助額</th> <th>宅内配管工事に係る補助額</th> <th>撤去に係る補助額</th> <th>雨水貯留槽への再利用に係る補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独処理浄化槽からの転換</td> <td>5人槽 332,000円 6人槽及び7人槽 414,000円</td> <td rowspan="2">300,000円</td> <td>120,000円</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>くみ取り便槽からの転換</td> <td>8人槽から10人槽まで 548,000円</td> <td>90,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※国、県、市 約1/3ずつ負担</p> <p>2 補助実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>5人槽</td> <td>2基</td> <td>664,000円</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>5人槽</td> <td>1基</td> <td>332,000円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>6～7人槽</td> <td>1基</td> <td>414,000円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度以降</td> <td colspan="3">実績なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>【浄化槽イメージ図】</p> <p>(上:合併処理浄化槽 ⇒ し尿と生活排水を浄化) (下:単独処理浄化槽 ⇒ し尿は浄化、生活排水はそのまま放流)</p>										設置に係る補助額	宅内配管工事に係る補助額	撤去に係る補助額	雨水貯留槽への再利用に係る補助額	単独処理浄化槽からの転換	5人槽 332,000円 6人槽及び7人槽 414,000円	300,000円	120,000円	90,000円	くみ取り便槽からの転換	8人槽から10人槽まで 548,000円	90,000円		平成28年度	5人槽	2基	664,000円	平成29年度	5人槽	1基	332,000円	平成30年度	6～7人槽	1基	414,000円	令和元年度以降	実績なし		
	設置に係る補助額	宅内配管工事に係る補助額	撤去に係る補助額	雨水貯留槽への再利用に係る補助額																																		
単独処理浄化槽からの転換	5人槽 332,000円 6人槽及び7人槽 414,000円	300,000円	120,000円	90,000円																																		
くみ取り便槽からの転換	8人槽から10人槽まで 548,000円		90,000円																																			
平成28年度	5人槽	2基	664,000円																																			
平成29年度	5人槽	1基	332,000円																																			
平成30年度	6～7人槽	1基	414,000円																																			
令和元年度以降	実績なし																																					
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																															
事業費 (千円)	16		16		856		△ 840																															
財源内訳	国庫支出金					278		△ 278																														
	県支出金					278		△ 278																														
	市債							0																														
	その他							0																														
	一般財源	16		16		300		△ 284																														
部・課等名	まちづくり部		下水道課		業務係																																	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		16,000		16,000		856,000				
	人件費計 B		663,210		685,419		796,883				
	内訳	正職員	人数	0.08		0.08		0.08			
			人件費	663,210		685,419		796,883			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		679,210		701,419		1,652,883					
市民1人コスト C/人口		5		5		12					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	制度周知(HP掲載)		回	1	1	相談問い合わせ		件		3	
						申請		件	1	0	
指標化できない成果											
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			3		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		3	3	3	3	3.25	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		対象者が申請するタイミングの把握が難しい状況です。									
判断	現状継続	判断理由内容		下水道整備(予定含む)区域と当面の間、下水道の整備予定がない区域との生活環境において、均衡を図る必要があり、また、水源環境保全の面からも欠くことのできない事業であるためです。							
課題 問題点	対象者が極めて限定的なため、補助実績に表れにくいことが課題と考えます。										
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計					
	3	3	3	3	3	15					
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 下水道整備区域外においては、自然環境の保全、河川水質の汚濁防止を図るためには、生活排水対策として合併浄化槽の設置を推進することが不可欠である。このため、引き続き補助制度を対象者にしっかりと周知する事が必要と思われる。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計					
	3	3	3	3	3	15					
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 公共用水域の水質汚濁防止や生活環境の向上、雨水流出の防止などに必要な事業と考えます。公共下水道の整備を期待します。						
事業に対するコメント	市街地の開発については、道路や公共上下水道などの基本的なインフラの整備状況を勘案して進めて下さい。新設の施設に投資するだけでなく、既存の市街地の整備とのバランスが必要かと考えます。また、インフラはなるべく拡散しない範囲で効率よく整備することも必要かと考えます。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	9 都市排水路費	細目	2 都市排水路維持管理経費																	
事業名 (細々目)	都市排水路維持管理経費																								
事業概要	対象	市民																							
	目的	排水路や水路用地の適切な管理を行い、浸水防止と良好な環境の維持を図ります。																							
	手段	排水路に堆積している土砂の除去及び草刈等により維持管理を行いました。																							
	その他																								
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-1 社会基盤の保全・整備																			
	めざす姿	公共下水道施設の適正な維持管理を行い、将来的にも持続可能な施設となっています。																							
根拠法令等	下水道法、下水道総合計画、雨水管理総合計画																								
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要</p> <p>排水路の維持管理を行うことで、水の流れを良くし、浸水防止と良好な環境の維持管理を図りました。主な取り組みとしては、水路内に堆積した土砂の撤去、水路用地の樹木伐採や除草、通年で排水路等のパトロール業務を行い必要に応じて清掃等を行いました。公共水域へのオイル流出に対応するため、オイルの吸着マット等の緊急資材の購入を行いました。</p>																								
	<p>2 事業の実績</p> <p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水路内の土砂撤去</td> <td>水路内等に堆積する土砂の除去を行い、浸水防止を行いました。</td> <td>1,935,835</td> </tr> <tr> <td>樹木伐採・除草等</td> <td>水路内や水路用地の樹木伐採、除草等を行いました。</td> <td>5,497,800</td> </tr> <tr> <td>排水路等パトロール業務</td> <td>水路用地の巡視を行い、軽微な修繕等の作業を行い、良好な環境維持を図りました。</td> <td>825,583</td> </tr> <tr> <td>油流出対策物品購入</td> <td>水路へオイルが流出した際の緊急対応物品の購入を行いました。</td> <td>17,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8,276,818</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>水路用地除草状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パトロール業務による清掃</p> </div> </div>								事業名	事業内容	事業費	水路内の土砂撤去	水路内等に堆積する土砂の除去を行い、浸水防止を行いました。	1,935,835	樹木伐採・除草等	水路内や水路用地の樹木伐採、除草等を行いました。	5,497,800	排水路等パトロール業務	水路用地の巡視を行い、軽微な修繕等の作業を行い、良好な環境維持を図りました。	825,583	油流出対策物品購入	水路へオイルが流出した際の緊急対応物品の購入を行いました。	17,600		
事業名	事業内容	事業費																							
水路内の土砂撤去	水路内等に堆積する土砂の除去を行い、浸水防止を行いました。	1,935,835																							
樹木伐採・除草等	水路内や水路用地の樹木伐採、除草等を行いました。	5,497,800																							
排水路等パトロール業務	水路用地の巡視を行い、軽微な修繕等の作業を行い、良好な環境維持を図りました。	825,583																							
油流出対策物品購入	水路へオイルが流出した際の緊急対応物品の購入を行いました。	17,600																							
		8,276,818																							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																		
事業費 (千円)	4,917		12,554		9,030		3,524																		
財源内訳	特定財源	国庫支出金			3,000		3,000																		
		県支出金					0																		
		市債					0																		
		その他					0																		
	一般財源	4,917		9,554		9,030		524																	
部・課等名	まちづくり部		下水道課		管路施設係																				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		社会基盤の保全・整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		4,916,982		12,554,289		9,030,000			
	人件費計 B		4,974,074		5,140,641		5,976,622			
	内訳	正職員	人数	0.6		0.6		0.6		
			人件費	4,974,074		5,140,641		5,976,622		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		9,891,056		17,694,930		15,006,622				
市民1人コスト C/人口		72		127		107				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	草刈委託箇所		箇所	42	42	草刈面積		m ²	8,310	8,310
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			4		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4	4.75	3.75	3.25	3.5	19.25
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			5							
「めざす姿」に対する現在の状況		公共下水道施設の適切な維持管理を行っています。								
判断	現状継続	判断理由内容	水路用地等の適切な維持管理を行うためです。							
課題 問題点	草刈り等の市民要望は年々増加傾向にあり、今後も人件費等の高騰により維持費が上昇することが想定されます。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	4	3	3	18				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 排水路機能を維持管理し、安心・安全な生活を送れるよう、定期的な水路の清掃・除草作業は重要と考えます。定期的なバトロールや除草作業の継続は必要と考えます。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	5	5	4	4	4	22				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 排水路の適切な管理のための必要な事業を計画通り実施していると判断します。また、市民のニーズにも適宜対応されているので、今後も環境整備を含めて充実した事業実施を期待します。						
事業に対する コメント	目立ちにくい事業ですが、環境の激変による影響で、排水対策は当市にとって大切な事業です。また、排水路の環境整備は、美観を維持する為にも積極的に対応すべきかと考えます。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	4	まちづくり						
	政策	4-2	住みよいまちづくりの推進						
	方向性	快適で住みやすいまちになって、さらに人が集まり、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① 海老名駅北口周辺まちづくりについては、地元のまちづくり団体が組織化され、市民協働のまちづくりが進められています。</p> <p>② 海老名駅の東西が一体となった新たなにぎわいのある空間創出、生活環境の改善が図られる具体的な取り組みが動き出しています。</p> <p>③ 人口減少社会に備えた取り組みとして、まちの魅力や利便性の向上を図るための拠点整備や誰もが利用しやすい地域公共交通の確保維持等の身近な環境整備が進められています。</p> <p>④ 景観形成に係る意識が向上し、市民、事業者、行政との一体的な取り組みが進み、市民協働での良好な景観形成が図られています。</p> <p>⑤ 利用者が安全・安心して利用できる駐輪場となっています。</p> <p>⑥ 放置自転車等がなく、通行障害のない快適で安全な都市空間となっています。</p> <p>⑦ 空き家等は個人の財産であることから、所有者・管理者の責任を明確にし、管理が不十分な不動産においては、適正な管理が図られています。</p> <p>⑧ 駅前広場等の都市基盤整備や商業の活性化等、良好な住環境が整備されています。</p> <p>⑨ 交通結節点である海老名駅の駅利用者の混雑緩和、利便性の向上を図ることで、まちのにぎわい創出に寄与する駅前空間が実現しています。</p> <p>⑩ 相模鉄道海老名駅の改良整備により、駅周辺の回遊性が一段と向上し、便利で快適な環境と活気に溢れた駅前となっています。</p> <p>⑪ 既存市街地と調和のとれた良好な環境が創出されています。</p> <p>⑫ 駅間開発等により居住者及び来街者が増加し、にぎわいと活気、笑顔のあふれるまちとなっています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	コミュニティバス運行事業費	内部	見直し継続	5	4	4	3	4
			外部	見直し継続	4	4	4	3	4
	2	公共交通対策推進事業費	内部	現状継続	4	4	3	3	3
			外部	現状継続	4	4	3	3	3
	3	駅前施設整備調査等事業費	内部	現状継続	5	3	3	3	3
			外部	現状継続	4	3	3	3	3
	4	海老名駅東口周辺整備事業費	内部	現状継続	4	3	3	3	4
			外部	現状継続	4	3	3	3	3
	5	中新田丸田地区土地区画整理事業推進費	内部	現状継続	4	3	4	3	3
			外部	現状継続	4	3	4	3	3
	6	放置自転車対策事業費	内部	現状継続	4	3	4	4	3
			外部	見直し継続	4	4	3	4	3
	7	美化推進・放置自転車等防止巡回推進事業費	内部	見直し拡大	4	3	3	3	3
			外部	現状継続	4	3	3	3	3
	8	地下駐車場改修事業費	内部	現状継続	5	4	5	4	4
			外部	現状継続	4	4	4	4	4
	9	空き家等対策事業費	内部	見直し拡大	4	4	4	3	4
外部			見直し拡大	4	4	4	3	4	

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価 A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価 A
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
	内部評価コメント	住みよいまちづくりを推進するために、十分な事業が配置されていると判断できます。
外部評価コメント	えびな未来創造プラン2020に掲げる本政策のめざす姿を達成するために必要な事業が配置されていると判断します。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価 A
	A 順調である	外部評価 A
	B やや遅延している	
	C 著しく遅延している	
	内部評価コメント	政策はおおむね順調に推進されています。事業の推進にあたっての課題等については、適宜見直しや工夫も必要と考えます。
外部評価コメント	政策はおおむね順調に推進されていると判断します。社会情勢や市民ニーズを的確に捉え、必要な見直しをしつつ、各事業を進捗管理する必要があると考えます。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価 A
	A 必要性が高い	外部評価 A
	B どちらとも言えない	
	C 必要性が低い	
	内部評価コメント	当該政策を構成する事業は、いずれも市民ニーズ・社会需要等が高い事業であると判断します。
外部評価コメント	当該政策を構成する事業は、いずれも市民ニーズ・社会需要等が高いと判断しますが、海老名駅周辺だけでなく、市内各地の均衡ある発展が必要と考えます。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価 B
	A 最優先に実施すべきである	外部評価 B
	B 優先的に実施した方が望ましい	
	C 優先的に実施する必要は低い	
	内部評価コメント	当該政策は市民や来街者の便利で快適な環境を確保するものであり、長期的な視点も必要になってくることから、優先的に実施した方が望ましいと考えます。
外部評価コメント	住みよいまちづくりを推進するために、当該政策は優先的に実施することが望ましいと判断します。	

政策評価

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	12 都市政策事業費																	
事業名 (細々目)	コミュニティバス運行事業費																								
事業概要	対象	鉄道駅やバス停がない地域(国分地域、上今泉地域、大谷・杉久保地域)の市民																							
	目的	既存の公共交通では対応しきれない地域への移動支援を行います。																							
	手段	コミュニティバスを運行しました。																							
	その他	きめ細やかな移動支援の構築に向け、コミュニティバスと高齢者・障がい者の外出支援として運行しているぬくもり号を再編し、愛称「You Bus」(ユーブス)として、段階的な統合を行っています。																							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進																			
	めざす姿	人口減少社会に備えた取り組みとして、まちの魅力や利便性の向上を図るための拠点整備や誰もが利用しやすい地域公共交通の確保維持等の身近な環境整備が進められています。																							
根拠法令等	道路運送法、海老名市コミュニティバス運行要綱																								
事業の 詳細説明	<p>1 事業の概要</p> <p>(1) コミュニティバスの運行 事業費:52,953,000円(運行経費に係る負担金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海老名駅を起点に、市内3ルート(国分ルート、上今泉ルート、大谷・杉久保ルート)を運行しました。 ○ 1日57便(365日同一ダイヤ)毎日運行しました。 ○ 運賃:一律150円(令和5年10月から200円に運賃改定) ○ 運行事業者:相鉄バス株式会社 <p>(2) 車両の更新 事業費:6,726,000円(車両更新に係る負担金)</p> <p>経年による老朽化と車両への損傷が目立ち、安全運行への支障の恐れがあることから、車両の更新を行いました。</p>																								
	<p>2 事業の実績</p> <p>(1) コミュニティバスの運行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ルート</th> <th>延べ利用人数</th> <th>運賃収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国分ルート</td> <td>約88,000人</td> <td>約1,250万円</td> </tr> <tr> <td>上今泉ルート</td> <td>約97,000人</td> <td>約1,410万円</td> </tr> <tr> <td>大谷・杉久保ルート</td> <td>約90,000人</td> <td>約1,420万円</td> </tr> </tbody> </table>								ルート	延べ利用人数	運賃収入	国分ルート	約88,000人	約1,250万円	上今泉ルート	約97,000人	約1,410万円	大谷・杉久保ルート	約90,000人	約1,420万円					
	ルート	延べ利用人数	運賃収入																						
	国分ルート	約88,000人	約1,250万円																						
上今泉ルート	約97,000人	約1,410万円																							
大谷・杉久保ルート	約90,000人	約1,420万円																							
<p>(2) 車両の更新</p> <p>更新した車両は、新システム(運転手及び乗客双方の安全確保をより強化したもの)、が搭載されたほかに、車外ラッピングを行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>車種</th> <th>日野自動車 ポンチョ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗車定員</td> <td>29人 [座席10+立席18+乗務員1]</td> </tr> <tr> <td>車両価格、諸費用等</td> <td>6,726,000円※令和5年度分</td> </tr> </tbody> </table>								車種	日野自動車 ポンチョ	乗車定員	29人 [座席10+立席18+乗務員1]	車両価格、諸費用等	6,726,000円※令和5年度分												
車種	日野自動車 ポンチョ																								
乗車定員	29人 [座席10+立席18+乗務員1]																								
車両価格、諸費用等	6,726,000円※令和5年度分																								
<p>(3) 運賃の改定及び「ぬくもり乗車証」の交付(令和5年10月1日から)</p> <p>昨今の運行経費の上昇などを要因とした運賃改定を行った一方で、福祉的な観点から高齢者等への負担軽減を図るため、市内在住の高齢者・障がい者に運賃の割引が適用される「ぬくもり乗車証」を交付することとしました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用区分</th> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大人(中学生以上)</td> <td>150円</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>ぬくもり乗車証を提示する者</td> <td>新設</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>小児(小学生)</td> <td>80円</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>幼児(1歳以上小学校未就学前)</td> <td>80円</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>乳児(1歳未満)</td> <td>無料</td> <td>無料</td> </tr> </tbody> </table>								利用区分	改定前	改定後	大人(中学生以上)	150円	200円	ぬくもり乗車証を提示する者	新設	100円	小児(小学生)	80円	100円	幼児(1歳以上小学校未就学前)	80円	100円	乳児(1歳未満)	無料	無料
利用区分	改定前	改定後																							
大人(中学生以上)	150円	200円																							
ぬくもり乗車証を提示する者	新設	100円																							
小児(小学生)	80円	100円																							
幼児(1歳以上小学校未就学前)	80円	100円																							
乳児(1歳未満)	無料	無料																							
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																		
事業費(千円)	54,839		53,301		60,012		△ 6,711																		
財源内訳	国庫支出金							0																	
	県支出金							0																	
	市債							0																	
	その他	2,759		2,687		3,150		△ 463																	
	一般財源	52,080		50,614		56,862		△ 6,248																	
部・課等名	まちづくり部		都市計画課		交通政策係																				



コミュニティバス



新システム

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住みよいまちづくりの推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		54,839,000		53,301,000		60,012,000				
	人件費計 B		8,290,124		8,567,735		9,961,037				
	内訳	正職員	人数	1		1		1			
			人件費	8,290,124		8,567,735		9,961,037			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		63,129,124		61,868,735		69,973,037					
市民1人コスト C/人口		458		443		498					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						コミュニティバスの利用者		人/日	590	約740	
指標化できない成果		①コミュニティバスに『You Bus』という愛称を付けました。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			4		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	20.25
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4		5	4	3.75	3.75	3.75		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		地域公共交通の環境整備を進めています。令和5年10月1日から開始した「You Bus下今泉ルート実証運行」などとの一体的な移動支援に向けた検証を行っています。									
判断	見直し継続	判断理由内容		通勤・通学時間帯の需要を踏まえたダイヤの見直し等、コミュニティバスの利便性向上を図っていきます。							
課題問題点	鉄道駅やバス停がない地域・市民からの公共交通へのニーズを踏まえつつ、公平性を担保した移動支援の実現が課題です。コミュニティバスのみで市内全域をカバーすることは難しいですが、福祉部門とも連携をとり、公共交通の充実と利便性向上を図っていきます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	5		4		4		3		4		20
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。本事業は、鉄道駅やバス停がない地域の市民の移動支援策として重要な役割を果たしています。これまでも運賃の改定、愛称の命名など、事業効果を高めるための見直しや工夫がされていますが、運行時刻や運行地域など様々なニーズに対する課題については、今後も研究・検討を重ね、適宜見直しを図りながら、事業が継続されることを期待しています。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。コミュニティバスは交通不便地域の住民の足として重要な役割を果たしています。一方、運行地域が偏っていたり、現役世代が利用しにくい運行時刻になっているなどの課題もあります。「誰もが利用しやすい」公共交通機関となるように、幅広い市民から意見を集約し、地域や世代の偏りを是正しながら、事業を継続するよう要望します。						
事業に対するコメント		公費負担率は海老名市コミュニティバス運行ガイドラインで定める限界点に近づいています。限りある市の財源の中でより効果的に事業を継続していけるよう、受益者負担と公費負担のバランスや運行継続条件などを絶えず精査することを要します。また、同運行ガイドラインの見直しや新型コロナウイルス感染症拡大の影響により凍結している公費負担率の適用解除が必要と考えます。									
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	12 都市政策事業費																								
事業名 (細々目)	公共交通対策推進事業費																															
事業概要	対 象	市内に路線を有する鉄道・バス事業者等																														
	目 的	公共交通の充実と利便性向上を促進するとともに、市内各駅とその周辺地区における課題解決を図ります。また、有事(事故・災害)における駅滞留対策の継続性を確保します。																														
	手 段	公共交通の充実や利便性の向上を図るため、交通事業者や関係各所と意見交換や協議の場を継続しました。																														
	そ の 他																															
20 プ ラ ン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進																										
	めざす姿	人口減少社会に備えた取り組みとして、まちの魅力や利便性の向上を図るための拠点整備や誰もが利用しやすい地域公共交通の確保維持等の身近な環境整備が進められています。																														
根拠法令等	道路運送法等																															
事業の 詳細 説明	<p>1 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神奈川県鉄道輸送力増強促進会議等の各種会議体に参加し、公共交通の充実と利便性向上の促進のための要望活動を行いました。 ○ 市内各駅関係者との意見交換・協議等を継続するとともに、駅滞留対策訓練に駅関係者・バス運行事業者も初めて参加し、災害時の連携の必要性について改めて確認しました。 ○ 道路運送法に基づく地域公共交通会議において、市コミュニティバスの運賃改定や、You Bus実証運行などの地域公共交通の取組についての協議を行いました。 <p>2 事業の実績</p>																															
	 <p>【写真1】首長級による要望活動</p>		 <p>【写真2】駅滞留対策訓練</p>		 <p>【写真3】You Busお披露目式</p>																											
(参考) 令和5年度予算内訳																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業費(節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>08 報償費</td> <td>45</td> <td>地域公共交通会議(学識経験者)謝礼</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>09 旅費</td> <td>41</td> <td>各種会議への出席に必要な旅費</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11 需用費</td> <td>54</td> <td>消耗品や会議の食糧費</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>19 負担金</td> <td>290</td> <td>県鉄道輸送力増強促進会議(10,000円)、相模線複線化等促進期成同盟会(100,000円) 県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(180,000円)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>430</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									No.	事業費(節)	金額(千円)	内容	1	08 報償費	45	地域公共交通会議(学識経験者)謝礼	2	09 旅費	41	各種会議への出席に必要な旅費	3	11 需用費	54	消耗品や会議の食糧費	4	19 負担金	290	県鉄道輸送力増強促進会議(10,000円)、相模線複線化等促進期成同盟会(100,000円) 県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(180,000円)	合計		430	
No.	事業費(節)	金額(千円)	内容																													
1	08 報償費	45	地域公共交通会議(学識経験者)謝礼																													
2	09 旅費	41	各種会議への出席に必要な旅費																													
3	11 需用費	54	消耗品や会議の食糧費																													
4	19 負担金	290	県鉄道輸送力増強促進会議(10,000円)、相模線複線化等促進期成同盟会(100,000円) 県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会(180,000円)																													
合計		430																														
区 分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																								
事業費(千円)		318		391		430		△ 39																								
財源内訳	国庫支出金							0																								
	県支出金							0																								
	市債							0																								
	その他							0																								
	一般財源	318		391		430		△ 39																								
部・課等名	まちづくり部		都市計画課		交通政策係																											

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	住みよいまちづくりの推進						
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		318,000		391,000		430,000				
	人件費計 B		6,632,099		6,854,188		7,968,830				
	内訳	正職員	人数	0.8		0.8		0.8			
			人件費	6,632,099		6,854,188		7,968,830			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		6,950,099		7,245,188		8,398,830					
市民1人コスト C/人口		50		52		60					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	鉄道関連要望		回	4	4						
	駅情報連絡会		回	2	2						
地域公共交通会議		回	3	2							
指標化できない成果											
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3			
	持続可能性			評価	平均			合計			
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性	
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3.5	3.5	3	3	3.5	16.5	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		地域公共交通会議にて協議を行った「You Bus下今泉ルート実証運行」を開始し、きめ細やかな移動支援の構築へ向けた取組がスタートしました。引き続き、実証運行を進める中で、地域ニーズにあった交通手段の確保維持に努めていきます。									
判断	現状継続	判断理由内容		当該事業費は、要望活動を中心とした会議体の負担金や地域公共交通の会議開催費用が主なものとなっています。地域公共交通の確保維持を目指す活動は、継続する必要があることから、現状維持としました。							
課題問題点	鉄道事業に関する要望活動を主としている会議体等は、短期的な成果が得られにくいという課題があります。しかしながら、社会情勢を見極めながら、市民にとって利便性向上につながる施策が実現するよう取り組んでいきます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。各種会議での意見交換や協議、要望活動などにより、公共交通の充実や利便性向上が図られています。今後も、社会情勢を見極めつつ、様々な課題解決に向け取り組んでいただくことを期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。地域公共交通の充実や利便性向上のため、引き続き、交通事業者や関係各所との連携を強め、現在の取組を継続することを要望します。						
	事業に対するコメント	有事(事故・災害)における駅滞留対策は重要です。交通事業者に加えて、駅周辺の商業施設との連携強化を期待します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応											

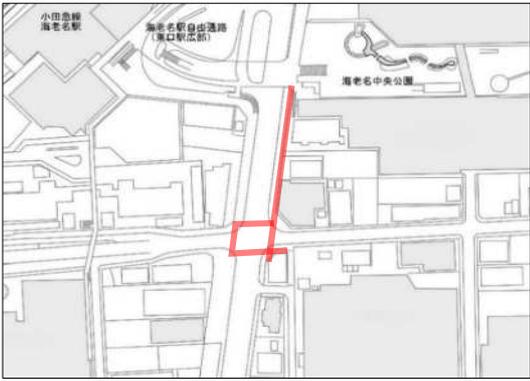
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 1 都市計画総務費	細目 16 駅周辺整備推進事業費
事業名 (細々目)	駅前施設整備調査等事業費			
事業概要	対象	市内各駅前		
	目的	地域拠点である市内各駅前における歩行者の利便性向上、安全性確保、交通渋滞緩和及び賑わい創出等を図ります。		
	手段	海老名駅北口駅前広場の財産管理に必要となる管理区分の明示等の現地調査を行いました。		
	その他			
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名 4-2 住みよいまちづくりの推進
	めざす姿	相模鉄道海老名駅の改良整備により、駅周辺の回遊性が一段と向上し、便利で快適な環境と活気に溢れた駅前となっています。		
根拠法令等	都市計画法、道路法			
事業の詳細説明	<p>事業の概要</p> <p>海老名駅北口駅前広場整備事業は、相模鉄道海老名駅整備事業で新たに設置された横浜方面の改札「北口改札」に接続する約1,000㎡の駅前広場です。 令和4年度に障がい者用駐車場1台と普通車2台程度の車寄せを設けた一般車の乗降場として駅前広場整備工事を実施し、令和5年度は工事完成に伴い、財産管理に必要となる管理区分の明示等の現地調査を行いました。 令和8年度末には、相模鉄道海老名駅整備事業で進めている北口広場から東口へ繋がる新たな連絡通路の完成により、利便性が更に向上します。</p>			
	<p>位置図</p>  <p>完成写真</p> 			
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)
事業費 (千円)	5,104	6,641	1,320	5,321
財源内訳	国庫支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他	5,104	3,377	3,377
	一般財源	0	3,264	1,320
部・課等名	まちづくり部	市街地整備課	計画整備係	

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	住みよいまちづくりの推進						
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		5,104,000		6,641,000		1,320,000				
	人件費計 B		15,751,236		16,278,697		8,964,933				
	内訳	正職員	人数	1.9		1.9		0.9			
			人件費	15,751,236		16,278,697		8,964,933			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		20,855,236		22,919,697		10,284,933					
市民1人コスト C/人口		151		164		73					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		市内鉄道駅周辺の都市基盤整備により、利便性や安全性等の向上を図り、まちの魅力向上に寄与します。 交通量(12時間) 平日[自動車 約300台、歩行者 約2,300人] 休日[自動車 約130台、歩行者 約1,400人]									
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価			
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3			
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3			
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4			
	効率性			評価	公平性			評価			
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3			
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3			
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3			
	持続可能性			評価	平均					合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性		
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3								
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		相鉄海老名駅北口改札に接続し、駅利用者の安全で快適な広場空間を確保し、鉄道利用者の利便性向上につながると共に、東口に集中している利用車両の分散により駅周辺の渋滞緩和に寄与します。									
判断	現状継続	判断理由内容		海老名駅北口駅前広場整備を終えたことから、今後は市内各駅周辺における駅前広場等の都市基盤整備に向けた取り組みを進めます。							
課題 問題点	駅周辺は土地の利活用が進み、駅前広場などの都市基盤整備には権利者の合意形成などに時間を要することから、土地利用の更新などを的確に捉え事業化へ向けた取り組みを進めます。今後、社会情勢に起因する資材や人件費の高騰による事業費の増大も懸念されることから、国庫補助金の活用を見据え、取り組みを進めていく必要があります。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	5		3		3		3		3		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 本事業により、海老名市内各駅の駅前施設整備が進み、駅利用者等の安全性、利便性が確保されています。 今後も「住みたい住み続けたいまち海老名」の実現に寄与する事業であると判断できることから、「現状継続」とします。なお、国庫補助等を活用しながら、継続して取り組んでいただくようお願いいたします。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		3		3		3		16
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 海老名駅北口駅前広場整備事業は順調に進捗していると評価できます。同事業と相模鉄道海老名駅整備事業が結びつくことにより、利便性がさらに向上しますので、取組の継続・強化を要望します。						
事業に対するコメント		海老名駅周辺のみならず、市内各地の均衡ある発展が重要です。引き続き、厚木駅、さがみ野駅など、市内各駅周辺の駅前広場等の都市基盤整備を着実に進めるよう期待します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	16 駅周辺整備推進事業費				
事業名 (細々目)	海老名駅東口周辺整備事業費											
事業概要	対象	海老名駅東口周辺の利用者										
	目的	海老名駅東口周辺の安全で回遊性のある良好な歩行者空間の確保を図ります。										
	手段	安全で回遊性のある良好な歩行者空間を確保するため、延伸方針に基づき、整備規模や配置の検討、関係機関協議、事業実現化等の検討を行いました。										
	その他											
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進							
	めざす姿	交通結節点である海老名駅の利用者の混雑緩和、利便性を図ることで、まちのにぎわい創出に寄与する駅前空間が実現しています。										
根拠法令等	道路法、海老名市海老名駅自由通路設置条例											
事業の 詳細説明	<p>事業の概要</p> <p>令和6年3月に市役所周辺地区が市街化区域に編入され、今後、住宅や商業施設等の整備が行われ、居住人口や来街者の増加が見込まれます。 快適な歩行者空間の確保を図り、海老名駅入口交差点における渋滞解消、まちの連続性に資する海老名駅東口部の自由通路延伸について、検討を進めています。 自由通路延伸の方針として、海老名駅大谷線東側を通り、県道40号横浜厚木を横断するルートに絞り込み、整備規模や配置の検討、関係機関協議、事業実現化等の検討を行いました。</p>											
	<p>想定スケジュール</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>事業内容</th> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>事前調査・方針策定</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>調査検討業務</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>基本計画</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>基本設計</td> </tr> <tr> <td>∪</td> <td>詳細設計 工事</td> </tr> </table> <p>位置図</p> 	年度	事業内容	R4	事前調査・方針策定	R5	調査検討業務	R6	基本計画	R7	基本設計	∪
年度	事業内容											
R4	事前調査・方針策定											
R5	調査検討業務											
R6	基本計画											
R7	基本設計											
∪	詳細設計 工事											
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)								
事業費 (千円)	0	9,911	18,829	△ 8,918								
財源内訳	国庫支出金				0							
	県支出金				0							
	市債				0							
	その他			9,741	△ 9,741							
	一般財源	0	9,911	9,088	823							
部・課等名	まちづくり部		市街地整備課	計画整備係								

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住みよいまちづくりの推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		0		9,911,000		18,829,000				
	人件費計 B		0		13,708,376		15,937,659				
	内訳	正職員	人数	0		1.6		1.6			
			人件費	0		13,708,376		15,937,659			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		0		23,619,376		34,766,659					
市民1人コスト C/人口		0		169		247					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
指標化できない成果		海老名駅を中心としたまちの回遊性が高まり、利便性の向上や歩車分離による安全性の向上に加え、まちの魅力向上に寄与します。									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
持続可能性			評価		平均			合計			
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4.25	3	3.25	3	3.25	16.75	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		海老名駅自由通路ネットワーク整備構想(H14年策定)に基づき、海老名駅東口、駅間、西口と新たなまちづくりに合わせ、自由通路の整備を進めてきました。この整備構想で位置付けられたルートの内、未整備である中央二丁目方面ルートについて自由通路延伸検討を行っています。									
判断	現状継続	判断理由内容		市役所周辺地区のまちづくりが進み、居住人口や来街者の増加が見込まれることから、安全で快適な歩行者空間の確保が必要です。							
課題問題点	海老名駅前の中心市街地で進める事業であり、周辺事業者の協力や事業用地を確保する場合には権利者の理解が必要となります。また社会情勢に起因する資材や人件費の高騰による事業費の増大が懸念されるため、国庫補助金等を活用し、円滑な事業推進に取り組めます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		3		3		4		17
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。今後、海老名市役所周辺地区のまちづくりが進むことで、さらなる人口増加が見込まれています。市民や来街者が安全・快適に歩行できる空間を確保するため、自由通路延伸等の取り組みは継続すべきと判断できることから、「現状継続」とします。なお、国庫補助等を活用しながら、継続して取り組んでいただくようお願いいたします。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		3		3		3		16
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。海老名駅東口部自由通路の延伸は順調に検討が進められていると評価しますが、市の事業だけを先行させるのではなく、市街化による将来の人口動向や延伸先の商業施設の建設予定などを見極めながら慎重に取組を進められるよう要望します。						
事業に対するコメント	後戻りできない巨額な公費の投資事業なので、事業を進めることが真に市民ニーズに応えることになるのか、再度、検討する必要もあります。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

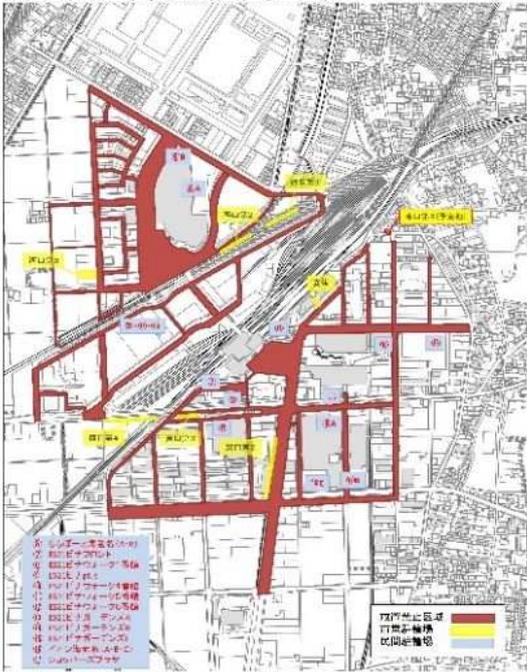
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	6 区画整理費	細目	2 土地区画整理事業費
事業名 (細々目)	中新田丸田地区土地区画整理事業推進費							
事業概要	対象	市民等(対象地区の地権者等)						
	目的	中新田丸田地区等において、地権者で構成された組合による土地区画整理事業を前提とし、市街化区域編入を行うことで、地権者による土地活用の推進を支援します。						
	手段	地権者が総会等を通じて土地利用についての検討を進めるために、調査検討業務等を係る経費の一部補助するとともに事業区域内外の公共施設に係る協議を進めました。また、組合設立認可に向けて、神奈川県等関係機関との協議を進めました。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進			
	めざす姿	既存市街地と調和のとれた良好な環境が創出されています。						
根拠法令等	土地区画整理法、都市計画法等							
事業の 詳細説明	<p>事業の概要</p> <p>令和4年3月に土地区画整理準備組合が結成された中新田丸田地区については、準備組合を主体として事業計画案の検討が進められ、市は、準備組合を補助金等により支援するとともに、事業区域内外の公共施設に係る協議を重ねてきました。この結果、地権者の9割以上の合意を得て、令和5年10月に土地区画整理組合の設立本申請が神奈川県知事に提出され、令和6年3月29日付で組合設立が認可されました。</p> <p>< 参考：土地区画整理事業概要 ></p> <p>施行者 中新田丸田地区土地区画整理組合 所在地 中新田二丁目及び河原口 面積 約6.6ha 整備内容 道路、公園、調整池、宅地（住宅及び事業用地等） 施工期間 令和6年度～令和8年度（予定） ※宅地造成工事が完了したエリアから順次、建築等の土地利用が始まります(令和8年度後半以降を想定)</p>							
	  <p>※イメージ図のため、今後変更の可能性あります。</p>							
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)				
事業費(千円)	16,687	72,834	157,916	△ 85,082				
財源内訳	国庫支出金				0			
	県支出金				0			
	市債				0			
	その他		70,510		70,510			
	一般財源	16,687	2,324	157,916	△ 155,592			
部・課等名	まちづくり部 市街地整備課 事業支援係							

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住みよいまちづくりの推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		16,887,000		70,512,000		157,916,000			
	人件費計 B		14,922,223		15,421,923		17,929,867			
	内訳	正職員	人数	1.8		1.8		1.8		
			人件費	14,922,223		15,421,923		17,929,867		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		31,809,223		85,933,923		175,845,867				
市民1人コスト C/人口		231		615		1252				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	土地区画整理組合設立認可申請に当たり、9割を超える地権者から同意を得ることができました。 ※同意率・・・地権者数:90.91%(40名/44名) 面積:93.57%(約56,576㎡/約60,464㎡)								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性		公平性	持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4	3.25	3.75		3.25	3.25
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		令和6年3月29日付で土地区画整理組合の設立が認可され、令和6年度から新市街地の形成に向けた工事に着手する予定であり、「既存市街地と調和のとれた良好な環境の創出」をめざして、本事業は順調に進められています。								
判断	現状継続	判断理由内容	土地区画整理組合が設立された令和6年度からは、組合が施行する基盤整備工事の円滑な実施に向けて、市助成要綱に基づく補助等の支援を継続する必要があります。							
課題 問題点	今後、社会情勢に起因する資材や人件費の高騰による事業費の増大が懸念されるため、土地区画整理事業の円滑な推進に向けて、国庫補助金の更なる獲得や各種工事のコスト削減策を検討する等、組合や市の負担が過大とならないように取組を進めていく必要があります。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	4	3	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 令和6年3月29日付で土地区画整理組合が認可され、今後は新市街地の形成に向けた工事に着手するということなので、中新田丸田地区における良好な住環境整備を行う本事業の継続実施に期待しています。コストの削減など様々な課題に対しては、国庫補助の活用など、更なる検討・工夫をお願いします。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	3	4	3	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 中新田丸田地区の良好な住環境整備に向けて順調に取組が進められていると評価しますので、現在の取組を継続するよう要望します。						
事業に対する コメント	内部評価で指摘のとおり、市の負担が過大にならないよう、国庫補助金の積極的獲得や各種工事等の経費節減などに取組むことを要望します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	10 交通対策費	細目	4 交通安全対策推進事業費								
事業名 (細々目)	放置自転車対策事業費															
事業概要	対象	放置禁止区域に駐車した自転車・原動機付き自転車利用者														
	目的	公共の場所に自転車等が放置されることを防止することにより、良好な生活環境を保持し、併せて災害時における防災活動の円滑化を確保します。														
	手段	関係機関や自治体と連携し放置自転車対策の情報交換を行います。駅の放置禁止区域に放置した自転車等を撤去・移動・保管・返還を行い放置自転車等を防止します。														
	その他															
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進										
	めざす姿	放置自転車等がなく、通行障害のない快適で安全な都市空間となっています。														
根拠法令等	海老名市自転車等の放置防止に関する条例															
事業の詳細説明	<p>海老名駅周辺 駐輪場及び放置禁止区域</p> 				<p>ホームページや掲示板を活用し、市内の放置禁止区域及び市営自転車等駐車場の周知や放置禁止に対する啓発活動を行いました。</p> <p>また、放置自転車の撤去返還及び保管場所の維持管理、引取り手のいない自転車等の売却処分等を行いました。</p> <p>放置禁止区域内自転車等撤去台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台数</td> <td>132</td> <td>112</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>				年	令和3年度	令和4年度	令和5年度	台数	132	112	107
	年	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
台数	132	112	107													
 <p>↑市内各駅の周辺に放置禁止区域を指定し、看板を設置 ←海老名駅周辺の指定区域</p>				 <p>↑大谷保管場所 放置自転車等を保管及び引取者に返還する場所</p>												
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)									
事業費 (千円)	11,471		12,019		13,295		△ 1,276									
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0									
		県支出金					0									
		市債					0									
		その他	139	151	111	40										
	一般財源	11,332	11,868	13,184	△ 1,316											
部・課等名	まちづくり部 都市施設公園課		総務係													

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住みよいまちづくりの推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		11,470,904		12,018,870		13,295,000			
	人件費計 B		1,464,515		1,513,313		1,740,324			
	内訳	正職員	人数	0.16		0.16		0.16		
			人件費	1,326,420		1,370,838		1,593,766		
		会計年度	人数	0.08		0.08		0.08		
			人件費	138,095		142,476		146,558		
	総コスト C=A+B		12,935,419		13,532,183		15,035,324			
市民1人コスト C/人口		94		97		107				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	放置防止巡回回数		日	204	204					
	指標化できない成果		放置自転車対策事業により近年は、放置自転車等の撤去台数も年間で100台強を推移しています。約20年前は4,000台弱、約10年前は1,000台弱の撤去台数があり、駅周辺のまちづくりが進み、併せて放置自転車対策の効果が表れているものと思料します。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	18.25
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4.25	3.25	3.75	4	3		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		市内に6か所ある駅周辺の放置自転車としては、過去の状況から現在の実数を比較すると、十分効果を発揮していることから、今後もこの状況を維持していく必要があります。								
判断	現状継続	判断理由内容		放置自転車対策は、良好な生活環境を保持し、通行障害のない快適で安全な都市空間を形成し、災害時等の防災活動が確保されるためです。						
課題 問題点	巡回等の業務委託をシルバー人材センターに委託しているが、委託費の大半が人件費であり年々増加傾向となっていることが課題と考えます。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		3		4		4		3	18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 20年以上前とは比較にならないほど放置自転車撤去数が減少し、大きな効果が伺えます。すでに海老名駅周辺での放置自転車も殆ど見受けられない状況で、20プランの「めざす姿」に着実に近づき良好な状態が維持できています。また、引き取り手のない放置自転車等も売却するなど財政負担軽減にも寄与しています。大きな効果が得られ、その持続性も期待できることから「現状継続」とします。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		4		3		4		3	18
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 放置自転車対策は効果を上げていると評価できますが、費用対効果の観点から考えると課題があり、事業費節減のための工夫が必要と考えます。通行障害のない快適で安全な都市空間の向上のため、事業費を見直しながら、取組を継続してください。					
事業に対するコメント	巡回回数の減少による経費の節減について検証することを要望します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	2 総務費	項	1 総務簡易費	目	10 交通対策費	細目	4 交通安全対策推進事業費	
事業名 (細々目)	美化推進・放置自転車等防止巡回推進事業費								
事業概要	対象	無料自転車等置場の利用者							
	目的	自転車等置場内に駐輪された自転車及び原動機付自転車の整理、並びに利用者の駐輪指導を行い安心して利用している駐輪場を維持します。							
	手段	利用者が多い通勤、通学時間で、無料自転車等置場内の自転車等を整理し、他の利用者に支障となるような駐輪をしようとする利用者が確認された場合に注意、指導を行います。							
	その他								
20 プラン	行政分野	4	まちづくり			政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進		
	めざす姿	利用者が安全・安心して利用できる駐輪場となっています。							
根拠法令等	海老名市自転車等駐車場条例								
事業の 詳細説明	<p>市内3か所ある無料自転車等置場の整理を行い、利用者が利用しやすく安全な駐輪場として維持管理しました。</p> <p>毎週月曜日～金曜日の朝6:30～8:30の間は、2名体制で駐輪場の整理と駐輪指導を実施しています。 (シルバー人材センターへ委託)</p>								
									
	区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
	事業費 (千円)	2,813		2,913		3,179		△ 266	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0		
		県支出金					0		
		市債					0		
		その他					0		
	一般財源	2,813		2,913		3,179		△ 266	
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課		総務係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策	住みよいまちづくりの推進			
コスト分析	区分	令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)		
	事業費計	A	2,812,944	2,913,381	3,179,000			
	人件費計	B	663,210	685,419	796,883			
	内訳	正職員	人数	0.08	0.08	0.08		
			人件費	663,210	685,419	796,883		
		会計年度	人数	0	0	0		
			人件費	0	0	0		
総コスト	C=A+B	3,476,154	3,598,800	3,975,883				
市民1人コスト	C/人口	25	26	28				
指標設定	活動指標				成果指標			
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績
	自転車駐輪整理等	日	256	256				
	指標化できない成果	利用者が安全に安心して利用できる自転車等置場として維持されています。						
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			3	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4
	効率性			評価	公平性			評価
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			2
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3
	持続可能性			評価	平均			合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	3.5	3.25	3	3.25	3.25
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4					
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3					16.25
「めざす姿」に対する現在の状況		自転車等置場が安全に利用されており、今後も継続して安全・安心して利用できるよう努めていく必要があると思います。						
判断	現状継続	判断理由内容	めざす姿に十分に効果が図られているためです。					
課題 問題点	受益者負担等の観点からは、有料化を含めた検討も必要と考えます。							
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計		
	4	3	3	3	3	16		
	判断	見直し拡大	判断理由内容	担当部課評価を修正します。 現在、かしわ台駅・社家駅・門沢橋駅周辺にある3カ所の無料自転車等置場は、利用者が安全・安心して利用できる駐輪場として維持されています。ただし、受益者負担さらには海老名駅周辺の有料駐輪場利用者との公平性などの観点からも有料化を検討する必要があると考えます。有料化による影響も含め慎重な検討をしてください。				
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計		
	4	3	3	3	3	16		
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持し、内部評価を修正します。 無料自転車等置場の配置地区は、海老名駅周辺地区と異なり、駐輪場に対する市民ニーズや利用者数、利用状況が異なるため、無料を維持する必要性は高いと考えます。				
事業に対する コメント	有料駐輪場利用者との公平性や受益者負担の観点から有料化を検討する場合は、有料化による影響などを踏まえ、慎重な検討と検討経過の周知をお願いします。							
評価結果を踏まえた 次年度の対応								

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	7 駐車場管理費	細目	2 地下駐車場維持管理経費
事業名 (細々目)	地下駐車場改修事業費							
事業概要	対象	地下駐車場利用者等						
	目的	海老名駅周辺地区利用者の利便性の向上を図り、併せて駅前周辺の渋滞緩和に資する施設として、海老名中央公園地下駐車場の運営・維持管理を行います。						
	手段	指定管理者による効率的な管理により、市民サービスの向上を図ります。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進			
	めざす姿	駅前広場等の都市基盤整備や商業の活性化等、良好な住環境が整備されています。						
根拠法令等	道路法、海老名市営自動車駐車場条例							
事業の 詳細説明	<p>海老名中央公園地下駐車場は、長期修繕計画を策定し施設を安全に運営し安心して利用できるよう、計画的に修繕等を行っています。 令和5年度は、設置から27年以上経過していた、出入口に設置された大型の管理用シャッターの改修を行いました。</p> <p>●海老名中央公園地下駐車場出入口シャッター等改修工事 【完 成】</p> <p style="text-align: center;">6,992,000円</p> <p style="text-align: center;">【既存撤去後、新規設置中】</p>							
	  							
区 分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)				
事業費 (千円)	47,817	8,029	6,992	1,037				
財源内訳	特定財源	国庫支出金				0		
	県支出金					0		
	市債			6,500		△ 6,500		
	その他	7,786	7,785			7,785		
	一般財源	40,031	244	492		△ 248		
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課	施設整備係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		4-2 住みよいまちづくりの推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		47,817,000		8,028,900		6,992,000			
	人件費計 B		1,326,420		1,370,838		1,593,766			
	内訳	正職員	人数	0.16		0.16		0.16		
			人件費	1,326,420		1,370,838		1,593,766		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
	総コスト C=A+B		49,143,420		9,399,738		8,585,766			
市民1人コスト C/人口		356		67		61				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	工事施工会議等		回	12	12					
	指標化できない成果		長期修繕計画に基づき計画的に予防保全を行っています。							
担当部課評価	妥当性			評価	有効性				評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5		
	効率性			評価	公平性				評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			5		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4							
「めざす姿」に対する現在の状況		駅周辺の渋滞緩和や商業の活性化等、良好な住環境に寄与する施設として、安全に運営されるよう施設の適正な維持管理を行っています。								
判断	現状継続	判断理由内容		指定管理者制度を活用し、軽微な修繕は指定管理が行うことにより、迅速な対応が図られているためです。						
課題 問題点	平成7年に供用開始されてから約28年以上が経過しており、施設の老朽化による修繕費の増加が課題となっています。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	5		4		5		4		4	22
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 多くの市民、来街者等が利用する地下駐車場は、長期修繕計画に沿って計画的に修繕が行われ、良好な住環境として維持できています。また、指定管理者制度を活用し、軽微な修繕など迅速な対応が図られていることから「現状継続」とします。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		4		4		4		4	20
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 施設の老朽化による維持管理費の増額が想定されますので、引き続き、長期修繕計画に基づいた計画的な修繕をお願いします。					
事業に対する コメント	海老名中央公園地下駐車場は、令和4年度に実施された指定管理者第三者評価結果から、指定管理者制度を活用し概ね適切な管理運営が行われていると評価できます。引き続き、指定管理者との十分な連携により、市民が安全・安心に地下駐車場を利用できるよう施設の維持管理を行うとともに、海老名駅周辺商業施設の利用に伴う道路渋滞の緩和のため、商業施設との駐車場連携を期待します。									
評価結果を踏まえた 次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	19 住宅政策事業費																				
事業名(細々目)	空き家等対策事業費																											
事業概要	対象	市内の空き家及び空き地の所有者及び周辺住民																										
	目的	空き家等対策計画に基づき、「発生抑制」「利活用」「適正管理」の3つの視点から空き家の状況に応じた施策を展開し、空き家が適正に管理、活用される住み続けられるまちを目指します。																										
	手段	空き家等対策計画の推進のため、「空き家及び空き家にならないための相談会」「住宅の終活に関する情報発信」「空き家の見守り事業」などに取り組み、空き家の所有者に対し適正管理を促しました。																										
	その他	令和5年12月に施行された法改正への取り組みを行っています。																										
20プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-2 住みよいまちづくりの推進																							
	めざす姿	空き家等は個人の財産であることから、所有者・管理者の責任を明確にし、管理が不十分な不動産においては、適正な管理が図られています。																										
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、海老名市空き家及び空き地の適正管理に関する条例																											
事業の詳細説明	<p>1. 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法・条例に基づき、適正な管理がなされていない空家等の現地確認・所有者調査を行い、適正管理を促しました。 ○ 空き家及び空き家にならないための相談会の周知にあたり、広報やHPのほか地域包括センターと連携し、チラシの配架等を行いました。 ○ 家屋等に損傷が見受けられる空き家について、空き家対策に関する協定を締結している団体による「見守り事業」を実施しました。 ○ 管理不全な状態にある空き家において、緊急に危険を回避する必要があると判断し、条例に基づき「緊急安全代行措置」を実施しました。 ○ 体制整備の一環として、「海老名市空き家等対策審議会」を法に基づく「海老名市空家等対策協議会」へ移行しました。 ○ 周辺の住環境に悪影響を与えるおそれのある「特定空家等」及びその前段に当たる「管理不全空家等」と判断するための基準案を作成し、海老名市空家等対策協議会で審議を行いました。 																											
	<p>2. 事業の実績(主なもの)</p> <p>① 空家等所有者への適正管理を促す通知の発送件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>27件</td> <td>26件</td> <td>37件</td> <td>47件</td> <td>33件</td> </tr> </tbody> </table>									令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	件数	27件	26件	37件	47件	33件								
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																						
	件数	27件	26件	37件	47件	33件																						
<p>② 空き家相談会・空き家にならない相談会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>2回</td> <td>随時受付</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>12件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 見守り空き家(年2回見守り実施)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>87件</td> <td>83件</td> <td>73件</td> <td>58件</td> <td>39件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※随時受付(希望日申告制)を実施するとともに地域包括センターと連携しチラシの配布を行いました。</p>									令和4年度	令和5年度	開催回数	2回	随時受付	件数	12件	0件		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	件数	87件	83件	73件	58件	39件
	令和4年度	令和5年度																										
開催回数	2回	随時受付																										
件数	12件	0件																										
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度																							
件数	87件	83件	73件	58件	39件																							
<p>④ 管理不全空家等及び特定空家等の判断基準(案)の作成</p> <p>法に規定される「管理不全空家等」「特定空家等」の判断における本市の基準策定に向けて基準案を作成し、海老名市空家等対策協議会で審議を行いました。(令和6年度基準策定予定)</p> <p>(単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>海老名市空家等対策協議会の開催</td> <td>判断基準(案)について協議を行いました。</td> <td>213,900</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>緊急安全代行措置</td> <td>緊急に安全を確保するため、所有者に代わって措置を実施しました。</td> <td>448,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>判断基準(案)の作成・協議</p> <p>その他の事業:11,589円</p>								節	事業名	事業内容	事業費	01	海老名市空家等対策協議会の開催	判断基準(案)について協議を行いました。	213,900	13	緊急安全代行措置	緊急に安全を確保するため、所有者に代わって措置を実施しました。	448,800									
節	事業名	事業内容	事業費																									
01	海老名市空家等対策協議会の開催	判断基準(案)について協議を行いました。	213,900																									
13	緊急安全代行措置	緊急に安全を確保するため、所有者に代わって措置を実施しました。	448,800																									
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																					
事業費(千円)	4,054		3,840		819		3,021																					
財源内訳	特定財源	国庫支出金	563				0																					
		県支出金					0																					
		市債					0																					
		その他					0																					
	一般財源	3,491		3,840		819		3,021																				
部・課等名	まちづくり部		住宅まちづくり課		住宅政策係																							

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住みよいまちづくりの推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		4,053,471		3,839,074		819,000				
	人件費計 B		13,159,741		13,597,681		15,594,231				
	内訳	正職員	人数	1.4		1.4		1.4			
			人件費	11,606,174		11,994,829		13,945,452			
	会計年度		人数	0.9		0.9		0.9			
			人件費	1,553,567		1,602,852		1,648,779			
総コスト C=A+B		17,213,212		17,436,755		16,413,231					
市民1人コスト C/人口		125		125		117					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	指標化できない成果		<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税の納税通知書送付封筒に空き家の適正管理等に関する周知文を掲載し、適正管理を促しました。 法に規定する空家等対策協議会を組織し、空家等に対する整備体制の強化に取り組みました。 空家等対策協議会を3回開催しました。 								
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			5		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
持続可能性			評価		平均			合計			
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	18.75	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4		4	3.5	4.25	3.5	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		法・条例等に基づき空き家等の所有者に対し、更なる適正管理を促すため、海老名市空家等対策協議会において「特定空家等及び管理不全空家等判断基準」の策定に向けた審議を行っています。									
判断	見直し拡大	判断理由内容		人口が増加している本市においても、今後空き家の増加が予想されることから「特定空家等及び管理不全空家等の判断基準」を策定し、更なる適正管理に向けた取り組みを行います。							
課題 問題点	令和5年度に実績のなかった相談会について、相談体制や周知方法の見直し等に取り組む必要があると考えています。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価を支持します。近年では全国的にも危険な空き家に対する具体的な対策が問題となっています。そのような中、今年度「管理不全空家等及び特定空家等の判断基準」が策定される予定で、策定後はこの判断基準に照らしあわせ危険な空家等をより分けられることができるようになり、今後は具体的な対策を検討するなど事業を拡大して取り組む必要があるため、見直し拡大とします。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。全国的に「空き家」対策が大きな問題になる中で、法による対策も強化され、これに準じて市の取組も拡大してきていることは評価できます。今後、市内の空き家の増加が予想されるため、必要な取組を一層強化するよう要望します。						
事業に対するコメント	「空き家及び空き家にならないための相談会」は、所有者等への空き家対策の情報提供や動機付けなどの観点から重要な取組と考えます。令和5年度の相談件数は10件でしたが、随時受付と定期的な相談会の開催を併用するなど、開催方法や周知方法の工夫を要望します。なお、本事業の指標は設定されていませんが、相談会の実績は本事業の「成果指標」として適切と考えますので、検討をお願いします。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	4	まちづくり						
	政策	4-3	住宅政策・緑化政策の推進						
	方向性	住宅と緑をバランスよく配置して緑ある生活を実現し、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	① 市営住宅への入居を希望する市民等が満足できるような市営住宅が設置されています。 ② 新規住民獲得策のみならず既存住民からも理解を得られるような住宅施策が実施されています。 ③ 多くの世代の人に親しまれる憩いの場・自然とふれあえる場としての公園が整備されています。 ④ 身近な緑の保全・創造のため、緑に恵まれ、美しい景観が持続されています。							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	街区公園等維持管理経費	内部	現状継続	4	4	4	4	4
			外部	現状継続	4	4	4	4	4
	2	街区公園等整備事業費	内部	現状継続	5	3	4	4	4
			外部	見直し継続	5	4	4	4	4
	3	緑地維持管理経費	内部	現状継続	4	3	4	3	4
			外部	現状継続	4	3	4	3	4
	4	保全区域等指定事業費	内部	現状継続	4	4	4	3	4
			外部	現状継続	4	4	4	3	4
	5	緑化推進事業費	内部	現状継続	4	4	3	4	4
			外部	見直し継続	4	3	3	3	3
	6	まちづくり支援事業費	内部	見直し継続	4	4	3	4	4
			外部	見直し継続	4	4	4	4	4
	7	住宅政策事業費	内部	見直し拡大	4	3	4	3	4
			外部	見直し拡大	4	4	4	3	4
	8	市営住宅維持管理経費	内部	現状継続	4	4	3	4	3
外部			現状継続	4	4	3	4	4	

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価 A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価 A
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
	内部評価コメント	住宅政策・緑化政策の推進に必要な事業が配置されていると判断されます。
外部評価コメント	えびな未来創造プラン2020に掲げる本政策のめざす姿を達成するために必要な事業が配置されていると判断します。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価 A
	A 順調である	外部評価 A
	B やや遅延している	
	C 著しく遅延している	
	内部評価コメント	住宅政策と緑化政策の各事業の実績から、おおむね順調に推進されていると判断されます。
外部評価コメント	政策はおおむね順調に推進されていると判断します。社会情勢や市民ニーズを的確に捉え、必要な見直しをしつつ、各事業を進捗管理する必要があると考えます。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価 A
	A 必要性が高い	外部評価 A
	B どちらとも言えない	
	C 必要性が低い	
	内部評価コメント	海老名市への移住希望者等に対する施策と、身近な緑地・公園の保全や創出は、市民の憩いの場として必要であると考えられます。
外部評価コメント	当該政策を構成する事業は、いずれも市民ニーズ・社会需要等が高く、必要な事業と判断します。急速に都市化が進む中で、緑化や自然の保全の取組の必要性はさらに高まることが想定されます。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価 B
	A 最優先に実施すべきである	外部評価 B
	B 優先的に実施した方が望ましい	
	C 優先的に実施する必要は低い	
	内部評価コメント	今後も人口増加が見込まれるため、市民ニーズを捉えながら見直しを図り優先的に実施することが望ましいと考えます。
外部評価コメント	住宅政策・緑化政策を推進するために、当該政策は優先的に実施することが望ましいと判断します。	

政策評価

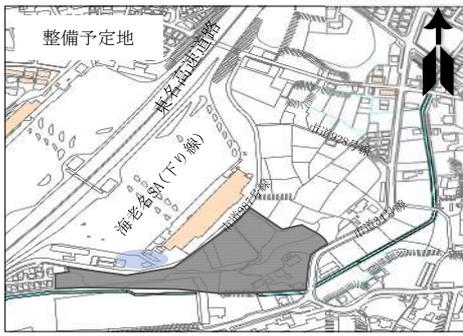
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	3 公園費	細目	2 都市公園等維持管理経費
事業名 (細々目)	街区公園等維持管理経費							
事業概要	対象	市民等(公園利用者)						
	目的	公園施設等の定期的な清掃、補修、植栽管理等により、利用者の安全や利便性の向上に寄与します。						
	手段	公園のパトロール、清掃、補修、植栽管理等の維持管理を実施します。 海老名中央公園については、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウをいかした運営を実施します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進			
	めざす姿	多くの世代の人に親しまれる憩いの場・自然とふれあえる場としての公園が整備されています。						
根拠法令等	都市公園法、海老名市都市公園条例							
事業の 詳細説明	<p>市内には大小合わせて約180の公園があります。 利用者が安全に、より便利に公園を利用できるよう、適切な維持管理を行っています。</p> <p>① パトロール、清掃、補修、植栽管理等 地域の公園に親しみを持ち、利用者のマナー向上を図るため、草刈りと清掃を地元の自治会に委託し、自治会への委託が難しい公園においては、シルバー人材センターに委託しました。 また、全ての公園において定期的なパトロールを実施し、利用者の安全の確保に努めました。 遊具の補修や砂場清掃、斜面の草刈り、樹木の剪定等を適宜実施しました。</p> <p>② 指定管理者制度による中央公園の管理 海老名中央公園においては、自由通路の維持管理と一体として指定管理者制度を活用しています。 民間のノウハウをいかし、きめ細やかな巡回やイベントの開催等、他の公園とは一線を画した運営を行っています。 特に5月3日に行われたいきものがかりフリーライブには8,000人の来場者がありましたが、市、指定管理者、商業施設間で連携を密にし、円滑に開催することができました。</p>							
	 <p>← 自治会による公園清掃の様子</p> <p>海老名中央公園 ↓</p> 							
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)				
事業費 (千円)	125,330	144,978	156,824	△ 11,846				
財源内訳	国庫支出金				0			
	県支出金				0			
	市債				0			
	その他	2,052	1,905	2,578	△ 673			
	一般財源	123,278	143,073	154,246	△ 11,173			
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課	総務係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		125,330,418		144,977,886		156,824,000				
	人件費計 B		30,120,636		31,128,798		36,152,850				
	内訳	正職員	人数	3.6		3.6		3.6			
			人件費	29,844,446		30,843,846		35,859,733			
		会計年度	人数	0.16		0.16		0.16			
			人件費	276,190		284,952		293,116			
総コスト C=A+B		155,451,054		176,106,684		192,976,850					
市民1人コスト C/人口		1127		1260		1373					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	自治会による公園清掃等業務委託		個所	89	89						
	指標化できない成果		適切な維持管理を実施し、快適かつ安全な公園の利用を提供しました。 自治会で管理できない公園等の清掃草刈り業務及び公園等の安全点検等をシルバー人材センターに委託し日常的な安全管理を実施しました。								
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			4		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
持続可能性			評価		平均			合計			
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	20	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4.25	4	4.25	3.75	3.75		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		多くの世代の人に親しまれる憩いの場・自然とふれあえる場としての公園を目指し、適切な維持管理を実施しています。									
判断	現状継続	判断理由内容		多くの世代の人に親しまれる憩いの場・自然とふれあえる場としての公園を維持し、利用者に安全で利便性の高いサービスを提供するために重要な事業であると考えます。							
課題 問題点	公園清掃、草刈りについては、公園に親しみを持ち、利用のマナー向上を図るために地元自治会へ委託を行っておりますが、自治会員の高齢化等によりシルバー人材センター委託に移行する公園が年々増えており、維持管理委託の在り方について課題となっています。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		4		4		20
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 公園はあらゆる年代の方が利用しやすい環境整備が求められるため、緑化の推進を図りながらも、死角のない明るい公園整備が必要であると考えます。 しかし、春から夏にかけての雑草の繁茂が激しい時期は草刈りも大変な作業であり、自治会による草刈りや清掃作業は高温多湿の中熱中症も懸念されます。関係機関と連携を図りながら、維持管理方法を模索していただくことを期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		4		4		20
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 市民の誰もが安全に、より便利に利用できるよう、引き続き、適正な維持管理に努めてください。						
事業に対する コメント	地元自治会に地域の公園の管理を委託していますが、高齢化等により受託自治会の減少がさらに進むことも危惧されるので、自治会の意見を聞きながら、市と自治会の適切な役割分担等を踏まえた維持管理委託の在り方を検討する必要がありますと考えます。 海老名中央公園は、令和5年度に実施された指定管理者第三者評価結果から、指定管理者制度を活用し概ね適切な管理運営が行われておりと評価できます。同報告書で評価が低かった項目を改善しつつ、引き続き適切な維持管理を行うようお願いします。										
評価結果を踏まえた 次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	3 公園費	細目	4 都市公園整備事業費	
事業名 (細々目)	街区公園等整備事業費								
事業概要	対象	市民等(公園利用者)							
	目的	都市公園等を再編することや既存の公園を再整備することで、自然とのふれあいの場・憩いの場としての活用のみならず、高齢化や防災対応も考慮して幅広い世代に親しまれる公園を目指すとともに、安全・安心な公園整備を進めます。							
	手段	都市公園等施設の遊具等の更新は、市民ニーズを踏まえて整備改修工事等を行います。また、公園本来の機能に加え、安全・安心な機能を強化及び充実していくことを念頭に置いた整備を行います。							
	その他								
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進				
	めざす姿	多くの世代の人に親しまれる憩いの場・自然とふれあえる場としての公園が整備されています。							
根拠法令等	都市公園法、海老名市都市公園条例								
事業の 詳細説明	<p>利便性及び安全性を向上させ自然とのふれあいの場や憩いの場として、幅広い世代に親しまれる公園を目指し、公園施設の改修などの公園整備を行います。</p> <p>① (仮称) 大谷・杉久保公園整備事業</p> <p>(仮称)大谷・杉久保公園は、海老名SAと隣接し、周辺施設との相乗効果により、新たな賑わいと本市の魅力向上、及び地域の活性化の促進や防災機能の強化の拠点となるような公園整備を目指しています。 令和5年度は、公園基本構想及び基本計画の策定業務を進めました。</p> <p>○公園基本構想・基本計画 26,000千円</p>								
					<p>② 公園施設長寿命化改修事業</p> <p>策定より10年が経過する公園施設長寿命化計画において、より効率的・効果的な維持管理を推進していくため、計画の改定を行いました。 また、本計画を活用し、老朽化や緊急度の高い遊具等の改修を行い、利用者の安全・安心を図りました。</p> <p>○公園施設長寿命化計画改定 19,900千円 ○改修工事 40,000千円</p>				
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)		38,451		83,967		100,087		△ 16,120	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	16,000		20,000		22,300		△ 2,300
		県支出金							0
		市債	22,100		34,000		31,800		2,200
		その他			1,479		29,338		△ 27,859
一般財源		351		28,488		16,649		11,839	
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課		施設整備係				

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		38,450,720		83,967,400		100,087,000			
	人件費計 B		1,326,420		2,741,675		6,375,064			
	内訳	正職員	人数	0.16		0.32		0.64		
			人件費	1,326,420		2,741,675		6,375,064		
	会計年度		人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		39,777,140		86,709,075		106,462,064				
市民1人コスト C/人口		288		621		758				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	工事委託発注件数		件	5	5	市民1人あたりの公園面積		m2	7	4.56
	指標化できない成果		委託業務のなかで、アンケート調査を実施 ①近隣住民WEB:回収107件、②海老名SA利用者WEB:回収400件、③海老名SA現地:回収242件、 ④コミセンオープンハウス(2か所):回収70件							
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3	
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4	
	効率性			評価		公平性			評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4	
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			5		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4	
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3	
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3	
持続可能性			評価		平均				合計	
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4		妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4		5	3.5	4.5	3.5		4
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4							
「めざす姿」に対する現在の状況		地域の憩いの場や身近な遊び場としての公園が整備され、公園施設は計画的に改修等を実施し、安全で安心して利用されるよう維持管理しています。								
判断	現状継続	判断理由内容		公園は、多くの世代の方が利用されることから、今後も安全安心して利用されるよう施設の点検や計画的な改修等が必要なためです。						
課題問題点	①既存の公園等の老朽化した公園遊具等の施設の対応が必要です。 ②新規公園の検討を進めるうえでの周辺施設との連携や事業手法の協議調整が課題だと考えます。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	5		3		4		4		4	20
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 地域のコミュニティ発展にも公園の整備は必要不可欠であり、公園利用者及び目的は様々であることから、皆が共用できる整備が必要であると考えます。小さな子ども連れの方や高齢者なども安心して利用できる施設整備を期待します。また、公園遊具の事故が発生しないよう改修工事とともに、定期点検作業実施についても期待します。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	5		4		4		4		4	21
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。 市内に104ある児童遊園等は密集している地域と点在している地域があり、地域的な偏在があります。利用頻度が低い公園も見受けられることから統廃合も視野に入れ、公園の適正配置を検討する必要があると考えます。					
事業に対するコメント	市民の誰もが安全・安心して公園を利用できるよう、引き続き、公園遊具等の定期的な点検と、老朽化や緊急度の高い施設から順次必要な改修を進めるようお願いいたします。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科 目	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 4 緑化推進費	細目 2 緑地保全事業費	
事業名 (細々目)	緑地維持管理経費				
事業概要	対 象	緑地等の利用者			
	目 的	パトロールや植栽管理等を実施し、緑地等の利用者が快適かつ安全に利用できるよう努めます。			
	手 段	緑地のパトロールや植栽管理等の維持管理を実施します。 また、里山ボランティア団体に対して備品の貸出等を行います。			
	そ の 他				
20 ブ ラ ン	行政分野	4	まちづくり	政策名 4-3 住宅政策・緑化政策の推進	
	めざす姿	身近な緑の保全・創造のため、緑に恵まれ、美しい景観が維持されています。			
根拠法令等					
事業 の 詳 細 説 明	<p>上今泉秋葉台自然緑地をはじめとした緑地の維持管理を行っています。</p> <p>① 緑地パトロール シルバー人材センターに委託し、緑地の巡回パトロールを行い、危険や異常がないかを確認するとともに、必要に応じて清掃等を実施します。</p> <p>② 草刈り、剪定、伐採等 軽微な草刈りや剪定はシルバー人材センターに、傾斜地等の草刈り、剪定、伐採等は事業者委託し、利用者が快適かつ安全に緑地を利用できるよう適正な維持管理を行います。</p> <p>③ 里山ボランティア団体へ備品貸出 海老名市里山保全用具等貸与に関する基準に基づき、市内の緑地の維持管理を促進するため、里山保全活動を行うボランティア団体に対して、チェーンソーや草刈り機等の備品の貸出を行います。 現在、2団体に対して実施しています。</p>				
	 		<p>(上)上今泉秋葉台自然緑地、(下)園分寺台緑道</p>		
区 分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)
事業費 (千円)		11,659	12,412	16,782	△ 4,370
財 源 内 訳	国庫支出金				0
	県支出金				0
	市 債				0
	そ の 他	7,762	8,015	16,153	△ 8,138
	一 般 財 源	3,897	4,397	629	3,768
部・課等名	まちづくり部 都市施設公園課		総務係		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		11,659,082		12,412,097		16,782,000				
	人件費計 B		2,652,840		2,741,675		3,187,532				
	内訳	正職員	人数	0.32		0.32		0.32			
			人件費	2,652,840		2,741,675		3,187,532			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		14,311,922		15,153,772		19,969,532					
市民1人コスト C/人口		104		108		142					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
	緑地草刈り委託数		箇所	11	11	里山ボランティア備品貸出		団体	-	2	
	指標化できない成果		適切な維持管理を実施し、快適かつ安全な緑地の利用を提供しました。								
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均					合計
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3								
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		緑地の保全及び適正な管理を実施し、市民が快適かつ安全に緑地を利用できるよう維持しています。									
判断	現状継続	判断理由内容		緑地を保全し、美しい景観を維持するために、緑地の維持管理を図る当事業は重要であると考えます。							
課題問題点	樹木の老木化に伴い倒木等による危険が及ばないよう、適切な維持管理が必要となりますが、対象の樹木が多い事から、現場の状況に応じた優先順位の見極め方法等が課題となっています。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		4		3		4		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。まちづくりが進むなか、相対的な面で緑化の推進事業は重要であることから、市民が安全に利用できる緑地整備は重要課題であると考えます。一方で台風などによる老木の倒木事故を防止することは、市民の安全やライフライン確保の面からも重要であることから、植栽等の管理体制の充実を期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		4		3		4		18
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。海老名駅周辺を中心にまちづくりが急速に進む中、身近な緑の保全・創造の取組の重要性がより高まっていますので、現在の取組を継続するよう要望します。						
事業に対するコメント	引き続き、市の広報媒体等を活用し、市内の緑地・里山やボランティア団体の活動の紹介など、緑地や里山の保全に関する市民意識の啓発のための取組も重要と考えます。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	4 緑化推進費	細目	2 緑地保全事業費
事業名 (細々目)	保全区域等指定事業費							
事業概要	対象	自然環境の保全のため必要と認められる土地(樹林地)及び樹木の所有者						
	目的	自然環境の保全のため必要と認められる土地(樹林地)及び樹木を自然緑地保全区域等として指定し、樹木等の剪定等に要する費用の一部として奨励金を交付することで、樹木等の適正な維持管理を支援することにより、市内の自然環境の保全を推進します。						
	手段	樹木等の所有者に自然緑地保全区域奨励金及び自然緑地保存樹木奨励金を交付します。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり		政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進		
	めざす姿	身近な緑の保全・創造のため、緑に恵まれ、美しい景観が維持されています。						
根拠法令等	海老名市環境保全条例							
事業の 詳細説明	<p>保全すべき樹木等を指定し、所有者に次の奨励金を交付します。</p> <p>①自然緑地保全区域奨励金 【対象】 面積が500㎡以上の区域であり、かつ区域内の樹木が健全であるもの 【内容】 固定資産税・都市計画税相当額＋区域面積100㎡ごとに1,000円</p> <p>②自然緑地保存樹木奨励金 【対象】 次のいずれかに該当し、健全でかつ樹容が美観上すぐれているもの (1) 地上から1.5mの高さにおける幹の周囲が1.5m以上ある樹木 (2) 株立ちした樹木で、高さが3m以上あるもの (3) 地上から1.5mにおける幹の周囲が1.0m以上の樹木10本以上を含む並木 (樹木が公道等に一定の間隔で配され、かつ各樹木の高さがほぼ均一であるもの) 【内容】 (1)(2)は1本あたり4,000円、(3)は1本あたり1,000円</p>							
	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)	
事業費(千円)	6,327		6,454		7,303		△ 849	
財源内訳	特定財源	国庫支出金					0	
		県支出金					0	
		市債					0	
		その他	6,179	6,453	136	6,317		
	一般財源	148	1	7,167	△ 7,166			
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課		総務係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		6,326,525		6,454,340		7,303,000			
	人件費計 B		663,210		685,419		796,883			
	内訳	正職員	人数	0.08		0.08		0.08		
			人件費	663,210		685,419		796,883		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		6,989,735		7,139,759		8,099,883				
市民1人コスト C/人口		51		51		58				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
						保全区域(箇所)		箇所	-	89
						保全区域(面積)		ha	-	12.89
						保存樹木		本	-	165
指標化できない成果										
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			4		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			5		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			3		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			3	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価	平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4	3.75	4	3.75		3.5	3.75
	<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4						
	<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3						
	<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4						
「めざす姿」に対する現在の状況		樹木等の所有者が樹木等を維持する費用の一部を奨励金として交付することで、緑の保全が図られています。								
判断	現状継続	判断理由内容		樹木等の適正な維持管理には所有者等に相当の負担がかかる中で、その負担を軽減するだけでなく、都市開発の圧力が依然強い当市の貴重な緑の保全に資する重要な施策であるため、現状維持とします。						
課題問題点	昨今は地権者の高齢化や相続に伴う土地利用のための指定解除や、樹木の経年による枯死が増えており、現在指定している樹木等を維持していくことが重要となっています。									
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		4		4		3		4	19
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。緑化推進のための樹木の維持管理は必要であり、所有者の経済的負担は理解できるところです。また、担当部課評価でも記載されているとおり、地権者の高齢化などに対する問題も軽視できないため、奨励金の交付は妥当であると考えます。市民周知を図り実績の維持向上に努めることを期待します。					
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性	合計
	4		4		4		3		4	19
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。都市化が急速に進む海老名市の自然環境の保全にとって、重要な事業であることから現在の取組を継続するよう要望します。					
事業に対するコメント										
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	4 緑化推進費	細目	3 緑化推進事業費		
事業名 (細々目)	緑化推進事業費									
事業概要	対象	①市内在住在学の小学生 ②市の花さつき普及のためにさつき展事業を行う団体								
	目的	①緑化ポスターコンクールを通して緑化の大切さを啓発します。 ②海老名市市の花さつき普及活動補助金を交付することで広く市民へ緑化啓発を推進します。								
	手段	①市内小学生を対象に緑化ポスターコンクールを実施します。 ②さつき展事業を実施する海老名さつき研究会に補助金を交付します。								
	その他									
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進					
	めざす姿	身近な緑の保全・創造のため、緑に恵まれ、美しい景観が維持されています。								
根拠法令等										
事業の 詳細説明	<p>① 緑化ポスターコンクールを実施</p> <p>夏休みの課題として緑化ポスターを募集しました。 低学年の部(1・2年生)、中学年の部(3・4年生)、高学年の部(5・6年生)に分け、それぞれの部から金賞・銀賞・銅賞を選出し、受賞者は10月28日安全安心フェスティバルの会場で市長と教育長から表彰されました。</p> <p>応募総数は、令和3年度658枚、令和4年度603枚、令和5年度545枚となりました。</p>									
			<p>② 市の花さつき展示会事業に補助金を交付</p> <p>市の花「サツキ」の普及や緑化推進を目的とし、5月23日、24日に海老名市役所エントランスホールにてさつき展示会が行われました。 主催する海老名市さつき研究会に対し「海老名市市の花さつき普及活動補助金」を交付し、市の花さつきの普及を推進しました。</p>							
区 分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)		
事業費(千円)		648		329		301		28		
財源内訳	特定財源	国庫支出金							0	
		県支出金							0	
		市債							0	
		その他							0	
	一般財源	648		329		301		28		
部・課等名	まちづくり部		都市施設公園課		総務係					

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		648,007		328,655		301,000				
	人件費計 B		663,210		685,419		796,883				
	内訳	正職員	人数	0.08		0.08		0.08			
			人件費	663,210		685,419		796,883			
		会計年度	人数	0		0		0			
			人件費	0		0		0			
総コスト C=A+B		1,311,217		1,014,074		1,097,883					
市民1人コスト C/人口		10		7		8					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						ポスター応募数		枚	550	545	
	指標化できない成果		さつき展示会を市役所エントランスホールで行い、多くの来庁者が足を止めてさつきを鑑賞しました。								
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			4		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	18
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4		4	3.5	3.5	3.5	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			3								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3								
「めざす姿」に対する現在の状況		小学生を対象としポスターを募集することで、応募者ひとりひとりが緑の保全について考えるきっかけとなりました。また「海老名市市の花さつき普及活動補助金」を通じて市民にさつきの普及推進を行いました。									
判断	現状継続	判断理由内容		緑を保全し、美しい景観を維持するために、緑化の大切さを啓発していく当事業は重要であると考えます。							
課題問題点	ポスターについては、コロナ禍の行動制限に伴い、小学生が夏休みに自宅にいる時間が増えたことで応募数が一時的に増加しましたが、行動制限の解除により減少傾向にあります。募集時の工夫等で応募数の維持に努めてまいります。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		3		4		4		19
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。SDGsの観点からも、子どもたちが緑化ポスターコンクールに参加することにより、緑化に親しみを持ってもらうことは、環境に対する意識の向上や、住みやすい街づくりに重要なことであると考えます。多くの方に参加していただける募集方法の工夫について期待します。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		3		3		3		16
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を修正します。景観維持のためにも緑化啓発は推進するべきと考えますが、緑化ポスターコンクールは年々応募数が減少していることから、応募が拡大するような工夫が必要と考えます。また、市の花さつき展示会事業への補助金については、特定団体への補助金ではないというならば、広く市民に補助制度の存在を知らせることが必要です。						
事業に対するコメント	市の花さつきの普及をより効果的に推進するのであれば、市のプロモーション活動の一環に位置付け、委託の手法によるのが適切と考えます。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	8 まちづくり支援管理経費																			
事業名 (細々目)	まちづくり支援事業費																										
事業概要	対象	5名以上で構成される団体(自治会、有志団体等)																									
	目的	市民の自発的な活動による公共空間(道路、公園等)の美化や保全活動、地域緑化などに対し、助成金の交付を行い、市民参加によるまちづくりを推進します。																									
	手段	市民参加によるまちづくりの推進のために、活動団体に対して、助成金の交付を行います。																									
	その他																										
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進																						
	めざす姿	身近な緑の保全・創造のため、緑に恵まれ、美しい景観が持続されています。																									
根拠法令等	海老名市市道路里親制度実施要綱、海老名市地域緑化事業補助金交付要綱																										
事業の 詳細説明	1 事業の概要																										
	美化活動等を行う団体に対し、実施面積や活動人数等に応じた助成金の交付を行い、市民参加によるまちづくりを推進しました。																										
	2 事業の実績																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">(道路里親制度)</td> <td rowspan="3">活動写真 </td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>6件 385,983円</td> <td>6件 388,313円</td> <td>7件 452,546円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">(地域緑化事業)</td> <td rowspan="3">活動写真 </td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> </tr> <tr> <td>17件 502,000円</td> <td>18件 508,000円</td> <td>18件 508,000円</td> </tr> </table>								(道路里親制度)			活動写真 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	6件 385,983円	6件 388,313円	7件 452,546円	(地域緑化事業)			活動写真 	令和3年度	令和4年度	令和5年度	17件 502,000円	18件 508,000円
(道路里親制度)			活動写真 																								
令和3年度	令和4年度	令和5年度																									
6件 385,983円	6件 388,313円	7件 452,546円																									
(地域緑化事業)			活動写真 																								
令和3年度	令和4年度	令和5年度																									
17件 502,000円	18件 508,000円	18件 508,000円																									
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																				
事業費(千円)	888		912		1,103		△ 191																				
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0																					
		県支出金	0	0	0	0																					
		市債	0	0	0	0																					
		その他	0	0	0	0																					
	一般財源	888	912	1,103	△ 191																						
部・課等名	まちづくり部		住宅まちづくり課	まちづくり支援係																							

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		887,983		912,001		1,096,000			
	人件費計 B		1,658,025		1,713,547		1,992,207			
	内訳	正職員	人数	0.2		0.2		0.2		
			人件費	1,658,025		1,713,547		1,992,207		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		2,546,008		2,625,548		3,088,207				
市民1人コスト C/人口		18		19		22				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	-	-	-	-	地域緑化事業の活動団体数	団体	19	18		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
	-	-	-	-	-	-	-	-		
指標化できない成果		・既存団体に対する活動継続の周知を行うとともに、新規団体創出に向けては、広報等で啓発活動を実施しました。 ・草花の植え付けや除草作業により、地域の良好な環境が維持されました。 ・活動を通じて、地域社会への貢献や健康の保持及び市民参加によるまちづくりに寄与しました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			3	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
	持続可能性			評価	平均				合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性		持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3	4	3.75	3.5	4	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4	18.75						
「めざす姿」に対する現在の状況		身近な緑の保全・創造のための活動が実施され、良好な環境が維持されています。								
判断	見直し継続	判断理由内容		本事業により、地域の良好な環境が維持されるとともに、市民参加によるまちづくりに寄与していることから、継続していくことが望ましいと考えます。 ただし、公共施設の美化及び保全活動を行う点で、同事業内の道路里親制度と地域緑化事業が類似していることから、両制度の統合も含め、見直しを検討していきます。						
課題問題点	道路里親制度と地域緑化事業について、類似点がある一方、補助金額や対象区域等が異なることから、統合にあたっては、実施団体との意見調整を踏まえ、見直しを検討していきます。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	4	4	19				
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 地域住民が公共施設の美化及び保全活動を行うことで親しみが生まれるとともに、市の維持管理費が抑えられると思われます。 また、見直しに当たっては、市民が分かりやすい見直しの検討が必要と思われるため「見直し継続」とします。					
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	4	4	4	20				
	判断	見直し継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 本事業は公共空間の美化や保全活動、地域緑化に寄与していることから継続が望ましいと考えますが、道路里親制度と地域緑化事業は類似していることから、両制度の統合を検討する必要があります。					
事業に対するコメント	両制度の統合を検討するにあたっては、補助金額の基準を検証するとともに、市民参加が促進するような制度設計を望みます。また、補助制度を広く周知してください。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	1 都市計画総務費	細目	19 住宅政策事業費																						
事業名 (細々目)	住宅政策事業費																													
事業概要	対象	市民等																												
	目的	既存住民の定住促進に加え、転入者等の新規住民の獲得に向けた施策に取り組み「誰もが安心して暮らせる住みやすく住み続けられるまち」を目指します。																												
	手段	海老名市住宅マスタープランに基づき「誰もが安心して快適に暮らせる環境の整備」「住宅確保要配慮者の安定した住居の確保」「多世代にわたり住める住宅ストックの形成」などの政策に取り組みました。																												
	その他	民間賃貸住宅の活用(セーフティネット住宅)を検討するためアンケート調査を行いました。																												
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進																									
	めざす姿	新規住民獲得策のみならず既存住民からも理解を得られるような住宅施策が実施されています。																												
根拠法令等																														
事業の 詳細説明	<p>1. 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 住環境の向上・定住促進・住宅の長寿命化・地域経済の活性化を図るため住宅改修支援事業(リフォーム補助)を実施しました。 ○ 空き家の発生予防・流通促進・転入及び定住の促進を図るため住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)を実施しました。 ○ 分譲マンションに対する取組として、マンション管理適正化推進計画の策定に取り組みました。 ○ 住宅確保要配慮者である単身者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、「安否確認」と「費用補償」を行う、単身者あんしんすまい保証制度(加入費補助)を実施しました。 																													
	<p>2. 事業の実績(主なもの) (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>海老名市住宅政策審議会の開催</td> <td>分譲マンションの適正管理の促進に向けた計画案の審議を行いました。</td> <td>310,200</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>住宅改修支援事業(リフォーム補助)の審査委託</td> <td>住宅改修支援事業の申請受付・書類審査・相談業務等を委託し、事業の効率化を図りました。</td> <td>2,112,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">19</td> <td>住宅改修支援事業(リフォーム補助)</td> <td>住宅の機能向上・長寿命化を図る工事費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:180件</td> <td>30,841,000</td> </tr> <tr> <td>住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)</td> <td>「子育て世帯」や「親世帯と近居・同居を行う世帯」を対象に中古住宅の購入費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:29件</td> <td>10,252,000</td> </tr> <tr> <td>単身者あんしんすまい保証制度(加入費補助)</td> <td>居住支援法人が実施する安否確認及び費用補償サービスの初回登録料を補助しました。 令和5年度申請件数:1件</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table>								節	事業名	事業内容	事業費	01	海老名市住宅政策審議会の開催	分譲マンションの適正管理の促進に向けた計画案の審議を行いました。	310,200	13	住宅改修支援事業(リフォーム補助)の審査委託	住宅改修支援事業の申請受付・書類審査・相談業務等を委託し、事業の効率化を図りました。	2,112,000	19	住宅改修支援事業(リフォーム補助)	住宅の機能向上・長寿命化を図る工事費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:180件	30,841,000	住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)	「子育て世帯」や「親世帯と近居・同居を行う世帯」を対象に中古住宅の購入費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:29件	10,252,000	単身者あんしんすまい保証制度(加入費補助)	居住支援法人が実施する安否確認及び費用補償サービスの初回登録料を補助しました。 令和5年度申請件数:1件	10,000
	節	事業名	事業内容	事業費																										
	01	海老名市住宅政策審議会の開催	分譲マンションの適正管理の促進に向けた計画案の審議を行いました。	310,200																										
13	住宅改修支援事業(リフォーム補助)の審査委託	住宅改修支援事業の申請受付・書類審査・相談業務等を委託し、事業の効率化を図りました。	2,112,000																											
19	住宅改修支援事業(リフォーム補助)	住宅の機能向上・長寿命化を図る工事費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:180件	30,841,000																											
	住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)	「子育て世帯」や「親世帯と近居・同居を行う世帯」を対象に中古住宅の購入費用の一部を補助しました。 令和5年度申請件数:29件	10,252,000																											
	単身者あんしんすまい保証制度(加入費補助)	居住支援法人が実施する安否確認及び費用補償サービスの初回登録料を補助しました。 令和5年度申請件数:1件	10,000																											
 <p>分譲マンションの適正管理の推進に関する計画の策定</p> <p>リフォーム補助・中古住宅購入補助の実施</p>																														
その他の事業:45,325円																														
区分		令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)																									
事業費(千円)		24,731	38,011	44,676	△ 6,665																									
財源内訳	特定財源	国庫支出金			16,103	△ 16,103																								
		県支出金				0																								
		市債				0																								
		その他				0																								
	一般財源	24,731	38,011	28,573	9,438																									
部・課等名	まちづくり部		住宅まちづくり課	住宅政策係																										

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進					
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)				
	事業費計 A		24,730,837		38,010,418		44,676,000				
	人件費計 B		17,304,803		17,881,549		20,574,750				
	内訳	正職員	人数	1.9		1.9		1.9			
			人件費	15,751,236		16,278,697		18,925,970			
		会計年度	人数	0.9		0.9		0.9			
			人件費	1,553,567		1,602,852		1,648,779			
総コスト C=A+B		42,035,640		55,891,967		65,250,750					
市民1人コスト C/人口		305		400		464					
指標設定	活動指標				成果指標						
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績	
						定住意向のある市民の割合		%	現状維持	93.8	
						セーフティーネット住宅の登録数		戸	増加	1,188	
	指標化できない成果		<ul style="list-style-type: none"> 分譲マンション管理適正化推進計画を策定しました。 海老名市住宅政策審議会を3回開催しました。 民間賃貸住宅の活用(セーフティーネット住宅)に向けたアンケート調査を実施しました。 								
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価		公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3		
	持続可能性			評価		平均			合計		
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	18.5
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4	3.5	4	3.5	3.5		
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4								
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4								
「めざす姿」に対する現在の状況		新規住民獲得策や既存住民の定住促進策として、住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)や住宅改修支援事業(リフォーム補助)等を実施しています。 また、分譲マンションの老朽化や適正管理に対する取組として、推進計画を策定し、認定制度の導入等新たな施策に取り組んでいます。									
判断	見直し拡大	判断理由内容		現在の施策に加え、分譲マンションの適正管理に向けた新たな政策展開や住宅セーフティーネット制度の導入に向けた検討に取り組めます。							
課題 問題点	今後、増加が想定される住宅確保要配慮者に対する、民間賃貸住宅の活用に向けた制度の検討が課題であり、住宅セーフティーネット制度の周知に取り組めます。										
内部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		3		4		3		4		18
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価を支持します 住宅改修・取得支援事業は、市内への定住や社会問題となっている空き家対策として、更に、既存住宅ストックを改修して活用することは環境配慮の観点からも良い取り組みです。 また、将来を見据えた新たな取り組みとして、分譲マンションの管理や住宅セーフティーネット制度の検討を行う必要があるため「見直し拡大」とします。						
外部評価	妥当性		有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	4		4		4		3		4		19
	判断	見直し拡大	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。現在の取組に加え、分譲マンションの適正管理に向けた新規の取組や、住宅セーフティーネット制度の導入に向けた検討を行っていることは評価できます。課題を整理し必要な見直しをした上で取組を拡大していくよう要望します。既存の補助制度である住宅取得支援事業(中古住宅購入補助)については、補助金の効果をより高めるために、築年数の区分を見直す必要があると考えます。						
事業に対するコメント	海老名駅周辺を中心にマンション建設が急速に進んでおり、近い将来、建物の老朽化等による管理不全等の問題が顕在化が見込まれます。先を見越した予防的対策として、管理計画認定制度は重要な取組なので、早期の周知と取組の強化を要望します。										
評価結果を踏まえた次年度の対応											

令和6年度 行政評価概要調書

科目	款	8 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費	細目	2 市営住宅維持管理経費																			
事業名 (細々目)	市営住宅維持管理経費																										
事業概要	対象	市営住宅入居者及び入居を希望する市民等																									
	目的	市営住宅の住環境の維持・向上や入退去に伴う管理運営を行い、良好な市営住宅の供給を目指します。																									
	手段	長期修繕計画に基づく維持管理のほか、退去に伴う修繕等を実施し、住宅の居住環境等の維持・向上に取り組みました。また、空き住戸について入居者の募集を行いました。																									
	その他	災害等の一時入居を可能とするため政策空き家(1戸)を確保しました。																									
20 プラン	行政分野	4	まちづくり			政策名	4-3 住宅政策・緑化政策の推進																				
	めざす姿	市営住宅への入居を希望する市民等が満足できるような市営住宅が設置されています。																									
根拠法令等	公営住宅法、海老名市市営住宅条例																										
事業の詳細説明	<p>1. 事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管理の一部を委託化することで、24時間連絡を受け付ける体制の整備等、入居者に対するサービスの向上等を行いました。 ○ 昇降設備や消防設備等について、適切な保守点検を実施しました。 ○ 退去した住戸では速やかな修繕等の実施に努め、次回の入居に向けた準備を行いました。 ○ 令和5年度は随時募集から定期募集(6月及び12月)に切り替え、早期の周知に努めました。 <p>2. 事業の実績(主なもの)</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>市営住宅修繕業務</td> <td>水回りの不具合等の経年劣化が原因と考えられる修繕について早期の対応を行いました。</td> <td>1,749,630</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>エレベーター・消防設備等保守事業</td> <td>昇降設備・消防設備等の保守点検を実施しました。</td> <td>1,808,400</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>市営住宅維持管理業務等</td> <td>定期的な巡視、入退去時の対応等の業務委託や樹木の剪定等を行い快適な住環境の整備を図りました。</td> <td>2,624,600</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>市営住宅退去後改修工事</td> <td>退去等に合わせ、生活形態の変化に伴う和室の洋間化、出窓周辺の木部の塗装や転落防止柵の設置等の改修工事を実施しました。</td> <td>5,483,368</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位:円)</p> <p style="text-align: right;">その他の事業:2,514,635円</p>				節	事業名	事業内容	事業費	11	市営住宅修繕業務	水回りの不具合等の経年劣化が原因と考えられる修繕について早期の対応を行いました。	1,749,630	12	エレベーター・消防設備等保守事業	昇降設備・消防設備等の保守点検を実施しました。	1,808,400	13	市営住宅維持管理業務等	定期的な巡視、入退去時の対応等の業務委託や樹木の剪定等を行い快適な住環境の整備を図りました。	2,624,600	15	市営住宅退去後改修工事	退去等に合わせ、生活形態の変化に伴う和室の洋間化、出窓周辺の木部の塗装や転落防止柵の設置等の改修工事を実施しました。	5,483,368	 <p style="text-align: center;">改修工事前</p>  <p style="text-align: center;">改修工事後</p> <p style="text-align: center;">洋室化・壁紙の貼替等を実施</p>		
節	事業名	事業内容	事業費																								
11	市営住宅修繕業務	水回りの不具合等の経年劣化が原因と考えられる修繕について早期の対応を行いました。	1,749,630																								
12	エレベーター・消防設備等保守事業	昇降設備・消防設備等の保守点検を実施しました。	1,808,400																								
13	市営住宅維持管理業務等	定期的な巡視、入退去時の対応等の業務委託や樹木の剪定等を行い快適な住環境の整備を図りました。	2,624,600																								
15	市営住宅退去後改修工事	退去等に合わせ、生活形態の変化に伴う和室の洋間化、出窓周辺の木部の塗装や転落防止柵の設置等の改修工事を実施しました。	5,483,368																								
区分	令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)																				
事業費(千円)	9,144		14,426		16,755		△ 2,329																				
財源内訳	特定財源	国庫支出金	9,093		13,190		13,190																				
		県支出金					0																				
		市債					0																				
		その他					16,755		△ 16,755																		
	一般財源	51		1,236		0		1,236																			
部・課等名	まちづくり部		住宅まちづくり課		住宅政策係																						

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		住宅政策・緑化政策の推進				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		9,144,163		14,426,408		16,755,000			
	人件費計 B		17,304,803		17,881,549		20,574,750			
	内訳	正職員	人数	1.9		1.9		1.9		
			人件費	15,751,236		16,278,697		18,925,970		
		会計年度	人数	0.9		0.9		0.9		
			人件費	1,553,567		1,602,852		1,648,779		
総コスト C=A+B		26,448,966		32,307,957		37,329,750				
市民1人コスト C/人口		192		231		266				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名	単位	目標	実績	指標名	単位	目標	実績		
	指標化できない成果	生活形態の変化に伴う改修工事(和室の洋間可、エアコンコンセントの増設)等を実施しました。随時募集から年2回の定期募集に変更することで募集時期の明確化を図りました。定期募集で応募のなかった住宅について、先着順で募集を行いました。								
担当部課評価	妥当性			評価	有効性			評価		
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4	<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3		
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4	<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4		
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4	<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			3		
	効率性			評価	公平性			評価		
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			3	<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4	<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			4		
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3	<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			4		
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4	<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			4		
持続可能性			評価	平均				合計		
<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3	妥当性	有効性	効率性	公平性			
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			4	4	3.5	3.5	4			
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4						3.5	18.5
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		随時募集から定期募集へ切り替え、募集時期を明確にしました。生活形態の変化に対応するための改修工事等を実施しました。市民が居住し生活する施設であることから、長期修繕計画を作成し修繕等に取り組んでいます。								
判断	現状継続	住宅に困窮する低所得者を対象とした住宅であることから、今後も長期修繕計画に基づく修繕等を実施し適正な維持管理に努めるとともに、空き住戸に対する入居募集を適切に実施します。								
課題問題点	築年数が30年を超えた住宅では給排水管工事を予定していることから、入居者に対する対応や配慮が求められます。他市事例等を参考に工事手法や工事スケジュールの検討を行います。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	4	3	18				
	判断	現状継続	担当部課評価を支持します。今後、老朽化や生活形態の変化に対応した改修が生じるなど、改修工事費等の増大が予想されますが、維持管理を適正に行いながら低所得者層の住宅困窮者対策を図る必要があるため「現状継続」とします。なお、給排水工事は、居ながら工事となるため、入居者への周知や生活への配慮に努めてください。							
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	4	4	19				
	判断	現状継続	担当部課評価及び内部評価を支持します。低所得者層の住宅困窮者対策として有効な事業です。今後、老朽化や生活形態の変化等により改修工事費の増大は免れないため、長期修繕計画に基づき、必要な修繕等を計画的に実施するなど、適正な維持管理に努めてください。							
事業に対するコメント	市営住宅は、住宅に困窮する低所得者のセーフティネットとして重要な取組です。引き続き、募集から退去まで公平かつ適正な運営に留意し、取り組むことを要望します。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度政策評価シート

えびな未来創造プラン2020	行政分野	4	まちづくり						
	政策	4-4	まちの拠点整備						
	方向性	まちの顔である駅周辺の利便性が高まるから、活気があふれ、みんなが笑顔になります。							
	めざす姿	<p>① 海老名駅東西地域間を結ぶ道路網の充実により、渋滞の解消また歩行者が安全で快適に利用できる交通環境が実現しています。</p> <p>② 海老名駅自由通路は、駅の東西を結ぶ通路として、にぎわいにあふれた安全で快適な歩行空間となっています。</p> <p>③ 厚木駅やさがみ野駅周辺においては、駅前広場を中心とした都市基盤が整備されているとともに、都市機能が集積し、地域の中心を形成する地区になっています。</p> <p>④ 生活拠点については、日常的な暮らしに必要な諸機能が集積し、利便性の高い地区になっています。</p>							
各事業評価	事業名		区分	判断	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
	1	海老名駅自由通路関連施設改修事業費	内部	現状継続	5	4	4	4	4
			外部	現状継続	5	4	4	4	4
	2	西口地区道路整備事業費	内部	現状継続	4	4	3	3	3
			外部	現状継続	4	4	3	3	3

評価項目	評価基準	評価
政策の推進に係る事業の適正配置	政策を構成する事業の数や内容が適正で、当該政策の達成に効果的な配置となっているかについて評価する	内部評価 A
	A 当該政策を達成するのに十分な事業が配置されている	外部評価 A
	B 当該政策の達成において、削減すべき(不要な)事業がある	
	C 当該政策の達成に向け、さらに追加すべき事業がある	
	内部評価コメント	まちの拠点整備に必要な事業が配置されていると判断されます。
外部評価コメント	「えびな未来創造プラン2020」に掲げる本政策のめざす姿を達成するために必要な事業が配置されていると判断します。	
政策の進捗・達成評価	現時点での達成状況から見て、当該政策が順調に推進されているかについて評価する	内部評価 A
	A 順調である	外部評価 A
	B やや遅延している	
	C 著しく遅延している	
	内部評価コメント	自由通路の適正な維持管理や道路網の整備が進められており、おおむね順調に推進されていると判断いたします。
外部評価コメント	政策はおおむね順調に推進されていると判断します。社会情勢や市民ニーズを的確に捉え、必要な見直しをしつつ、各事業を進捗管理する必要があると考えます。	
必要性	当該政策を構成する事業に対し、市民ニーズ・社会需要等が高いのか評価する	内部評価 A
	A 必要性が高い	外部評価 A
	B どちらとも言えない	
	C 必要性が低い	
	内部評価コメント	海老名駅周辺の安全で快適な歩行空間の構築や交通渋滞の解消などに関する事業は、まちづくりの推進に必要であると考えられます。
外部評価コメント	当該政策を構成する事業は、いずれも市民ニーズ・社会需要等が高いと判断しますが、海老名駅周辺だけでなく、市内各地の均衡ある発展が必要と考えます。	
優先度	市民ニーズ・社会需要等を踏まえて、当該政策を他の政策に先行して実施すべきか評価する	内部評価 B
	A 最優先に実施すべきである	外部評価 B
	B 優先的に実施した方が望ましい	
	C 優先的に実施する必要は低い	
	内部評価コメント	海老名駅周辺のまちづくりの進捗に合わせて優先的に取り組む事業であると考えられます。
外部評価コメント	まちの拠点整備を推進するために、当該政策は優先的に実施することが望ましいと判断します。	

政策評価

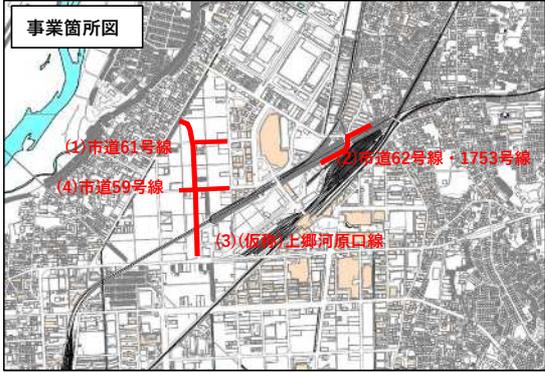
令和6年度 行政評価概要調書

科目	款 8 土木費	項 4 都市計画費	目 8 海老名駅自由通路事業費	細目 3 海老名駅自由通路維持管理経費	
事業名 (細々目)	海老名駅自由通路関連施設改修事業費				
事業概要	対象	海老名駅及び自由通路を利用する市民や来街者			
	目的	指定管理者による一括した維持管理を行い、海老名駅自由通路の利用者に安全かつ良好な歩行空間を提供します。			
	手段	自由通路施設を安全・安心に利用できる歩行空間として、適切に維持管理を行います。			
	その他				
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名 4-4 まちの拠点整備	
	めざす姿	海老名駅自由通路は駅の東西を結ぶ通路として、にぎわいにあふれた安全で快適な歩行空間となっています。			
根拠法令等	海老名市海老名駅自由通路設置条例				
事業の 詳細説明	<p>歩行者に安全安心で快適な歩行空間を提供するため、必要な修繕や整備を行うことで適正な維持管理を行いました。近年は、耐用年数が経過した、エスカレーターのリニューアル工事を進めています。</p> <p>○東口のエスカレーター(2基)のリニューアル工事 69,850,000円 ○東口のエスカレーター(2基)の年次修理 10,560,000円 ○東口のエレベーター(4基)の年次修理 3,498,000円</p> <p>エスカレーターリニューアル工事</p>				
	 <p>【着手前】</p>  <p>【施工中】</p>  <p>【完成】</p>				
区分	令和3年度 A (決算額)	令和4年度 B (決算額)	令和5年度 C (予算現額)	増減 E (B-C)	
事業費(千円)	96,626	90,195	89,655	540	
財源内訳	国庫支出金			0	
	県支出金			0	
	市債		61,800	65,600	△ 3,800
	その他				0
	一般財源	96,626	28,395	24,055	4,340
部・課等名	まちづくり部 都市施設公園課		施設整備係		

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		まちの拠点整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		96,625,540		90,194,995		89,655,000			
	人件費計 B		1,326,420		1,370,838		1,593,766			
	内訳	正職員	人数	0.16		0.16		0.16		
			人件費	1,326,420		1,370,838		1,593,766		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
総コスト C=A+B		97,951,960		91,565,833		91,248,766				
市民1人コスト C/人口		710		655		649				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	エスカレーターリニューアル工事		個所	1	1					
	指標化できない成果									
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			5		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3	
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3	
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			5		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			5		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			5	
	効率性			評価		公平性			評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			5		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			5	
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			4		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			5	
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			4		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3	
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3	
	持続可能性			評価		平均			合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		5	3.75	4.25	4	3.5	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			4							
「めざす姿」に対する現在の状況		適切に修繕を行うことで、安全で快適な歩行空間を維持しています。								
判断	現状継続	判断理由内容		指定管理者制度を活用し、軽微な修繕は指定管理が行うことにより、迅速な対応が図られています。						
課題問題点	施設の経年劣化に伴い、仕上げ材や設備等の必要な改修が増加していることが課題となっています。									
内部評価	妥当性	有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	5	4		4		4		4		21
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価を支持します。 自由通路は、海老名駅周辺の賑わいの創出に必要な通路で、快適に回遊する際の上下移動において、エスカレーターなどは必要な設備であるため「現状継続」とします。なお、不具合等は早期に把握して修理するなど、引き続き適正な維持管理をお願いします。					
外部評価	妥当性	有効性		効率性		公平性		持続可能性		合計
	5	4		4		4		4		21
	判断	現状継続	判断理由内容		担当部課評価及び内部評価を支持します。 海老名駅自由通路を安全・安心して利用できる歩行空間として提供するため、エスカレーター等の関連施設の必要な改修・修繕を行い、適正な維持管理を行うよう要望します。					
事業に対するコメント	海老名駅自由通路は、令和5年度に実施された指定管理者第三者評価結果から、指定管理者制度を活用し概ね適切な管理運営が行われていると評価できます。ただし、同報告書では不具合等も指摘されているので、指定管理者との役割分担と連携により必要な対策を講じるなど、適切な維持管理を行うようお願いいたします。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度 行政評価概要調査

科目	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 道路新設改良費	細目	6 海老名駅周辺道路整備事業費
事業名 (細々目)	西口地区道路整備事業費							
事業概要	対象	海老名駅西口地区を通行する利用者						
	目的	海老名駅西口地区における道路交通の円滑化と利便性の向上を図ります。						
	手段	海老名駅西口地区の道路拡幅整備及び新設道路整備を行います。						
	その他							
20 プラン	行政分野	4	まちづくり	政策名	4-4 まちの拠点整備			
	めざす姿	海老名駅東西地域間を結ぶ道路網の充実により、渋滞の解消や歩行者が安全で快適に利用できる交通環境が実現しています。						
根拠法令等	道路法							
事業の 詳細説明	<p>1 事業概要</p> <p>(1)市道61号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和3～4年度)</p> <p>(2)市道62号線・1753号線の整備を実施し、工事が完了しました。(令和3～5年度)</p> <p>(3)(仮称)上郷河原口線の整備を実施しています。(令和3年度～)</p> <p>(4)市道59号線の整備を実施しています。(令和4年度～)</p>							
								
区分		令和3年度 A (決算額)		令和4年度 B (決算額)		令和5年度 C (予算現額)		増減 E (B-C)
事業費(千円)		1,039,495		842,012		1,430,160		△ 588,148
財源内訳	国庫支出金	325,970		321,240		340,739		△ 19,499
	県支出金							0
	市債	610,600		490,900		1,062,900		△ 572,000
	その他							0
	一般財源	102,925		29,872		26,521		3,351
部・課等名	まちづくり部		道路整備課		幹線道路係			

令和6年度 事業評価シート

行政分野		まちづくり		政策		まちの拠点整備				
コスト分析	区分		令和3年度(決算額)		令和4年度(決算額)		令和5年度(予算現額)			
	事業費計 A		1,039,495,000		842,012,000		1,430,160,000			
	人件費計 B		21,554,322		19,705,791		19,922,074			
	内訳	正職員	人数	2.6		2.3		2.0		
			人件費	21,554,322		19,705,791		19,922,074		
		会計年度	人数	0		0		0		
			人件費	0		0		0		
	総コスト C=A+B		1,061,049,322		861,717,791		1,450,082,074			
市民1人コスト C/人口		7689		6167		10321				
指標設定	活動指標				成果指標					
	指標名		単位	目標	実績	指標名		単位	目標	実績
	市道59号線整備延長		m	214	0	西口地区の道路整備延長 (市道61号線ほか2路線)		m		479
	上郷河原口線整備延長		m	560	0					
指標化できない成果										
担当部課評価	妥当性			評価		有効性			評価	
	<input type="checkbox"/> 役割分担の観点から市の関与は適切か			4		<input type="checkbox"/> 定量的な指標設定を行っているか			3	
	<input type="checkbox"/> 課題等の解決に効果があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業の目的と受益者が一致しているか			3	
	<input type="checkbox"/> 社会情勢の変化に伴い事業の実施意義があるか			4		<input type="checkbox"/> 事業は目標どおりに進捗しているか			4	
	<input type="checkbox"/> 市民ニーズがあるか			4		<input type="checkbox"/> 市民に説明できる具体的な成果があるか			4	
	効率性			評価		公平性			評価	
	<input type="checkbox"/> 費用対効果は適切か			4		<input type="checkbox"/> サービスの対象範囲は適切か			4	
	<input type="checkbox"/> 迅速なサービスの提供に努めているか			3		<input type="checkbox"/> サービスの水準は適切か			3	
	<input type="checkbox"/> 他の事業等と連携して効率化を図っているか			3		<input type="checkbox"/> 適切な受益者負担を求めているか			3	
	<input type="checkbox"/> 検討等を行い事業効率の向上に努めているか			4		<input type="checkbox"/> 公平性を担保するための取組をしているか			3	
	持続可能性			評価		平均			合計	
	<input type="checkbox"/> 事業費や市負担が増大傾向にないか			3		妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性
<input type="checkbox"/> 他自治体の類似事業と比較・分析しているか			3		4	3.5	3.5	3.25	3.25	
<input type="checkbox"/> 総合計画のめざす姿を具現化できているか			4							
<input type="checkbox"/> SDGsの目標達成に貢献できているか			3							
「めざす姿」に対する現在の状況		海老名駅東西を結ぶネットワークが充実し、渋滞の解消と安全な交通環境を実現するため、(仮称)上郷河原口線等の整備を進めています。								
判断	現状継続	判断理由内容	「めざす姿」の実現に向け鋭意事業を進めています。海老名駅西口地区の渋滞解消や安全な交通環境に対する市民ニーズが高いことから、引き続き事業に取り組む必要があります。							
課題問題点	道路整備には地権者等との調整が必要であることから、整備完了までに期間を要します。									
内部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	3	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価を支持します。 海老名駅西口周辺の道路網の整備は、渋滞解消や歩車分離による歩行者の安全対策など快適な交通環境の構築が必要であるため「現状継続」とします。 なお、引き続き、地権者等との調整を図るなど事業の取り組みをお願いします。						
外部評価	妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計				
	4	4	3	3	3	17				
	判断	現状継続	判断理由内容	担当部課評価及び内部評価を支持します。 海老名駅西口地区の道路交通の円滑化と利便性の向上に向けて、事業が順調に進められていると評価します。慢性的な渋滞緩和のため、ハード面とともにソフト面からも対策を講じることを期待します。						
事業に対するコメント	本事業に限らず、道路を整備するにあたっては自転車利用者にも配慮した計画の策定を望みます。									
評価結果を踏まえた次年度の対応										

令和6年度

海老名市行政評価結果報告書

編集 海老名市財務部企画財政課